

# 山ノ内町まちづくりアンケート結果 (概要版)

令和2年2月

山ノ内町

# 目 次

<b>第1章 アンケート調査概要</b> .....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査概要.....	1
<b>第2章 アンケート調査結果</b> .....	2
1. 回答者属性.....	2
2. 日常の生活について.....	4
3. 山ノ内町の住みやすさや生活環境などについて.....	12
4. 山ノ内町の現状と今後の取り組みについて.....	18
5. 今後のまちづくりについて.....	24
6. 産業の活性化について.....	37
7. 子育てや教育について.....	42
8. 福祉について.....	45
9. 住民活動、地域活動の活性化について.....	48
10. 町の情報化について.....	52
11. 自由記述（山ノ内町の抱える課題について）.....	57

# 第1章 アンケート調査概要

## 1. 調査目的

山ノ内町のあるべき将来像を定め、魅力あるまちづくりの実践にあたって、町民の日常生活の状況や町（行政）に対する要望等を尋ね、第6次総合計画の新たなまちづくりの方向性を検討するための資料とするため、本アンケート調査を実施しました。

## 2. 調査概要

### 2-1. 調査対象

山ノ内町内に在住する16歳以上の男女1,000人

### 2-2. 調査期間

令和元年11月15日（金）～12月13日（金）（前回：H27.8実施）

### 2-3. 調査方式

町統計調査員による配布回収

### 2-4. 有効回収票数

828票（有効回収率82.8%）（前回：89.9%）

### 2-5. 集計、結果整理について

- ・ 設問には1つのみ答える単数回答と、「3つまで」、「あてはまるものすべて」など複数の回答を求める複数回答があります。
- ・ 集計（グラフや表）については、回答者数に対する回答割合（%）を集計しているため、複数回答の設問では割合の合計が100%を超えます。
- ・ 選択肢ごとの割合は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならないものがあります。
- ・ 設問毎の回答者数は（n=000）と表示しています。

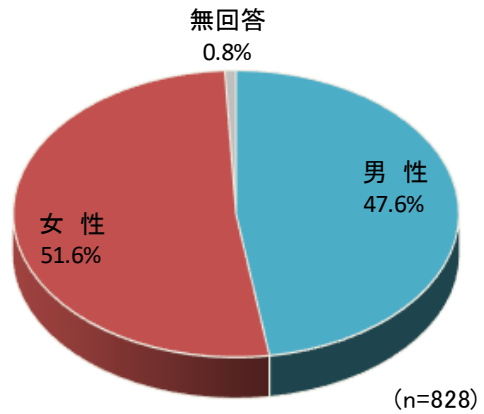
## 第2章 アンケート調査結果

### 1. 回答者属性

回答者の属性はそれぞれ次のとおりです。

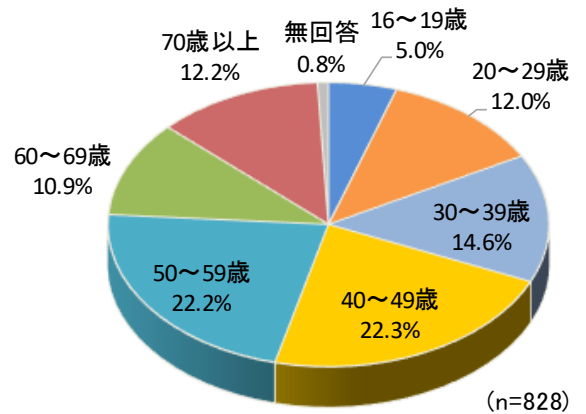
#### (1) 性別 [1つ回答]

	回答数	比率	前回
男性	394	47.6%	49.7%
女性	427	51.6%	49.4%
無回答	7	0.8%	0.9%
合計	828	100.0%	100.0%



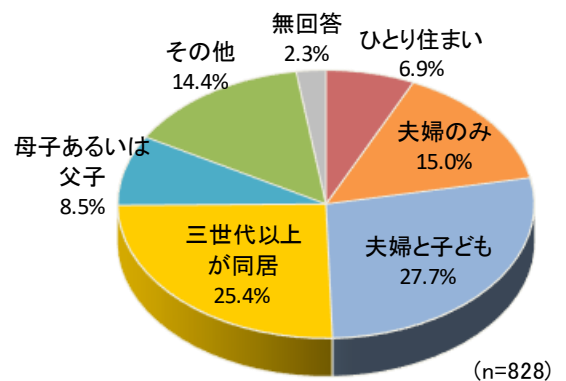
#### (2) 年齢 [1つ回答]

	回答数	比率	前回
16～19歳	41	5.0%	2.3%
20～29歳	99	12.0%	9.0%
30～39歳	121	14.6%	11.2%
40～49歳	185	22.3%	15.8%
50～59歳	184	22.2%	18.0%
60～69歳	90	10.9%	22.7%
70歳以上	101	12.2%	19.8%
無回答	7	0.8%	1.2%
合計	828	100.0%	100.0%



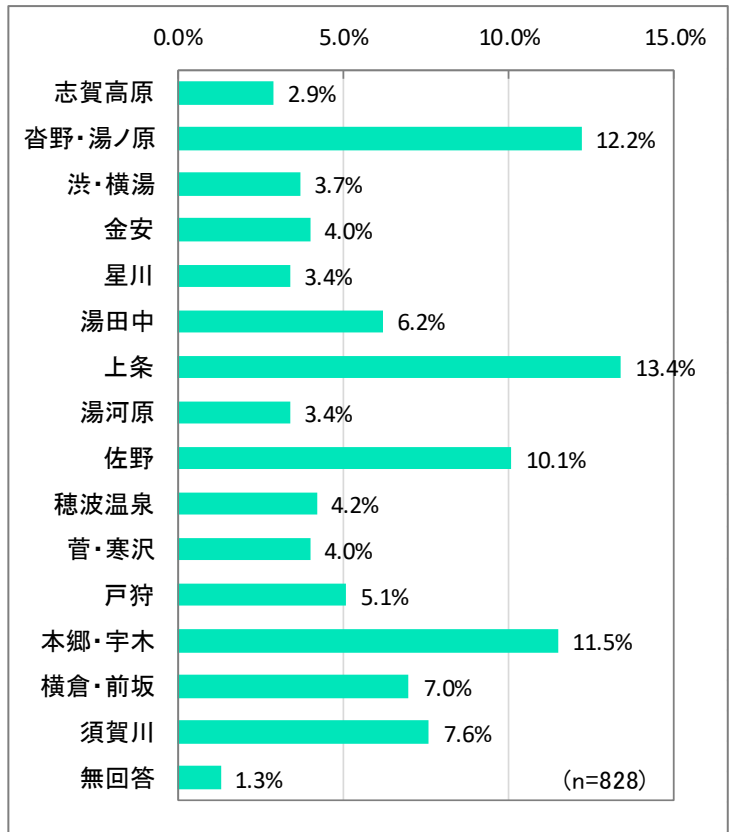
#### (3) 世帯構成 [1つ回答]

	回答数	比率	前回
ひとり住まい	57	6.9%	6.9%
夫婦のみ	124	15.0%	17.0%
夫婦と子ども	229	27.7%	23.9%
三世代以上が同居	210	25.4%	27.1%
母子あるいは父子	70	8.5%	8.7%
その他	119	14.4%	14.7%
無回答	19	2.3%	1.7%
合計	828	100.2%	100.0%



(4) 居住地区 [1つ回答]

	回答数	比率
志賀高原	24	2.9%
杳野・湯ノ原	101	12.2%
渋・横湯	31	3.7%
金安	33	4.0%
星川	28	3.4%
湯田中	51	6.2%
上条	111	13.4%
湯河原	28	3.4%
佐野	84	10.1%
穂波温泉	35	4.2%
菅・寒沢	33	4.0%
戸狩	42	5.1%
本郷・宇木	95	11.5%
横倉・前坂	58	7.0%
須賀川	63	7.6%
無回答	11	1.3%
回答者数	828	

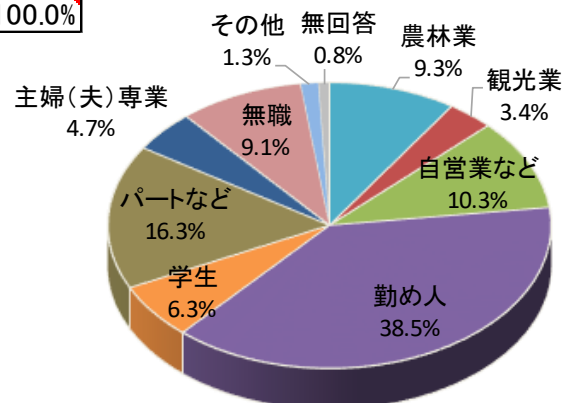


(5) 職業 [1つ回答]

	回答数	比率	前回
農林業	77	9.3%	12.6%
観光業	28	3.4%	3.8%
自営業など	85	10.3%	12.1%
勤め人	319	38.5%	27.7%
学生	52	6.3%	2.6%
パートなど	142	17.1%	14.2%
主婦(夫)専業	39	4.7%	6.8%
無職	75	9.1%	16.2%
その他	4	0.5%	2.8%
無回答	7	0.8%	1.2%
合計	828	100.0%	100.0%

【その他回答】

- ・作業所 [3件]
- ・シルバー人材 [3件]
- ・兼業農家
- ・派遣社員



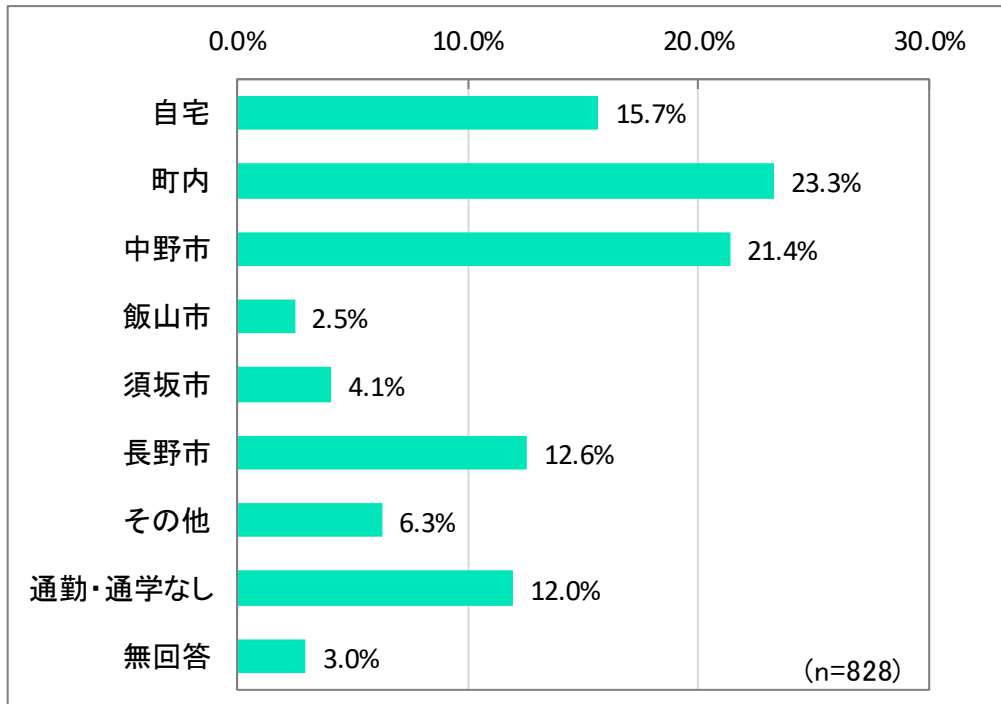
(n=828)

## 2. 日常の生活について

2-1. 〔問6〕あなたの勤務地または通学地をお聞きます。

[複数回答]

主な通勤・通学先は山ノ内町内（自宅含む）が39.0%で最も多く、次いで中野市（21.4%）、長野市（12.6%）となっています。



	回答数	比率	前回
自宅	130	15.7%	19.5%
町内	193	23.3%	24.0%
中野市	177	21.4%	14.7%
飯山市	21	2.5%	1.3%
須坂市	34	4.1%	2.6%
長野市	104	12.6%	8.1%
その他	52	6.3%	5.8%
通勤・通学なし	99	12.0%	16.5%
無回答	25	3.0%	7.5%
合計	835	100.9%	100.0%

### 【その他回答】

- ・ 野沢温泉
- ・ 木島平村 [2件]
- ・ 高山村
- ・ 東御市
- ・ 県内 [2件]
- ・ 新潟県妙高市
- ・ 大阪府
- ・ 信濃町 [2件]
- ・ 小布施町 [9件]
- ・ 千曲市
- ・ 小諸市
- ・ 北信地域
- ・ 群馬県高崎市

■ 回答数と回答者の割合 [複数回答]

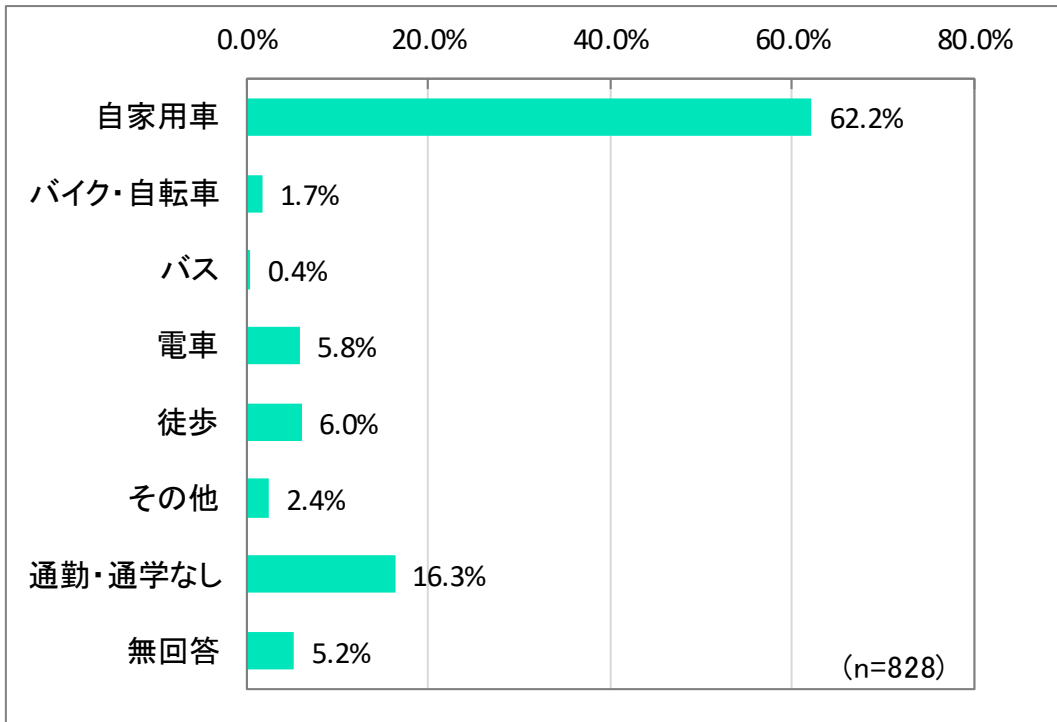
		町内 (自宅含む)	中野市	飯山市	須坂市	長野市	その他	通勤・通学 なし	無回答	回答者数
性別	男性	158	75	14	21	56	25	43	9	394
	女性	161	102	7	13	48	27	55	14	427
	無回答	4	0	0	0	0	0	1	2	7
年代別	10歳代	1	13	3	5	13	6	0	0	41
	20～30歳代	72	51	9	14	42	17	14	4	220
	40～50歳代	166	99	8	12	40	25	20	3	369
	60歳代	41	12	1	3	7	3	19	4	90
	70歳以上	39	2	0	0	2	1	45	12	101
	無回答	4	0	0	0	0	0	1	2	7
地区居住別	東部	178	75	7	18	46	24	49	13	407
	南部	59	51	8	7	32	7	29	5	194
	西部	61	36	3	7	21	9	12	4	153
	北部	20	15	3	2	5	10	8	0	63
	無回答	5	0	0	0	0	2	1	3	11
職業別	有職	300	162	18	30	86	38	23	3	651
	無職	20	0	0	0	0	1	74	19	114
	学生	1	13	3	4	17	13	0	1	52
	無回答	4	2	0	0	1	0	2	2	11

		町内 (自宅含む)	中野市	飯山市	須坂市	長野市	その他	通勤・通学 なし	無回答	回答者数
性別	男性	40.1%	19.0%	3.6%	5.3%	14.2%	6.3%	10.9%	2.3%	394
	女性	37.7%	23.9%	1.6%	3.0%	11.2%	6.3%	12.9%	3.3%	427
	無回答	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	7
年代別	10歳代	2.4%	31.7%	7.3%	12.2%	31.7%	14.6%	0.0%	0.0%	41
	20～30歳代	32.7%	23.2%	4.1%	6.4%	19.1%	7.7%	6.4%	1.8%	220
	40～50歳代	45.0%	26.8%	2.2%	3.3%	10.8%	6.8%	5.4%	0.8%	369
	60歳代	45.6%	13.3%	1.1%	3.3%	7.8%	3.3%	21.1%	4.4%	90
	70歳以上	38.6%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	1.0%	44.6%	11.9%	101
	無回答	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	7
地区居住別	東部	43.7%	18.4%	1.7%	4.4%	11.3%	5.9%	12.0%	3.2%	407
	南部	30.4%	26.3%	4.1%	3.6%	16.5%	3.6%	14.9%	2.6%	194
	西部	39.9%	23.5%	2.0%	4.6%	13.7%	5.9%	7.8%	2.6%	153
	北部	31.7%	23.8%	4.8%	3.2%	7.9%	15.9%	12.7%	0.0%	63
	無回答	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	9.1%	27.3%	11
職業別	有職	46.1%	24.9%	2.8%	4.6%	13.2%	5.8%	3.5%	0.5%	651
	無職	17.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	64.9%	16.7%	114
	学生	1.9%	25.0%	5.8%	7.7%	32.7%	25.0%	0.0%	1.9%	52
	無回答	7.7%	3.8%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	3.8%	3.8%	11

2-2. [問7] あなたが通勤・通学で利用されている、最も代表的な交通手段は何ですか。

[1つ回答]

自家用車の利用が最も多く62.2%です。  
 公共交通では、電車が5.8%、バスは0.4%です。  
 自家用車が通勤・通学的手段として最も多く利用されており、公共交通の利用はごく一部となっています。



【その他回答】

- ・社用車 [7件]
- ・社用バス
- ・送迎車

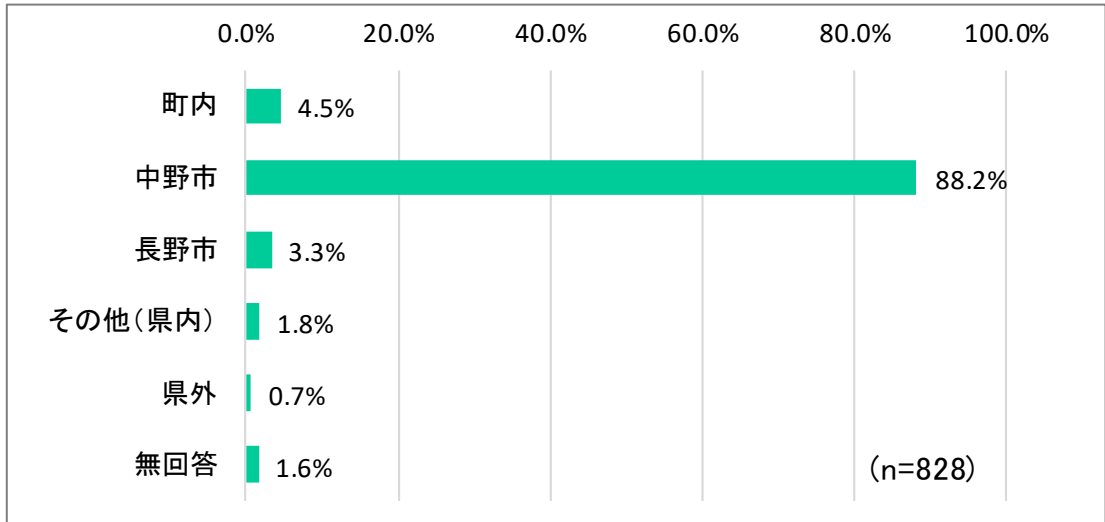
	回答数	比率	前回
自家用車	515	62.2%	52.3%
バイク・自転車	14	1.7%	2.1%
バス	3	0.4%	1.1%
電車	48	5.8%	3.2%
徒歩	50	6.0%	7.1%
その他	20	2.4%	2.8%
通勤・通学なし	135	16.3%	20.2%
無回答	43	5.2%	11.2%
合計	828	100.0%	100.0%



2-3. [問8] あなたが普段の生活のなかで、次のような行動をするとき、どこへ行かれま  
すか。 [1つずつ回答]

2-3-1. 買い物先

主な買い物先は中野市が88.2%で最も多く、町内は4.5%でした。



■ 回答数と回答者の割合

	町内	中野市	長野市	その他 (県内)	県外	無回答	回答者数
買い物	37	730	27	15	6	13	828

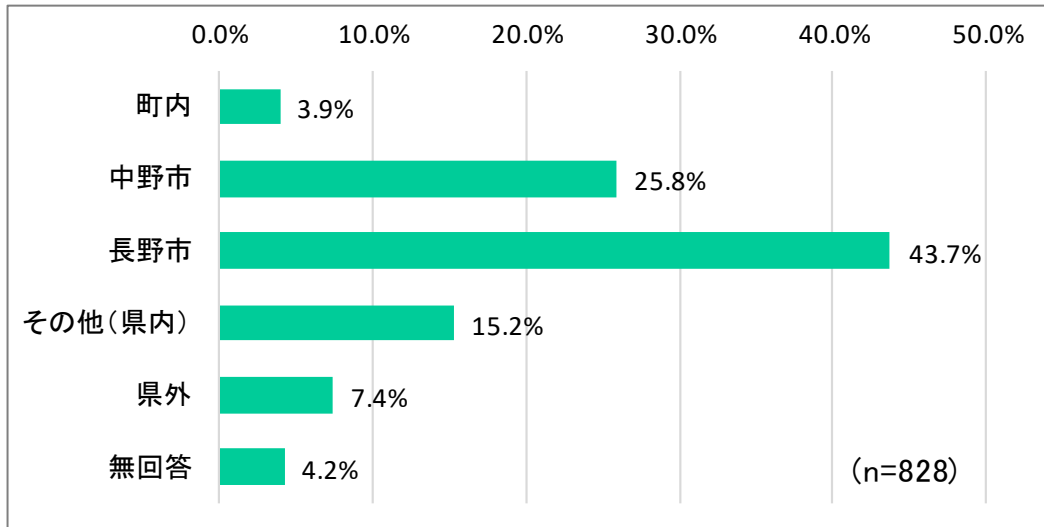
	町内	中野市	長野市	その他 (県内)	県外	無回答	回答者数
買い物	4.5%	88.2%	3.3%	1.8%	0.7%	1.6%	828
(前回)	5.7%	89.6%	1.6%	0.5%	0.3%	2.3%	878

		町内	中野市	長野市	その他 (県内)	県外	無回答	回答者数
性別	男性	4.1%	88.6%	2.8%	2.0%	1.0%	1.5%	394
	女性	4.9%	87.6%	3.7%	1.6%	0.5%	1.6%	427
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7
年代別	10歳代	2.4%	82.9%	7.3%	4.9%	2.4%	0.0%	41
	20～30歳代	2.3%	86.4%	6.8%	1.8%	0.9%	1.8%	220
	40～50歳代	3.3%	90.8%	1.9%	2.4%	0.8%	0.8%	369
	60歳代	4.4%	92.2%	1.1%	0.0%	0.0%	2.2%	90
	70歳以上	14.9%	80.2%	1.0%	0.0%	0.0%	4.0%	101
	無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7
地区別 居住	東部	5.2%	88.0%	3.9%	2.0%	0.0%	1.0%	407
	南部	5.2%	88.7%	2.1%	0.5%	1.5%	2.1%	194
	西部	2.6%	90.2%	3.3%	1.3%	0.7%	2.0%	153
	北部	1.6%	85.7%	3.2%	6.3%	1.6%	1.6%	63
	無回答	9.1%	72.7%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	11

2-3-1. 休日・遊び

[1つ回答]

休日の主な外出先は、長野市（43.7%）、中野市（25.8%）でした。



■回答数と回答者の割合

	町内	中野市	長野市	その他(県内)	県外	無回答	回答者数
休日・遊び	32	214	362	126	61	35	828

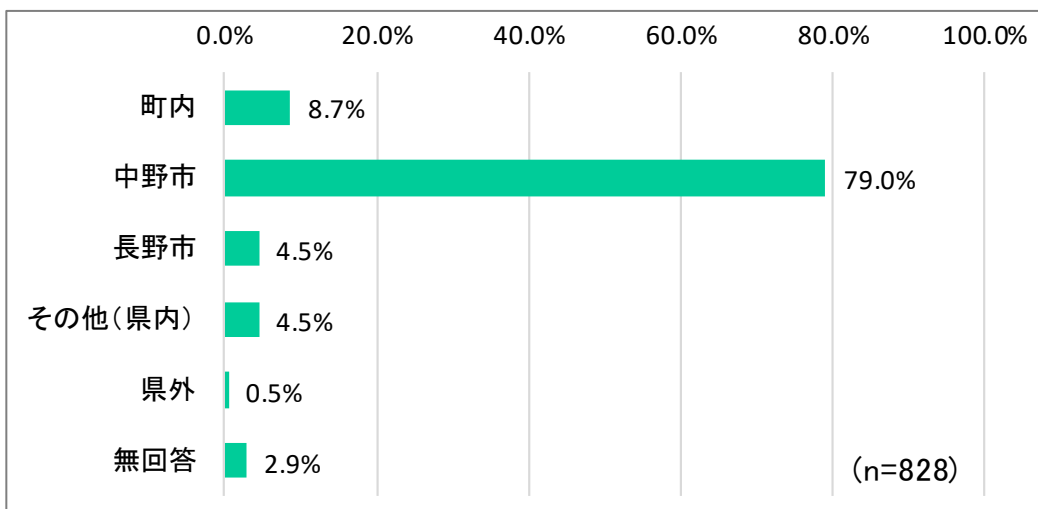
	町内	中野市	長野市	その他(県内)	県外	無回答	回答者数
休日・遊び	3.9%	25.8%	43.7%	15.2%	7.4%	4.2%	828
(前回)	5.1%	26.5%	34.0%	16.0%	8.8%	9.6%	878

		町内	中野市	長野市	その他(県内)	県外	無回答	回答者数
性別	男性	5.3%	26.6%	38.1%	17.0%	9.9%	3.0%	394
	女性	2.3%	25.3%	49.4%	13.6%	4.9%	4.9%	427
	無回答	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	7
年代別	10歳代	2.4%	24.4%	65.9%	2.4%	4.9%	0.0%	41
	20～30歳代	1.8%	17.7%	59.5%	9.5%	9.5%	1.8%	220
	40～50歳代	2.7%	26.6%	44.2%	16.3%	7.9%	2.4%	369
	60歳代	3.3%	31.1%	25.6%	26.7%	5.6%	10.0%	90
	70歳以上	12.9%	37.6%	16.8%	18.8%	3.0%	10.9%	101
	無回答	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	7
地区居住別	東部	5.2%	24.3%	46.7%	14.0%	6.4%	3.4%	407
	南部	2.1%	21.1%	47.4%	17.0%	8.2%	4.1%	194
	西部	2.6%	30.1%	39.2%	15.7%	9.2%	4.6%	153
	北部	1.6%	41.3%	30.2%	17.5%	4.8%	4.8%	63
	無回答	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	27.3%	11

2-3-1. 通院先

[1つ回答]

主な通院先は中野市で79.0%でした。 また町内は8.7%、長野市が4.5%でした。



■回答数と回答者の割合

	町内	中野市	長野市	その他(県内)	県外	無回答	回答者数
病院	72	654	37	37	4	24	828

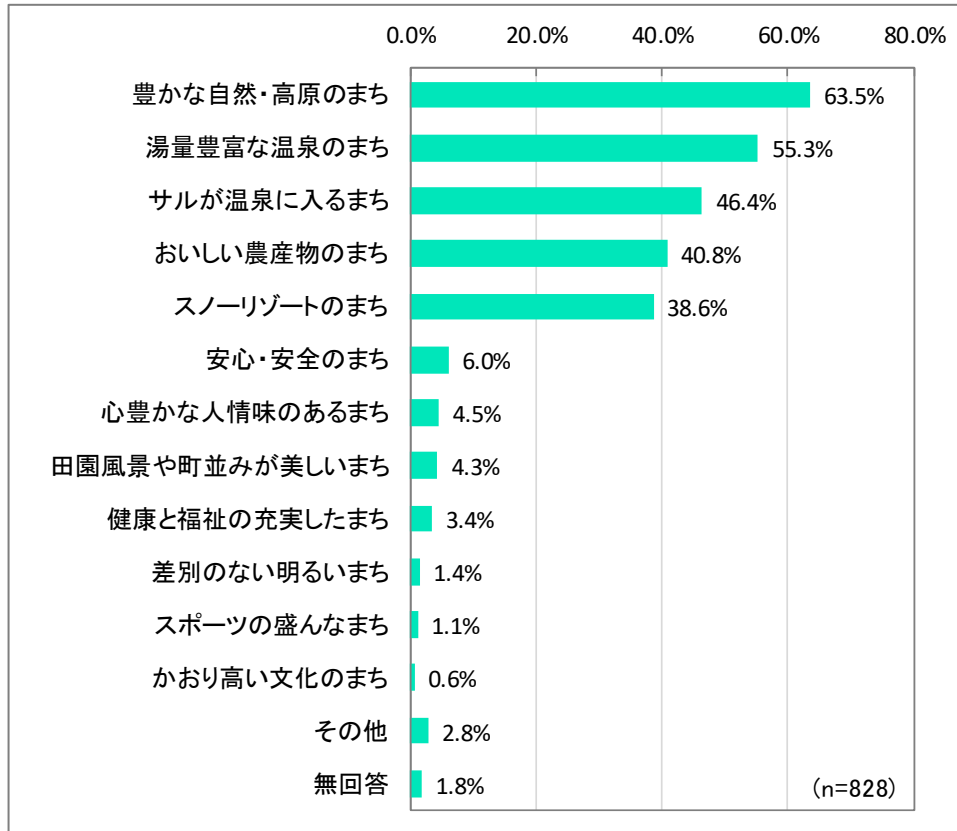
	町内	中野市	長野市	その他(県内)	県外	無回答	回答者数
病院	8.7%	79.0%	4.5%	4.5%	0.5%	2.9%	828
(前回)	8.8%	78.1%	5.0%	2.4%	0.5%	5.3%	878

		町内	中野市	長野市	その他(県内)	県外	無回答	回答者数
性別	男性	8.9%	78.9%	4.6%	3.8%	0.8%	3.0%	394
	女性	8.7%	79.2%	4.4%	5.2%	0.2%	2.3%	427
	無回答	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	7
年代別	10歳代	4.9%	80.5%	7.3%	2.4%	2.4%	2.4%	41
	20～30歳代	4.5%	85.0%	4.1%	3.6%	0.9%	1.8%	220
	40～50歳代	5.7%	82.7%	4.6%	4.9%	0.3%	1.9%	369
	60歳代	14.4%	73.3%	2.2%	4.4%	0.0%	5.6%	90
	70歳以上	25.7%	57.4%	5.9%	5.9%	0.0%	5.0%	101
	無回答	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	7
地区居住別	東部	12.5%	74.7%	4.7%	5.7%	0.0%	2.5%	407
	南部	7.2%	80.9%	3.1%	3.6%	1.0%	4.1%	194
	西部	3.3%	85.6%	6.5%	2.6%	0.7%	1.3%	153
	北部	1.6%	88.9%	3.2%	4.8%	0.0%	1.6%	63
	無回答	9.1%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	11

2-4. [問9] 山ノ内町のイメージにつながるもの、誇れるものは何ですか。

[3つまで回答]

山ノ内町のイメージは、自然・高原のまち（63.5%）、温泉のまち（55.3%）、サルが温泉に入るまち46.4%、農産物のまち（40.8%）、スノーリゾートのまち（38.6%）となっています。



■ 回答数と回答者の割合

	回答数	比率	前回
豊かな自然・高原のまち	526	63.5%	61.3%
湯量豊富な温泉のまち	458	55.3%	62.6%
サルが温泉に入るまち	384	46.4%	49.0%
おいしい農産物のまち	338	40.8%	39.5%
スノーリゾートのまち	320	38.6%	32.2%
安心・安全のまち	50	6.0%	5.8%
心豊かな人情味のあるまち	37	4.5%	4.1%
田園風景や町並みが美しいまち	36	4.3%	5.0%
健康と福祉の充実したまち	28	3.4%	2.7%
差別のない明るいまち	12	1.4%	1.3%
スポーツの盛んなまち	9	1.1%	1.1%
かおり高い文化のまち	5	0.6%	1.3%
その他	23	2.8%	0.9%
無回答	15	1.8%	1.7%
合計	2,241	270.5%	268.5%

## ■ 回答数と回答者の割合

		豊かな自然・高原のまち	スノーリゾートのまち	湯量豊富な温泉のまち	おいしい農産物のまち	スポーツの盛んなまち	サルが温泉に入るまち	安心・安全のまち	健康と福祉の充実したまち	田園風景や町並みが美しいまち	心豊かな人柄のあるまち	かおり高い文化のまち	差別のない明るいまち	その他	無回答	回答者数
性別	男性	244	169	205	153	6	173	25	15	18	20	3	4	15	8	394
	女性	279	147	250	182	3	208	25	12	18	16	2	8	8	6	427
	無回答	3	4	3	3	0	3	0	1	0	1	0	0	0	1	7
年代別	10歳代	21	23	18	14	0	24	4	0	3	5	0	1	1	0	41
	20～30歳代	140	106	125	65	1	125	8	3	6	12	0	2	6	2	220
	40～50歳代	233	150	201	155	7	171	17	8	17	13	4	3	11	4	369
	60歳代	59	21	53	48	0	34	7	2	6	1	1	1	3	3	90
	70歳以上	70	16	58	53	1	27	14	14	4	5	0	5	2	5	101
	無回答	3	4	3	3	0	3	0	1	0	1	0	0	0	1	7
地区別 居住	東部	261	156	255	158	3	194	25	9	12	17	3	3	5	6	407
	南部	114	70	108	71	3	94	11	7	12	8	1	4	12	4	194
	西部	99	58	70	79	1	73	9	7	8	6	1	3	3	2	153
	北部	48	32	21	26	2	19	5	4	4	5	0	2	3	0	63
	無回答	4	4	4	4	0	4	0	1	0	1	0	0	0	3	11

		豊かな自然・高原のまち	スノーリゾートのまち	湯量豊富な温泉のまち	おいしい農産物のまち	スポーツの盛んなまち	サルが温泉に入るまち	安心・安全のまち	健康と福祉の充実したまち	田園風景や町並みが美しいまち	心豊かな人柄のあるまち	かおり高い文化のまち	差別のない明るいまち	その他	無回答	回答者数
性別	男性	61.9%	42.9%	52.0%	38.8%	1.5%	43.9%	6.3%	3.8%	4.6%	5.1%	0.8%	1.0%	3.8%	2.0%	394
	女性	65.3%	34.4%	58.5%	42.6%	0.7%	48.7%	5.9%	2.8%	4.2%	3.7%	0.5%	1.9%	1.9%	1.4%	427
	無回答	42.9%	57.1%	42.9%	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7
年代別	10歳代	51.2%	56.1%	43.9%	34.1%	0.0%	58.5%	9.8%	0.0%	7.3%	12.2%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	41
	20～30歳代	63.6%	48.2%	56.8%	29.5%	0.5%	56.8%	3.6%	1.4%	2.7%	5.5%	0.0%	0.9%	2.7%	0.9%	220
	40～50歳代	63.1%	40.7%	54.5%	42.0%	1.9%	46.3%	4.6%	2.2%	4.6%	3.5%	1.1%	0.8%	3.0%	1.1%	369
	60歳代	65.6%	23.3%	58.9%	53.3%	0.0%	37.8%	7.8%	2.2%	6.7%	1.1%	1.1%	1.1%	3.3%	3.3%	90
	70歳以上	69.3%	15.8%	57.4%	52.5%	1.0%	26.7%	13.9%	13.9%	4.0%	5.0%	0.0%	5.0%	2.0%	5.0%	101
	無回答	42.9%	57.1%	42.9%	42.9%	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7
地区別 居住	東部	64.1%	38.3%	62.7%	38.8%	0.7%	47.7%	6.1%	2.2%	2.9%	4.2%	0.7%	0.7%	1.2%	1.5%	407
	南部	58.8%	36.1%	55.7%	36.6%	1.5%	48.5%	5.7%	3.6%	6.2%	4.1%	0.5%	2.1%	6.2%	2.1%	194
	西部	64.7%	37.9%	45.8%	51.6%	0.7%	47.7%	5.9%	4.6%	5.2%	3.9%	0.7%	2.0%	2.0%	1.3%	153
	北部	76.2%	50.8%	33.3%	41.3%	3.2%	30.2%	7.9%	6.3%	6.3%	7.9%	0.0%	3.2%	4.8%	0.0%	63
	無回答	36.4%	36.4%	36.4%	36.4%	0.0%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	11

### 【その他回答】

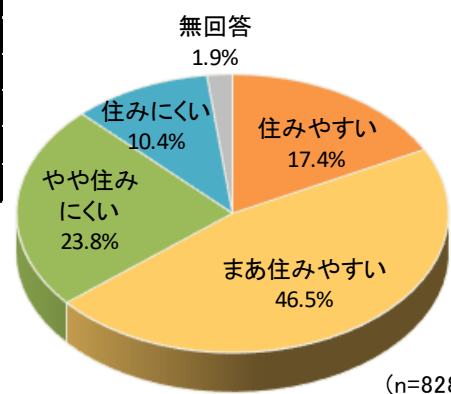
- ・ 高齢化社会のまち
- ・ 派手なネオンの無い田舎町
- ・ 生き辛い町
- ・ 観光場所が少ない。
- ・ 貧しい町、人口減少が止まらない町、観光スポットがまったくない町
- ・ 移住したくなる町
- ・ 外国人がたくさん
- ・ 車がないと何もできない町
- ・ 水が旨い（飲み水）

### 3. 山ノ内町の住みやすさや生活環境などについて

#### 3-1. 〔問10〕あなたにとって山ノ内町は住みやすいですか。 [1つ回答]

全般的に住みやすい傾向。  
 住みやすい (17.4%)、まあ住みやすい (46.5%)  
 住みにくい (10.4%)、やや住みにくい (23.8%)

	回答数	比率	前回
住みやすい	144	17.4%	18.2%
まあ住みやすい	385	46.5%	48.1%
やや住みにくい	197	23.8%	22.1%
住みにくい	86	10.4%	9.6%
無回答	16	1.9%	2.0%
合計	828	100.0%	100.0%



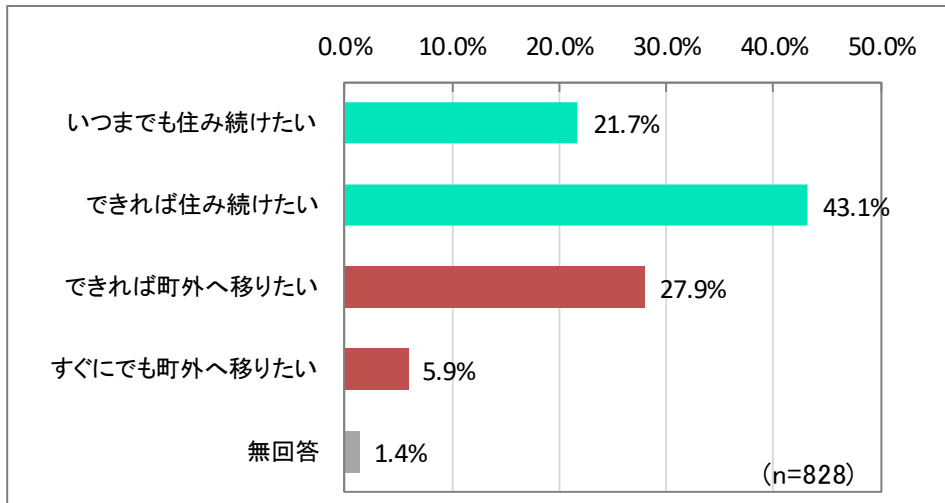
#### ■ 回答数と回答者の割合

		住みやすい	まあ住みやすい	やや住みにくい	住みにくい	無回答	住みやすい	まあ住みやすい	やや住みにくい	住みにくい	無回答	回答者数
性別	男性	73	197	88	31	5	18.5%	50.0%	22.3%	7.9%	1.3%	394
	女性	69	187	107	54	10	16.2%	43.8%	25.1%	12.6%	2.3%	427
	無回答	2	1	2	1	1	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	7
年代別	10歳代	19	11	8	3	0	46.3%	26.8%	19.5%	7.3%	0.0%	41
	20～30歳代	44	88	57	27	4	20.0%	40.0%	25.9%	12.3%	1.8%	220
	40～50歳代	45	183	96	37	8	12.2%	49.6%	26.0%	10.0%	2.2%	369
	60歳代	15	48	14	11	2	16.7%	53.3%	15.6%	12.2%	2.2%	90
	70歳以上	19	54	20	7	1	18.8%	53.5%	19.8%	6.9%	1.0%	101
	無回答	2	1	2	1	1	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	7
世帯構成別	ひとり住まい	14	29	9	5	0	24.6%	50.9%	15.8%	8.8%	0.0%	57
	夫婦のみ	17	68	24	12	3	13.7%	54.8%	19.4%	9.7%	2.4%	124
	夫婦と子ども	36	109	59	19	6	15.7%	47.6%	25.8%	8.3%	2.6%	229
	三世代以上が同居	47	90	48	23	2	22.4%	42.9%	22.9%	11.0%	1.0%	210
	母子あるいは父子	11	29	21	7	2	15.7%	41.4%	30.0%	10.0%	2.9%	70
	その他	14	53	32	18	2	11.8%	44.5%	26.9%	15.1%	1.7%	119
	無回答	5	7	4	2	1	26.3%	36.8%	21.1%	10.5%	5.3%	19
地区別	東部	73	189	93	46	6	17.9%	46.4%	22.9%	11.3%	1.5%	407
	南部	31	88	55	17	3	16.0%	45.4%	28.4%	8.8%	1.5%	194
	西部	31	75	30	12	5	20.3%	49.0%	19.6%	7.8%	3.3%	153
	北部	6	31	17	8	1	9.5%	49.2%	27.0%	12.7%	1.6%	63
	無回答	3	2	2	3	1	27.3%	18.2%	18.2%	27.3%	9.1%	11

3-2. 〔問 11〕 あなたは今後も山ノ内町に住み続けたいですか。

[ 1 つ回答 ]

住み続けたい (21.7%)、できれば住み続けたい (43.1%)  
 町外へ移りたい (5.9%)、できれば移りたい (27.9%)



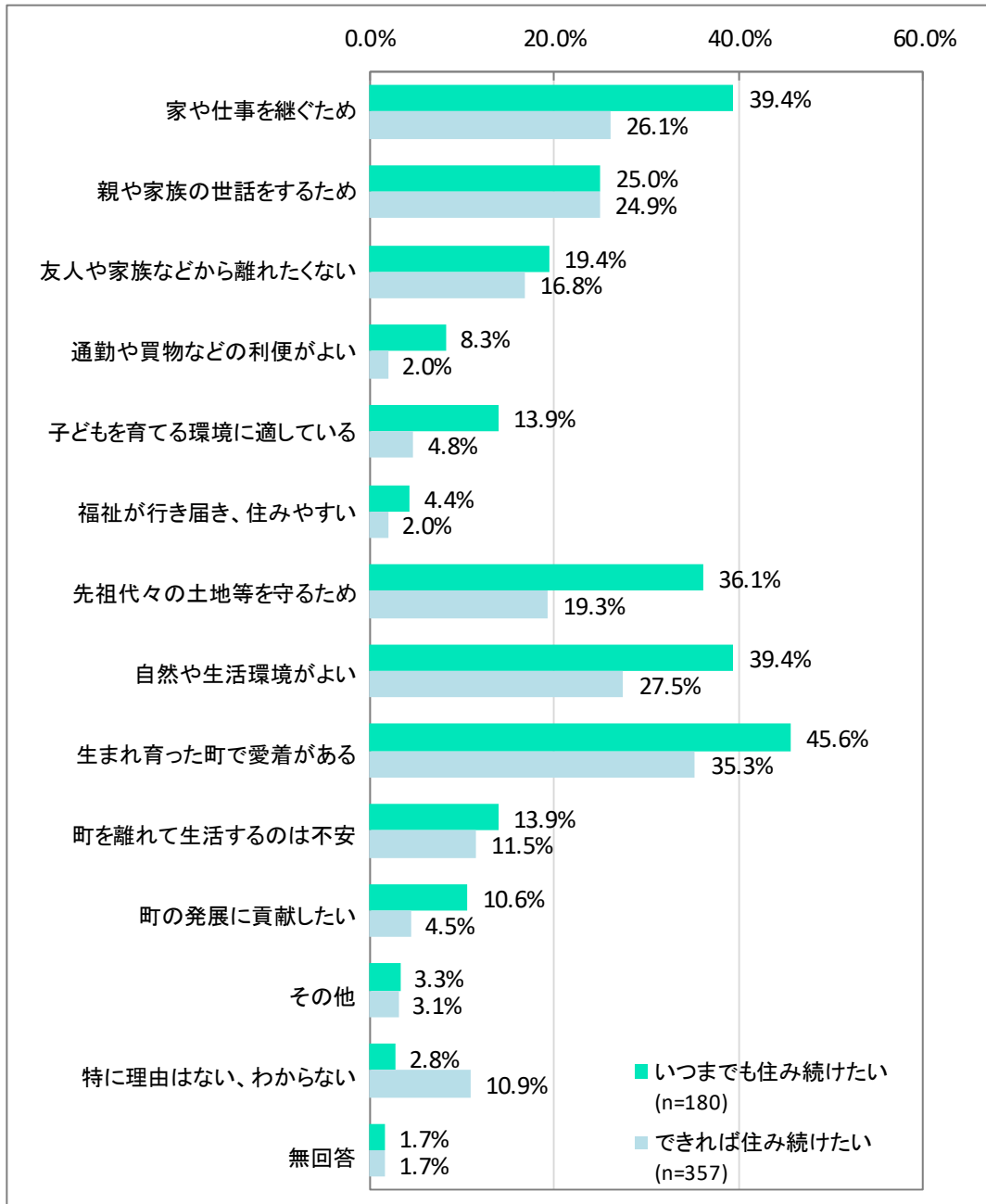
	回答数	比率	前回
いつまでも住み続けたい	180	21.7%	27.2%
できれば住み続けたい	357	43.1%	39.4%
できれば町外へ移りたい	231	27.9%	27.0%
すぐにでも町外へ移りたい	49	5.9%	4.6%
無回答	12	1.4%	1.8%
合計	829	100.0%	100.0%

■ 回答数と回答者の割合

		いつまでも 住み続けたい	できれば住 み続けたい	できれば 町外へ 移りたい	すぐにでも 町外へ 移りたい	無回答	いつまでも 住み続けたい	できれば住 み続けたい	できれば 町外へ 移りたい	すぐにでも 町外へ 移りたい	無回答	回答者数
年代別	10歳代	5	14	17	5	0	12.2%	34.1%	41.5%	12.2%	0.0%	41
	20～30歳代	36	88	73	19	4	16.4%	40.0%	33.2%	8.6%	1.8%	220
	40～50歳代	72	171	104	20	3	19.5%	46.3%	28.2%	5.4%	0.8%	369
	60歳代	27	40	17	3	3	30.0%	44.4%	18.9%	3.3%	3.3%	90
	70歳以上	40	41	17	2	1	39.6%	40.6%	16.8%	2.0%	1.0%	101
	無回答	0	3	3	0	1	0.0%	42.9%	42.9%	0.0%	14.3%	7
地区別 居住	東部	85	182	108	27	5	20.9%	44.7%	26.5%	6.6%	1.2%	407
	南部	40	85	59	6	4	20.6%	43.8%	30.4%	3.1%	2.1%	194
	西部	44	58	39	11	2	28.8%	37.9%	25.5%	7.2%	1.3%	153
	北部	11	28	21	3	0	17.5%	44.4%	33.3%	4.8%	0.0%	63
	無回答	0	4	4	2	1	0.0%	36.4%	36.4%	18.2%	9.1%	11

3-3. 「いつまでも住み続けたい」「できれば住み続けたい」と回答した方、その理由  
(いくつでも)

「いつまでも住み続けたい」理由は、  
 生まれ育った町で愛着がある(45.6%)、自然や生活環境がよい(39.4%)、家や仕事を継ぐため(39.4%)、先祖代々の土地を守るため(36.1%)となっています。  
 「できれば住み続けたい」理由は、  
 生まれ育った町で愛着がある(35.3%)、自然や生活環境がよい(27.5%)、家や仕事を継ぐため(26.1%)、親や家族の世話をするため(26.1%)でした。





■ 回答数と回答者の割合

	いつまでも 住み続け たい	できれば 住み続け たい	いつまでも 住み続け たい	できれば 住み続け たい
家や仕事を継ぐため	71	93	39.4%	26.1%
親や家族の世話をするため	45	89	25.0%	24.9%
友人や家族などから離れたくない	35	60	19.4%	16.8%
通勤や買物などの利便がよい	15	7	8.3%	2.0%
子どもを育てる環境に適している	25	17	13.9%	4.8%
福祉が行き届き、住みやすい	8	7	4.4%	2.0%
先祖代々の土地等を守るため	65	69	36.1%	19.3%
自然や生活環境がよい	71	98	39.4%	27.5%
生まれ育った町で愛着がある	82	126	45.6%	35.3%
町を離れて生活するのは不安	25	41	13.9%	11.5%
町の発展に貢献したい	19	16	10.6%	4.5%
その他	6	11	3.3%	3.1%
特に理由はない、わからない	5	39	2.8%	10.9%
無回答	3	6	1.7%	1.7%
回答者数	180	357		

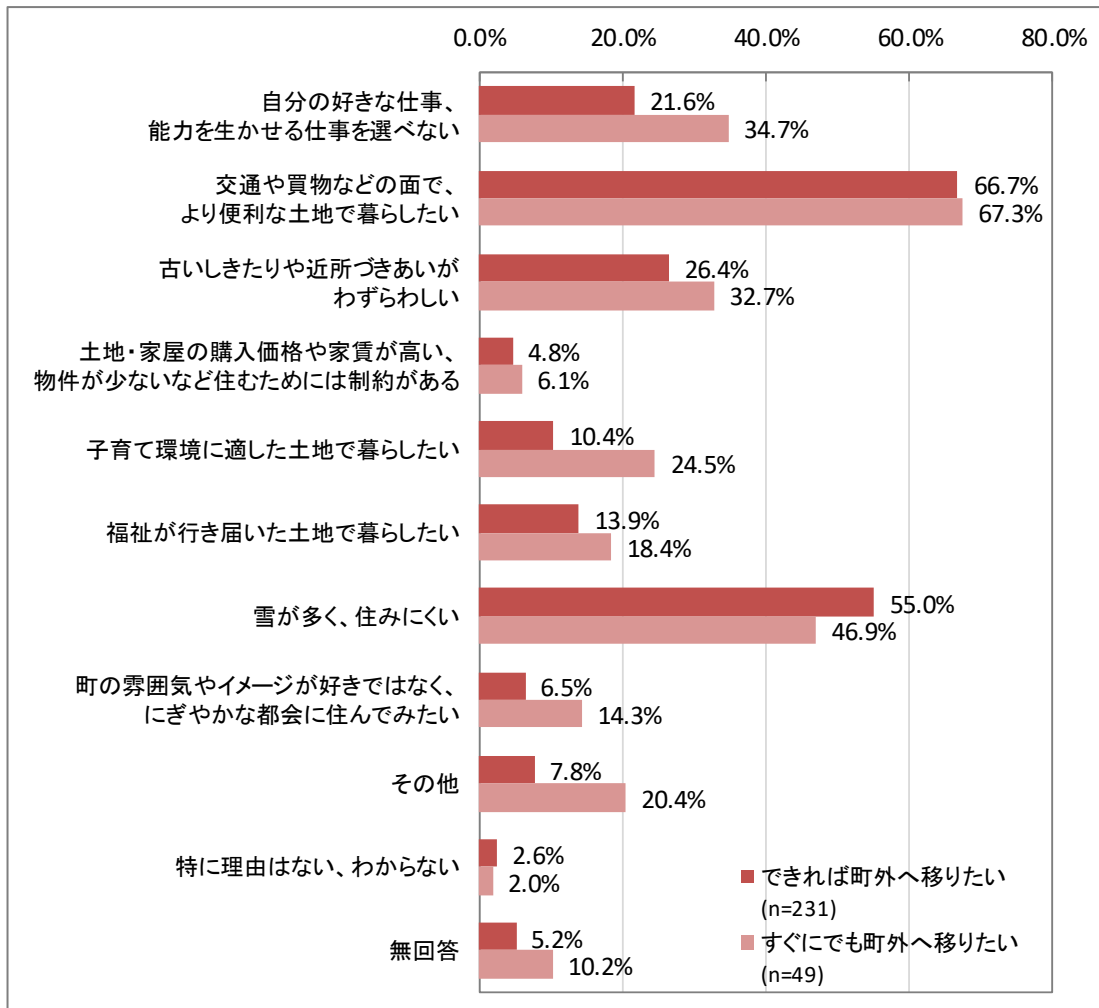
〈住み続けたい理由：その他回答〉

- ・土地があるから
- ・家があるから [2件]
- ・高齢で借家生活
- ・温泉に入れるから [6件]
- ・すぐ近くで四季折々の山菜が採れる。
- ・志賀高原がある。
- ・親切な人が多い
- ・自然災害が少ない
- ・帰郷する子ども達のため。
- ・特段不都合を感じない。
- ・冬期間(積雪が多い)を除いた季節に住みたい

3-4. 「できれば町外へ移りたい」「すぐにでも町外へ移りたい」と回答した方、その理由  
(いくつでも)

「すぐにでも町外へ移りたい」理由は  
交通や買物などの面で、より便利な土地で暮らしたい(66.7%)、雪が多く、住みにくい(55.0%)、古いしきたりや近所づきあいがわずらわしい(26.4%)となっています。

「できれば町外へ移りたい」理由は  
交通や買物などの面で、より便利な土地で暮らしたい(67.3%)、雪が多く、住みにくい(46.9%)、自分の好きな仕事、能力を生かせる仕事を選べない(34.7%)、古いしきたりや近所づきあいがわずらわしい(32.7%)とでした。



■ 回答数と回答者の割合

	できれば 町外へ移 りたい	すぐにでも 町外へ移 りたい	できれば 町外へ移 りたい	すぐにでも 町外へ移 りたい
自分の好きな仕事、 能力を生かせる仕事を選べない	50	17	21.6%	34.7%
交通や買物などの面で、 より便利な土地で暮らしたい	154	33	66.7%	67.3%
古いしきたりや近所づきあいが わずらわしい	61	16	26.4%	32.7%
土地・家屋の購入価格や家賃が高い、 物件が少ないなど住むためには制約がある	11	3	4.8%	6.1%
子育て環境に適した土地で暮らしたい	24	12	10.4%	24.5%
福祉が行き届いた土地で暮らしたい	32	9	13.9%	18.4%
雪が多く、住みにくい	127	23	55.0%	46.9%
町の雰囲気やイメージが好きではなく、 にぎやかな都会に住んでみたい	15	7	6.5%	14.3%
その他	18	10	7.8%	20.4%
特に理由はない、わからない	6	1	2.6%	2.0%
無回答	12	5	5.2%	10.2%
回答者数	231	49		

〈移りたい理由：その他回答〉

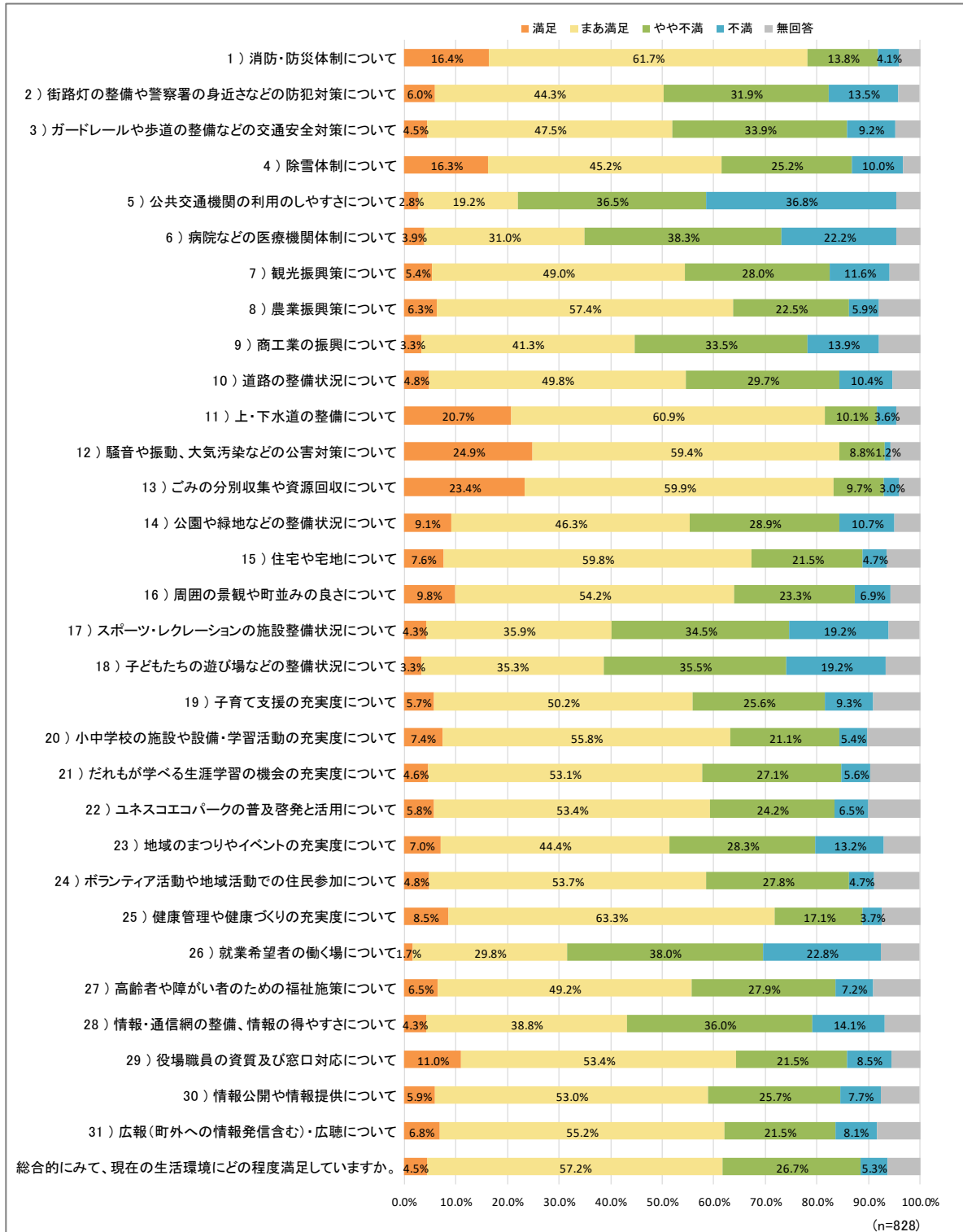
- ・温泉に入らないのに維持費を支払っている。
- ・税金が高い [3 件]
- ・近所の噂話が不快
- ・閉鎖的
- ・町民に元気がなく、先が不安
- ・消防団で強制的に酒を飲まされる
- ・町民が少ないため、毎年学校や地区の役員をしなければならない。
- ・役が多すぎる
- ・町の政策に不安を感じる。
- ・客のマナーが悪い。敷地へ進入してくる。ジロジロ見る。
- ・サル被害で畑づくりを楽しめない。
- ・違う環境を経験したい
- ・他の地域でも住んでみたい
- ・高齢者が住みにくい。
- ・年をとって車に乗れなくなったり、雪の片付けができなくなると困る。
- ・同居が苦しい
- ・子供が町外の為
- ・婚姻のため

#### 4. 山ノ内町の現状と今後の取り組みについて

4-1. 〔問 12〕あなたは当町(行政)が行うサービス等について、現況どの程度満足していますか。また今後の取り組みとしてどのくらい重要だと思えますか。〔1つずつ回答〕

##### (1) 満足の種類

総合的にみると、「まあ満足」が57.2%、「やや不満」が26.7%、「満足」が4.5%、「不満」が5.3%でした。  
 満足の程度が高いのは、「12公害対策(24.9%)」、「13ごみの分別や資源回収(23.4%)」  
 満足の程度が低いのは、「5公共交通(36.8%)」「26働く場(22.8%)」でした。



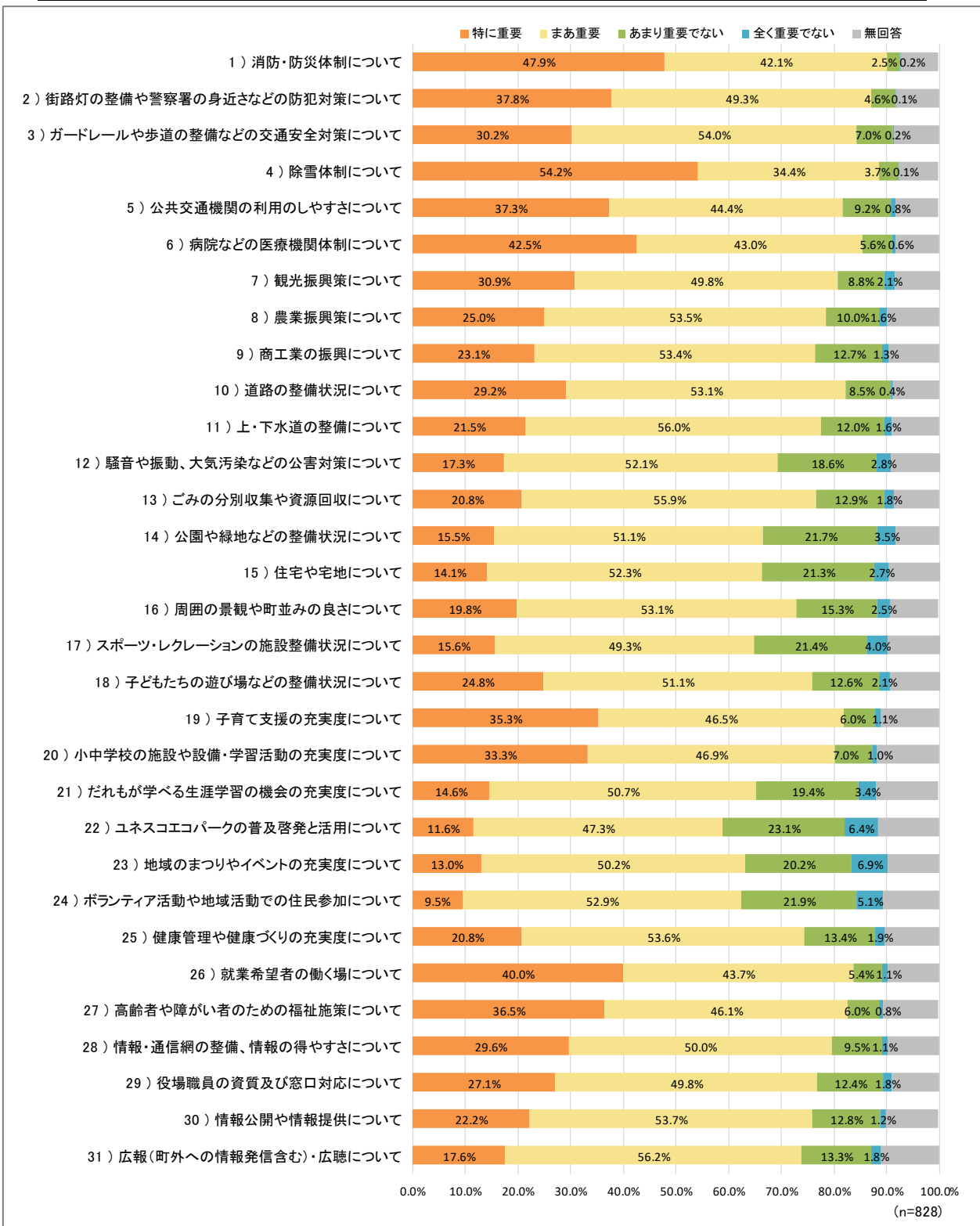
## ■ 回答数と割合

	満足	まあ満足	やや不満	不満	無回答	満足	まあ満足	やや不満	不満	無回答
1 消防・防災体制について	136	511	114	34	33	16.4%	61.7%	13.8%	4.1%	4.0%
2 街路灯の整備や警察署の身近さなどの防犯対策について	50	367	264	112	35	6.0%	44.3%	31.9%	13.5%	4.2%
3 ガードレールや歩道の整備などの交通安全対策について	37	393	281	76	41	4.5%	47.5%	33.9%	9.2%	5.0%
4 除雪体制について	135	374	209	83	27	16.3%	45.2%	25.2%	10.0%	3.3%
5 公共交通機関の利用のしやすさについて	23	159	302	305	39	2.8%	19.2%	36.5%	36.8%	4.7%
6 病院などの医療機関体制について	32	257	317	184	38	3.9%	31.0%	38.3%	22.2%	4.6%
7 観光振興策について	45	406	232	96	49	5.4%	49.0%	28.0%	11.6%	5.9%
8 農業振興策について	52	475	186	49	66	6.3%	57.4%	22.5%	5.9%	8.0%
9 商工業の振興について	27	342	277	115	67	3.3%	41.3%	33.5%	13.9%	8.1%
10 道路の整備状況について	40	412	246	86	44	4.8%	49.8%	29.7%	10.4%	5.3%
11 上・下水道の整備について	171	504	84	30	39	20.7%	60.9%	10.1%	3.6%	4.7%
12 騒音や振動、大気汚染などの公害対策について	206	492	73	10	47	24.9%	59.4%	8.8%	1.2%	5.7%
13 ごみの分別収集や資源回収について	194	496	80	25	33	23.4%	59.9%	9.7%	3.0%	4.0%
14 公園や緑地などの整備状況について	75	383	239	89	42	9.1%	46.3%	28.9%	10.7%	5.1%
15 住宅や宅地について	63	495	178	39	53	7.6%	59.8%	21.5%	4.7%	6.4%
16 周囲の景観や町並みの良さについて	81	449	193	57	48	9.8%	54.2%	23.3%	6.9%	5.8%
17 スポーツ・レクリエーションの施設整備状況について	36	297	286	159	50	4.3%	35.9%	34.5%	19.2%	6.0%
18 子どもたちの遊び場などの整備状況について	27	292	294	159	56	3.3%	35.3%	35.5%	19.2%	6.8%
19 子育て支援の充実度について	47	416	212	77	76	5.7%	50.2%	25.6%	9.3%	9.2%
20 小中学校の施設や設備・学習活動の充実度について	61	462	175	45	85	7.4%	55.8%	21.1%	5.4%	10.3%
21 だれもが学べる生涯学習の機会の充実度について	38	440	224	46	80	4.6%	53.1%	27.1%	5.6%	9.7%
22 ユネスコエコパークの普及啓発と活用について	48	442	200	54	84	5.8%	53.4%	24.2%	6.5%	10.1%
23 地域のまつりやイベントの充実度について	58	368	234	109	59	7.0%	44.4%	28.3%	13.2%	7.1%
24 ボランティア活動や地域活動での住民参加について	40	445	230	39	74	4.8%	53.7%	27.8%	4.7%	8.9%
25 健康管理や健康づくりの充実度について	70	524	142	31	61	8.5%	63.3%	17.1%	3.7%	7.4%
26 就業希望者の働く場について	14	247	315	189	63	1.7%	29.8%	38.0%	22.8%	7.6%
27 高齢者や障がい者のための福祉施策について	54	407	231	60	76	6.5%	49.2%	27.9%	7.2%	9.2%
28 情報・通信網の整備、情報の得やすさについて	36	321	298	117	56	4.3%	38.8%	36.0%	14.1%	6.8%
29 役場職員の資質及び窓口対応について	91	442	178	70	47	11.0%	53.4%	21.5%	8.5%	5.7%
30 情報公開や情報提供について	49	439	213	64	63	5.9%	53.0%	25.7%	7.7%	7.6%
31 広報(町外への情報発信含む)・広聴について	56	457	178	67	70	6.8%	55.2%	21.5%	8.1%	8.5%
総合的にみて、現在の生活環境にどの程度満足していますか。	37	474	221	44	52	4.5%	57.2%	26.7%	5.3%	6.3%
(前回 総合満足度)						3.4%	55.8%	29.2%	6.3%	5.4%

※各設問の回答者数(n=828)

(1) 今後の重要度 [1つずつ回答]

特に重要が高いのは、「4除雪体制について」が54.2%、「1消防・防災体制」が47.9%となっています。  
 まあ重要では、「31広報・広聴について」が56.2%、「11上下水道の整備」が56.0%でした。



## ■ 回答数と割合

	特に重要	まあ重要	あまり重要でない	全く重要でない	無回答	特に重要	まあ重要	あまり重要でない	全く重要でない	無回答
1 消防・防災体制について	397	349	21	2	59	47.9%	42.1%	2.5%	0.2%	7.1%
2 街路灯の整備や警察署の身近さなどの防犯対策について	313	408	38	1	68	37.8%	49.3%	4.6%	0.1%	8.2%
3 ガードレールや歩道の整備などの交通安全対策について	250	447	58	2	71	30.2%	54.0%	7.0%	0.2%	8.6%
4 除雪体制について	449	285	31	1	62	54.2%	34.4%	3.7%	0.1%	7.5%
5 公共交通機関の利用のしやすさについて	309	368	76	7	68	37.3%	44.4%	9.2%	0.8%	8.2%
6 病院などの医療機関体制について	352	356	46	5	69	42.5%	43.0%	5.6%	0.6%	8.3%
7 観光振興策について	256	412	73	17	70	30.9%	49.8%	8.8%	2.1%	8.5%
8 農業振興策について	207	443	83	13	82	25.0%	53.5%	10.0%	1.6%	9.9%
9 商工業の振興について	191	442	105	11	79	23.1%	53.4%	12.7%	1.3%	9.5%
10 道路の整備状況について	242	440	70	3	73	29.2%	53.1%	8.5%	0.4%	8.8%
11 上・下水道の整備について	178	464	99	13	74	21.5%	56.0%	12.0%	1.6%	8.9%
12 騒音や振動、大気汚染などの公害対策について	143	431	154	23	77	17.3%	52.1%	18.6%	2.8%	9.3%
13 ごみの分別収集や資源回収について	172	463	107	15	71	20.8%	55.9%	12.9%	1.8%	8.6%
14 公園や緑地などの整備状況について	128	423	180	29	68	15.5%	51.1%	21.7%	3.5%	8.2%
15 住宅や宅地について	117	433	176	22	80	14.1%	52.3%	21.3%	2.7%	9.7%
16 周囲の景観や町並みの良さについて	164	440	127	21	76	19.8%	53.1%	15.3%	2.5%	9.2%
17 スポーツ・レクリエーションの施設整備状況について	129	408	177	33	81	15.6%	49.3%	21.4%	4.0%	9.8%
18 子どもたちの遊び場などの整備状況について	205	423	104	17	79	24.8%	51.1%	12.6%	2.1%	9.5%
19 子育て支援の充実度について	292	385	50	9	92	35.3%	46.5%	6.0%	1.1%	11.1%
20 小中学校の施設や設備・学習活動の充実度について	276	388	58	8	98	33.3%	46.9%	7.0%	1.0%	11.8%
21 だれもが学べる生涯学習の機会の充実度について	121	420	161	28	98	14.6%	50.7%	19.4%	3.4%	11.8%
22 ユネスコエコパークの普及啓発と活用について	96	392	191	53	96	11.6%	47.3%	23.1%	6.4%	11.6%
23 地域のまつりやイベントの充実度について	108	416	167	57	80	13.0%	50.2%	20.2%	6.9%	9.7%
24 ボランティア活動や地域活動での住民参加について	79	438	181	42	88	9.5%	52.9%	21.9%	5.1%	10.6%
25 健康管理や健康づくりの充実度について	172	444	111	16	85	20.8%	53.6%	13.4%	1.9%	10.3%
26 就業希望者の働く場について	331	362	45	9	81	40.0%	43.7%	5.4%	1.1%	9.8%
27 高齢者や障がい者のための福祉施策について	302	382	50	7	87	36.5%	46.1%	6.0%	0.8%	10.5%
28 情報・通信網の整備、情報の得やすさについて	245	414	79	9	81	29.6%	50.0%	9.5%	1.1%	9.8%
29 役場職員の資質及び窓口対応について	224	412	103	15	74	27.1%	49.8%	12.4%	1.8%	8.9%
30 情報公開や情報提供について	184	445	106	10	83	22.2%	53.7%	12.8%	1.2%	10.0%
31 広報(町外への情報発信含む)・広聴について	146	465	110	15	92	17.6%	56.2%	13.3%	1.8%	11.1%

※各設問の回答者数(n=828)

「満足 の程度」、「今後の重要度」についてそれぞれ評価点を算定して整理しました。

#### <評価点の算出方法>

「満足（特に重要）」＝ 5点

「まあ満足（まあ重要）」＝ 3点

「やや不満（あまり重要でない）」＝ -3点

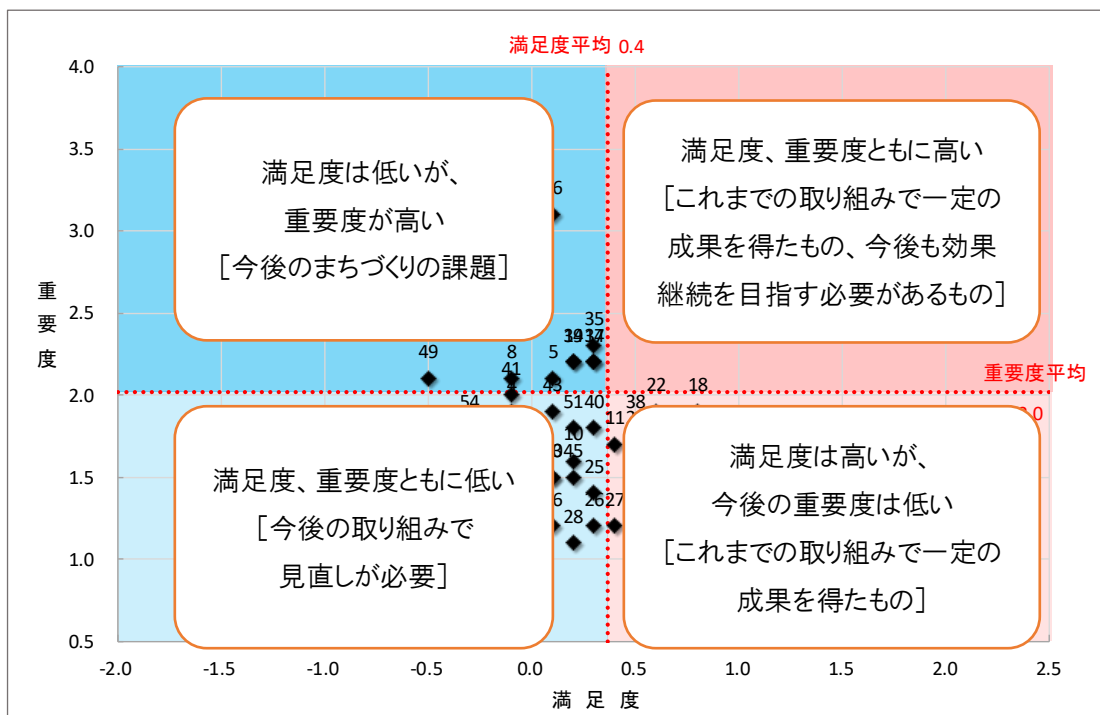
「不満（全く重要でない）」＝ -5点

と加算し、合計を回答者数で除して算定。

上記のように算出した満足度・重要度それぞれの評価点について、施策全体に対する平均値を算出しました。

これらを用いて下グラフのように満足度と重要度の相関グラフに整理しました。

#### <相関グラフの見方>

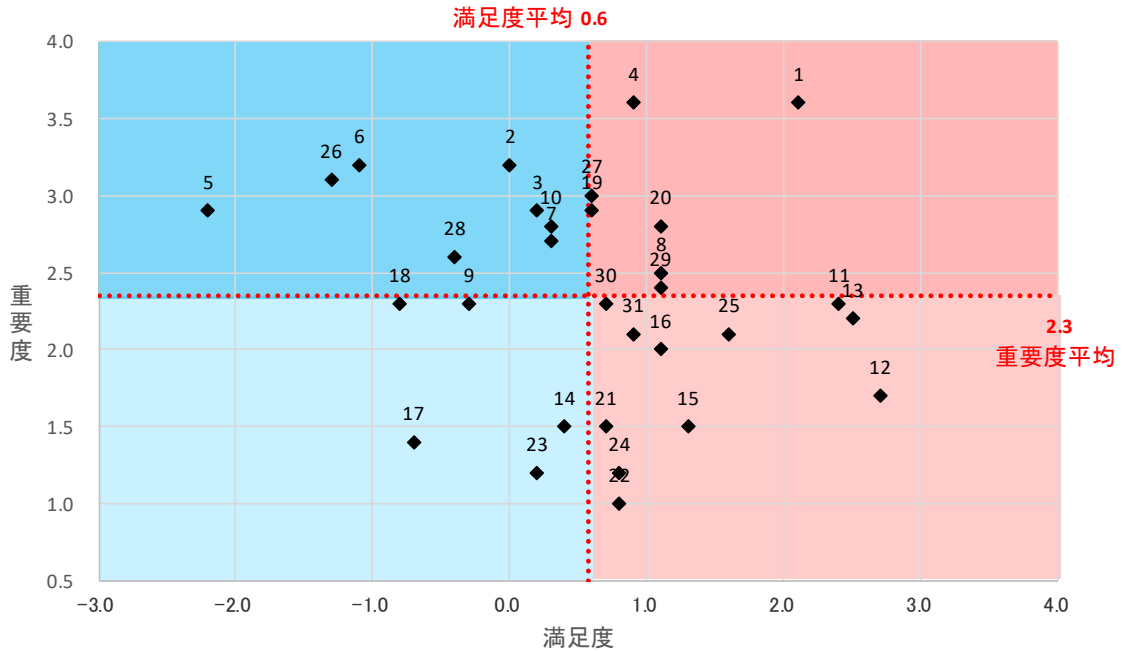


※グラフ中の数字は、アンケート中の設問番号です。



<満足度×重要度の相関>

「満足度・重要度が高い項目」  
 1消防・防災体制、4除雪体制、20小中学校の設備・学習活動の充実、8農業振興等は評価が高い。  
 「満足度が低く、重要度が高い項目」  
 5公共交通、26就業の場、6医療機関体制、28情報の得やすさ等の重要度が高い。



設問項目	満足度	重要度	設問項目	満足度	重要度
1 消防・防災体制について	2.1	3.6	18 子どもたちの遊び場などの整備状況について	-0.8	2.3
2 街路灯の整備や警察署の身近さなどの防犯対策について	0.0	3.2	19 子育て支援の充実度について	0.6	2.9
3 ガードレールや歩道の整備などの交通安全対策について	0.2	2.9	20 小中学校の施設や設備・学習活動の充実度について	1.1	2.8
4 除雪体制について	0.9	3.6	21 だれもが学べる生涯学習の機会の充実度について	0.7	1.5
5 公共交通機関の利用のしやすさについて	-2.2	2.9	22 ユネスコエコパークの普及啓発と活用について	0.8	1.0
6 病院などの医療機関体制について	-1.1	3.2	23 地域のまつりやイベントの充実度について	0.2	1.2
7 観光振興策について	0.3	2.7	24 ボランティア活動や地域活動での住民参加について	0.8	1.2
8 農業振興策について	1.1	2.5	25 健康管理や健康づくりの充実度について	1.6	2.1
9 商工業の振興について	-0.3	2.3	26 就業希望者の働く場について	-1.3	3.1
10 道路の整備状況について	0.3	2.8	27 高齢者や障がい者のための福祉施策について	0.6	3.0
11 上・下水道の整備について	2.4	2.3	28 情報・通信網の整備、情報の得やすさについて	-0.4	2.6
12 騒音や振動、大気汚染などの公害対策について	2.7	1.7	29 役場職員の資質及び窓口対応について	1.1	2.4
13 ごみの分別収集や資源回収について	2.5	2.2	30 情報公開や情報提供について	0.7	2.3
14 公園や緑地などの整備状況について	0.4	1.5	31 広報(町外への情報発信含む)・広聴について	0.9	2.1
15 住宅や宅地について	1.3	1.5	総合的にみて、現在の生活環境にどの程度満足していますか。	0.9	
16 周囲の景観や町並みの良さについて	1.1	2.0			
17 スポーツ・レクリエーションの施設整備状況について	-0.7	1.4			

平均値 0.6 2.3

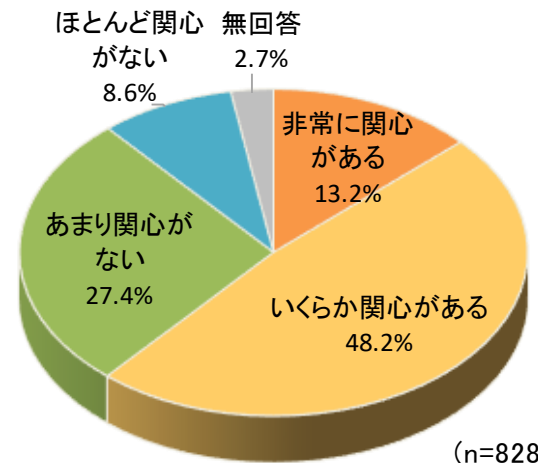
満足度: 平均以上 / 重要度: 平均以上	.....	満足度: 平均未満 / 重要度: 平均以上	.....
満足度: 平均以上 / 重要度: 平均未満	.....	満足度: 平均未満 / 重要度: 平均未満	.....

## 5. 今後のまちづくりについて

### 5-1. 〔問 13〕あなたは山ノ内町のまちづくりに対して関心をお持ちですか。〔1つ答〕

まちづくりに対する関心は、非常に関心がある（13.2%）、いくらか関心がある（48.2%）、あまり関心がない（27.4%）、ほとんど関心がない（8.6%）でした。  
全体的には関心がある傾向でした。

	回答数	比率	前回
非常に関心がある	109	13.2%	15.4%
いくらか関心がある	399	48.2%	47.8%
あまり関心がない	227	27.4%	26.3%
ほとんど関心がない	71	8.6%	8.1%
無回答	22	2.7%	2.4%
合計	828	100.1%	100.0%

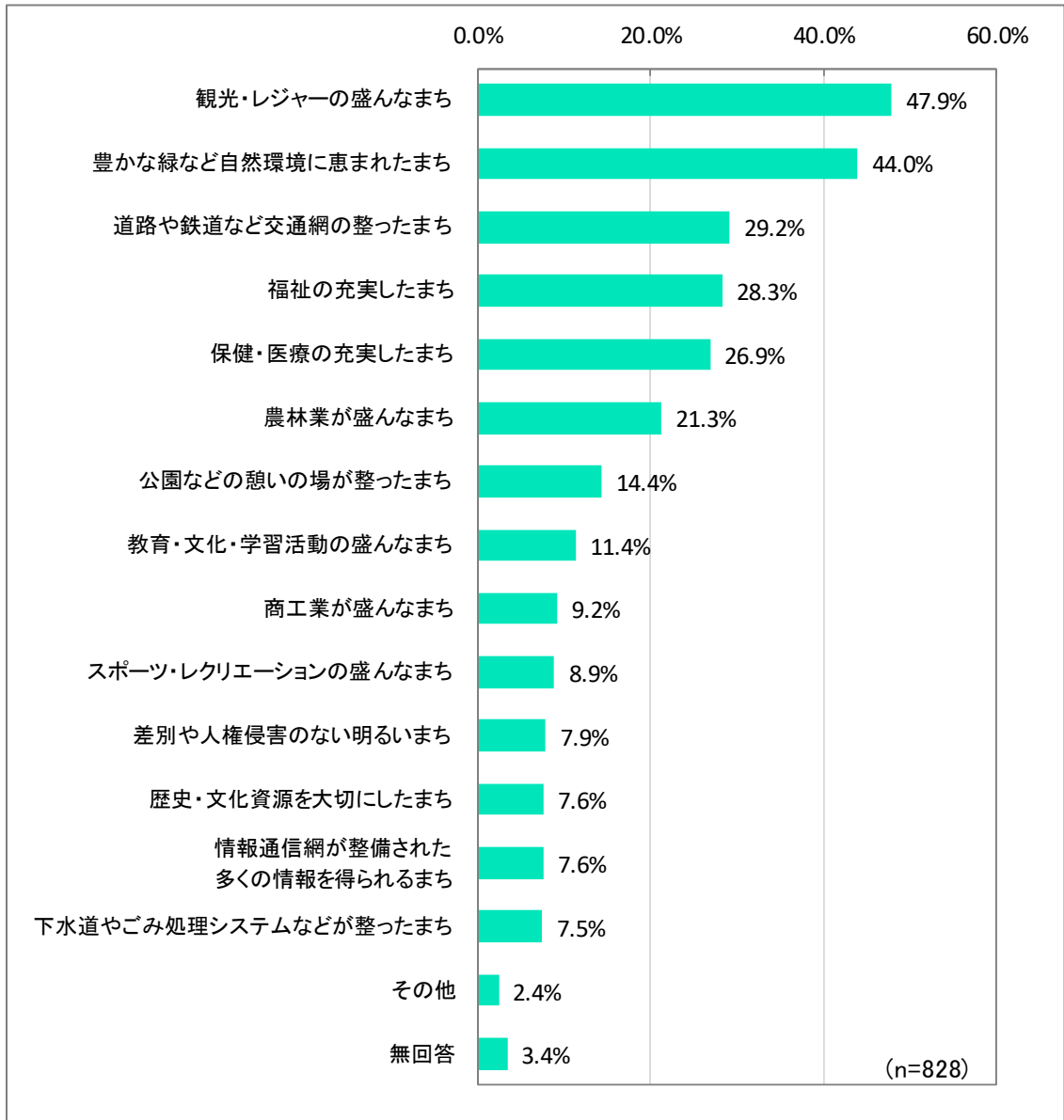


■ 回答数と回答者の割合

		非常に関心がある	いくらか関心がある	あまり関心がない	ほとんど関心がない	無回答	非常に関心がある	いくらか関心がある	あまり関心がない	ほとんど関心がない	無回答	回答者数
性別	男性	61	189	97	37	10	15.5%	48.0%	24.6%	9.4%	2.5%	394
	女性	47	208	128	33	11	11.0%	48.7%	30.0%	7.7%	2.6%	427
	無回答	1	2	2	1	1	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	7
年代別	10歳代	5	16	14	4	2	12.2%	39.0%	34.1%	9.8%	4.9%	41
	20～30歳代	26	96	69	26	3	11.8%	43.6%	31.4%	11.8%	1.4%	220
	40～50歳代	45	182	106	27	9	12.2%	49.3%	28.7%	7.3%	2.4%	369
	60歳代	12	48	20	7	3	13.3%	53.3%	22.2%	7.8%	3.3%	90
	70歳以上	20	55	16	6	4	19.8%	54.5%	15.8%	5.9%	4.0%	101
	無回答	1	2	2	1	1	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	7
職業別	有職	84	325	175	56	13	12.9%	49.9%	26.9%	8.6%	2.0%	651
	無職	18	53	30	7	6	15.8%	46.5%	26.3%	6.1%	5.3%	114
	学生	6	21	17	6	2	11.5%	40.4%	32.7%	11.5%	3.8%	52
	無回答	1	2	5	2	1	9.1%	18.2%	45.5%	18.2%	9.1%	11

5-2. 〔問 14〕 あなたは、山ノ内町をどのような町にしたいとお考えですか。（3 つまで）

観光・レジャーの盛んなまち（47.9%）、自然環境に恵まれたまち（44.0%）、道路・交通網の整備（29.2%）、福祉の充実（28.3%）、保健・医療の充実（26.8%）の順に回答が寄せられ、山ノ内町の特徴を生かすとともに課題への対応が求められた結果といえます。



■回答数と回答者の割合

	回答数	比率	前回
観光・レジャーの盛んなまち	397	47.9%	43.5%
豊かな緑など自然環境に恵まれたまち	364	44.0%	46.4%
道路や鉄道など交通網の整ったまち	242	29.2%	25.4%
福祉の充実したまち	234	28.3%	29.7%
保健・医療の充実したまち	223	26.9%	28.1%
農林業が盛んなまち	176	21.3%	21.4%
公園などの憩いの場が整ったまち	119	14.4%	18.7%
教育・文化・学習活動の盛んなまち	94	11.4%	9.1%
商工業が盛んなまち	76	9.2%	9.6%
スポーツ・レクリエーションの盛んなまち	74	8.9%	8.8%
差別や人権侵害のない明るいまち	65	7.9%	7.6%
歴史・文化資源を大切にしたまち	63	7.6%	7.2%
情報通信網が整備された 多くの情報を得られるまち	63	7.6%	6.2%
下水道やごみ処理システムなどが整ったまち	62	7.5%	6.5%
その他	20	2.4%	3.1%
無回答	28	3.4%	
合計	2,300	277.9%	271.3%

【その他回答】

- ・子育てがしやすいまち [2件]
- ・子育て家族に優しい
- ・子どもが楽しく暮らせるまち
- ・悪い意味での”村社会”のない町
- ・住民が幸せなまち
- ・自然を残しつつ、若者に好かれるような綺麗な街並み
- ・お洒落でオープンなまち
- ・情報公開が進み、インターネットを活用した行政手続きが可能な  
先進的取り組みを行う町
- ・大きい税金を落とすビジネスが必要！
- ・野焼き（ビニール等の焼却）はやめさせてほしい

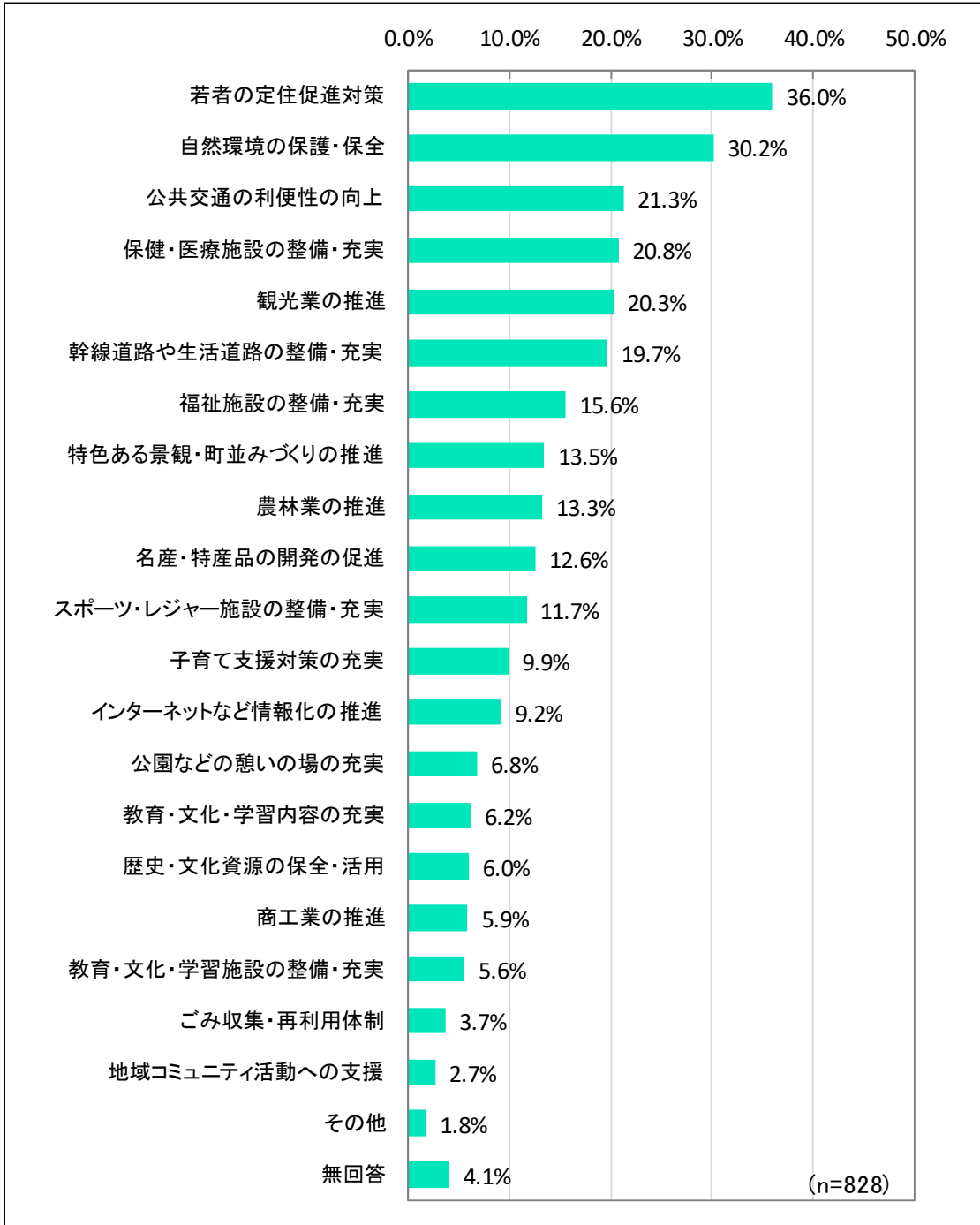
■ 回答数と回答者の割合

性別	回答者の割合														無回答	回答者数	
	豊かな緑など自然環境に恵まれたまち	道路や鉄道など交通網の整ったまち	公園などの憩いの場が整ったまち	下水道やごみ処理システムなどが整ったまち	観光・レジャーの盛んなまち	農業が盛んなまち	商工業が盛んなまち	歴史・文化資源を大切にしましたまち	情報通信網が整備された多くの情報を得られるまち	教育・文化・学習活動の盛んなまち	スポーツ・レクリエーションの盛んなまち	保健・医療の充実したまち	福祉の充実したまち	差別や人権侵害のない明るいまち			その他
男性	185	104	53	31	200	105	41	33	27	47	44	91	90	24	14	394	
女性	176	135	65	31	195	69	35	30	36	47	30	131	142	40	6	427	
無回答	3	3	1	0	2	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	2	
10歳代	22	15	10	1	22	8	0	4	3	5	7	2	9	2	0	1	41
20～30歳代	108	64	39	4	130	52	20	12	23	23	25	50	45	21	7	4	220
40～50歳代	148	107	44	29	176	73	35	30	24	47	30	106	111	27	12	13	369
60歳代	37	23	14	12	35	21	11	6	7	6	4	22	29	9	0	6	90
70歳以上	46	30	11	16	32	20	10	11	6	13	8	42	38	5	1	2	101
無回答	3	3	1	0	2	2	0	0	0	0	0	1	2	1	0	2	7

性別	回答者の割合														無回答	回答者数	
	豊かな緑など自然環境に恵まれたまち	道路や鉄道など交通網の整ったまち	公園などの憩いの場が整ったまち	下水道やごみ処理システムなどが整ったまち	観光・レジャーの盛んなまち	農業が盛んなまち	商工業が盛んなまち	歴史・文化資源を大切にしましたまち	情報通信網が整備された多くの情報を得られるまち	教育・文化・学習活動の盛んなまち	スポーツ・レクリエーションの盛んなまち	保健・医療の充実したまち	福祉の充実したまち	差別や人権侵害のない明るいまち			その他
男性	47.0%	26.4%	13.5%	7.9%	50.8%	26.6%	10.4%	8.4%	6.9%	11.9%	11.2%	23.1%	22.8%	6.1%	3.6%	30%	394
女性	41.2%	31.6%	15.2%	7.3%	45.7%	16.2%	8.2%	7.0%	8.4%	11.0%	7.0%	30.7%	33.3%	9.4%	1.4%	3.3%	427
無回答	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	7
10歳代	53.7%	36.6%	24.4%	2.4%	53.7%	19.5%	0.0%	9.8%	7.3%	12.2%	17.1%	4.9%	22.0%	4.9%	0.0%	2.4%	41
20～30歳代	49.1%	29.1%	17.7%	1.8%	59.1%	23.6%	9.1%	5.5%	10.5%	10.5%	11.4%	22.7%	20.5%	9.5%	3.2%	1.8%	220
40～50歳代	40.1%	29.0%	11.9%	7.9%	47.7%	19.8%	9.5%	8.1%	6.5%	12.7%	8.1%	28.7%	30.1%	7.3%	3.3%	3.5%	369
60歳代	41.1%	25.6%	15.6%	13.3%	38.9%	23.3%	12.2%	6.7%	7.8%	6.7%	4.4%	24.4%	32.2%	10.0%	0.0%	6.7%	90
70歳以上	45.5%	29.7%	10.9%	15.8%	31.7%	19.8%	9.9%	10.9%	5.9%	12.9%	7.9%	41.6%	37.6%	5.0%	1.0%	2.0%	101
無回答	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	7

5-3. [問 15] そのようなまちを実現するためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで)

目指す町の実現のためには、若者の定住促進対策が36.0%、自然環境の保護・保全が30.2%で最も多い回答でした。  
 次いで、公共交通の利便性の向上が21.3%、保健・医療施設の整備・充実が20.8%、観光業の推進が20.3%となっています。



■回答数と回答者の割合

	回答数	比率	前回
若者の定住促進対策	298	36.0%	40.4%
自然環境の保護・保全	250	30.2%	27.0%
公共交通の利便性の向上	176	21.3%	21.1%
保健・医療施設の整備・充実	172	20.8%	21.5%
観光業の推進	168	20.3%	22.4%
幹線道路や生活道路の整備・充実	163	19.7%	12.9%
福祉施設の整備・充実	129	15.6%	16.9%
特色ある景観・町並みづくりの推進	112	13.5%	12.5%
農林業の推進	110	13.3%	13.7%
名産・特産品の開発の促進	104	12.6%	9.0%
スポーツ・レジャー施設の整備・充実	97	11.7%	13.1%
子育て支援対策の充実	82	9.9%	11.6%
インターネットなど情報化の推進	76	9.2%	5.7%
公園などの憩いの場の充実	56	6.8%	13.3%
教育・文化・学習内容の充実	51	6.2%	5.2%
歴史・文化資源の保全・活用	50	6.0%	5.1%
商工業の推進	49	5.9%	5.9%
教育・文化・学習施設の整備・充実	46	5.6%	3.6%
ごみ収集・再利用体制	31	3.7%	3.1%
地域コミュニティ活動への支援	22	2.7%	3.0%
その他	15	1.8%	2.4%
無回答	34	4.1%	4.3%
合計	2,291	276.9%	273.7%

【その他回答】

・町のプレスリリース！	・医療施設への送迎
・税金を有意義に使ってほしい、使うべきところに	・自然環境を生かしたビジネス推進
・他地域からの新規入戸推進	・現状の分析・調査
・電子行政化の推進。	
・草取りをしっかりとってほしい	
・モラルの向上	
・一部の人たちだけで決めない	

■ 回答数

		自然環境の保護・保全	幹線道路や生活道路の整備・充実	若者の定住促進対策	公共交通の利便性の向上	農林業の推進	商工業の推進	観光業の推進	ごみ収集・再利用体制	スポーツ・レジャー施設の整備・充実	公園などの憩いの場の充実	名産・特産品の開発の促進
性別	男性	121	90	144	64	71	25	85	14	54	21	54
	女性	127	71	153	109	37	24	81	17	43	35	50
	無回答	2	2	1	3	2	0	2	0	0	0	0
年代別	10歳代	18	13	12	9	4	0	5	0	8	5	5
	20～30歳代	73	40	86	41	32	14	56	5	30	19	36
	40～50歳代	103	71	127	84	42	23	68	11	44	22	45
	60歳代	25	17	36	18	15	7	21	7	7	4	5
	70歳以上	29	20	36	21	15	5	16	8	8	6	13
	無回答	2	2	1	3	2	0	2	0	0	0	0

		地域コミュニティ活動への支援	歴史・文化資源の保全・活用	インターネットなど情報化の推進	教育・文化・学習施設の整備・充実	特色ある景観・町並みづくりの推進	保健・医療施設の整備・充実	教育・文化・学習内容の充実	子育て支援対策の充実	福祉施設の整備・充実	その他	無回答	回答者数
性別	男性	9	28	43	25	53	61	25	34	49	10	12	394
	女性	12	22	33	21	59	110	26	48	79	5	20	427
	無回答	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	7
年代別	10歳代	2	2	7	2	2	2	4	1	7	0	2	41
	20～30歳代	5	10	29	8	33	38	17	30	24	3	3	220
	40～50歳代	10	26	33	21	63	84	23	38	49	11	16	369
	60歳代	4	3	3	8	8	19	3	5	23	0	6	90
	70歳以上	0	9	4	7	6	28	4	8	25	1	5	101
	無回答	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	7

■ 回答者の割合

		自然環境の保護・保全	幹線道路や生活道路の整備・充実	若者の定住促進対策	公共交通の利便性の向上	農林業の推進	商工業の推進	観光業の推進	ごみ収集・再利用体制	スポーツ・レジャー施設の整備・充実	公園などの憩いの場の充実	名産・特産品の開発の促進
性別	男性	30.7%	22.8%	36.5%	16.2%	18.0%	6.3%	21.6%	3.6%	13.7%	5.3%	13.7%
	女性	29.7%	16.6%	35.8%	25.5%	8.7%	5.6%	19.0%	4.0%	10.1%	8.2%	11.7%
	無回答	28.6%	28.6%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年代別	10歳代	43.9%	31.7%	29.3%	22.0%	9.8%	0.0%	12.2%	0.0%	19.5%	12.2%	12.2%
	20～30歳代	33.2%	18.2%	39.1%	18.6%	14.5%	6.4%	25.5%	2.3%	13.6%	8.6%	16.4%
	40～50歳代	27.9%	19.2%	34.4%	22.8%	11.4%	6.2%	18.4%	3.0%	11.9%	6.0%	12.2%
	60歳代	27.8%	18.9%	40.0%	20.0%	16.7%	7.8%	23.3%	7.8%	7.8%	4.4%	5.6%
	70歳以上	28.7%	19.8%	35.6%	20.8%	14.9%	5.0%	15.8%	7.9%	7.9%	5.9%	12.9%
	無回答	28.6%	28.6%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		地域コミュニティ活動への支援	歴史・文化資源の保全・活用	インターネットなど情報化の推進	教育・文化・学習施設の整備・充実	特色ある景観・町並みづくりの推進	保健・医療施設の整備・充実	教育・文化・学習内容の充実	子育て支援対策の充実	福祉施設の整備・充実	その他	無回答	回答者数
性別	男性	2.3%	7.1%	10.9%	6.3%	13.5%	15.5%	6.3%	8.6%	12.4%	2.5%	3.0%	394
	女性	2.8%	5.2%	7.7%	4.9%	13.8%	25.8%	6.1%	11.2%	18.5%	1.2%	4.7%	427
	無回答	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	7
年代別	10歳代	4.9%	4.9%	17.1%	4.9%	4.9%	4.9%	9.8%	2.4%	17.1%	0.0%	4.9%	41
	20～30歳代	2.3%	4.5%	13.2%	3.6%	15.0%	17.3%	7.7%	13.6%	10.9%	1.4%	1.4%	220
	40～50歳代	2.7%	7.0%	8.9%	5.7%	17.1%	22.8%	6.2%	10.3%	13.3%	3.0%	4.3%	369
	60歳代	4.4%	3.3%	3.3%	8.9%	8.9%	21.1%	3.3%	5.6%	25.6%	0.0%	6.7%	90
	70歳以上	0.0%	8.9%	4.0%	6.9%	5.9%	27.7%	4.0%	7.9%	24.8%	1.0%	5.0%	101
	無回答	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	7

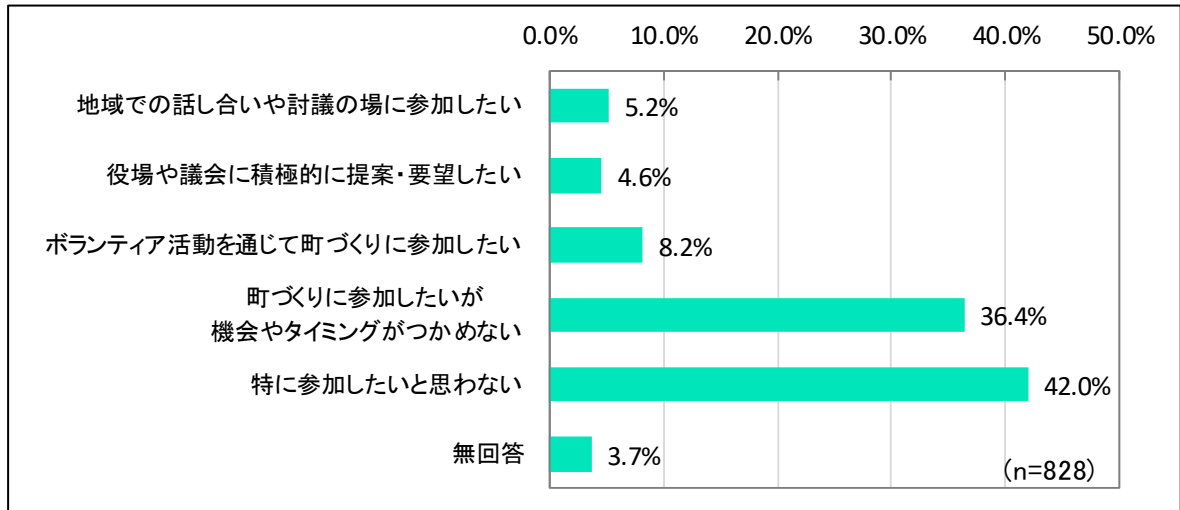


5-4. [問 16] あなたはどのような形で町づくりに参加したいと思いますか。

[ 1 つ回答 ]

特に参加したいと思わないが42.0%で最も多く、次いで、機会やタイミングがつかめ  
ないが36.4%でした。

問13にて「まちづくりへの関心」は一定程度ありましたが、町づくりへの参加意思で  
は低い傾向でした。



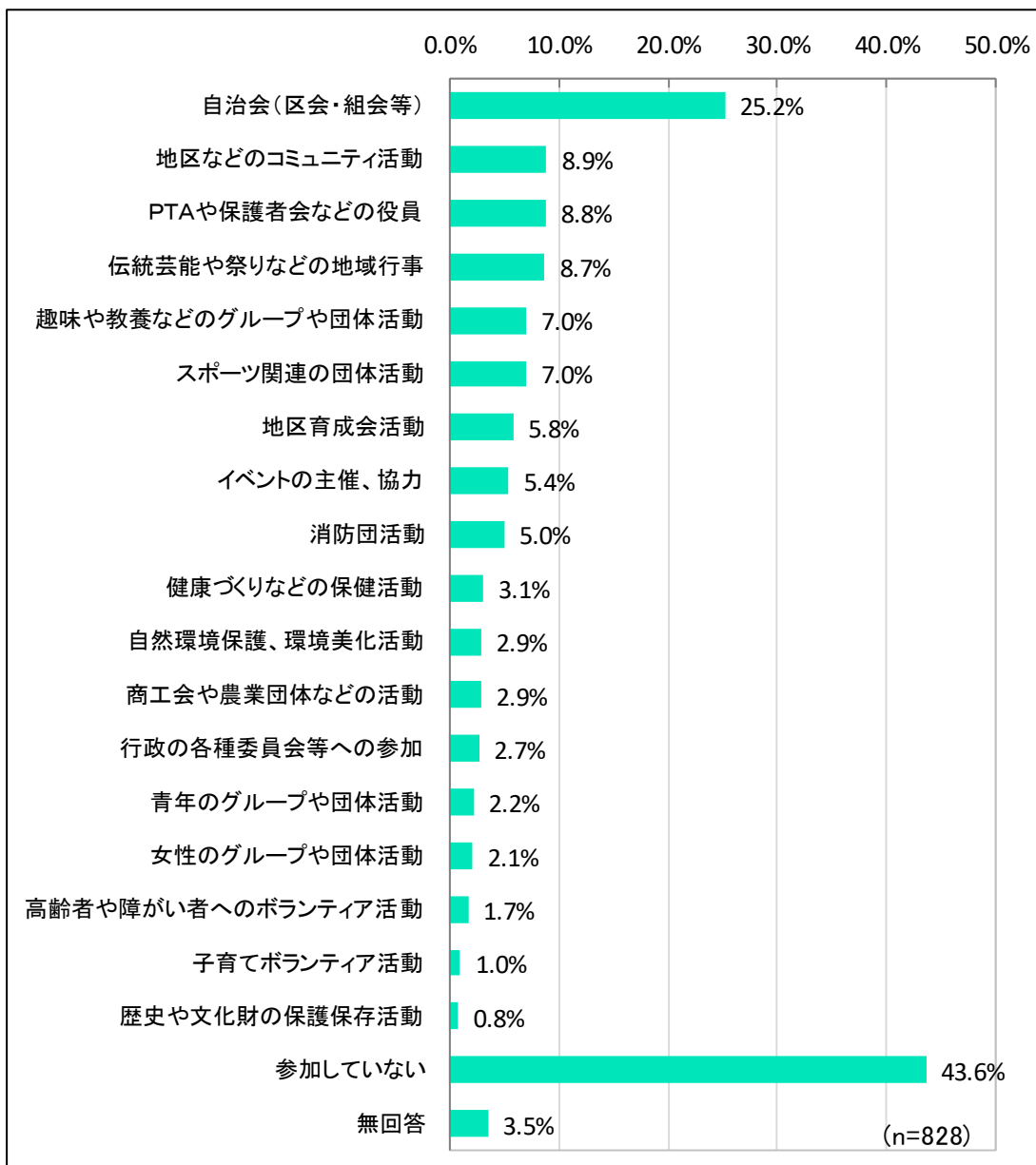
	回答数	比率	前回
地域での話し合いや討議の場に参加したい	43	5.2%	8.3%
役場や議会に積極的に提案・要望したい	38	4.6%	5.6%
ボランティア活動を通じて町づくりに参加したい	68	8.2%	10.9%
町づくりに参加したいが機会やタイミングがつかめない	301	36.4%	31.9%
特に参加したいと思わない	348	42.0%	36.8%
無回答	31	3.7%	6.5%
合計	829	100.1%	100.0%

■ 回答数と回答者の割合

属性		地域での話し合いや討議の場に参加したい	役場や議会に積極的に提案・要望したい	ボランティア活動を通じて町づくりに参加したい	町づくりに参加したいが機会やタイミングがつかめない	特に参加したいと思わない	無回答	地域での話し合いや討議の場に参加したい	役場や議会に積極的に提案・要望したい	ボランティア活動を通じて町づくりに参加したい	町づくりに参加したいが機会やタイミングがつかめない	特に参加したいと思わない	無回答	回答者数
性別	男性	29	25	28	135	163	14	7.4%	6.3%	7.1%	34.3%	41.4%	3.6%	394
	女性	13	13	40	161	184	17	3.0%	3.0%	9.4%	37.7%	43.1%	4.0%	427
	無回答	1	0	0	5	1	0	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	7
年代別	10歳代	1	2	10	15	11	2	2.4%	4.9%	24.4%	36.6%	26.8%	4.9%	41
	20～30歳代	10	12	12	74	107	5	4.5%	5.5%	5.5%	33.6%	48.6%	2.3%	220
	40～50歳代	25	18	24	149	139	14	6.8%	4.9%	6.5%	40.4%	37.7%	3.8%	369
	60歳代	2	2	9	34	40	3	2.2%	2.2%	10.0%	37.8%	44.4%	3.3%	90
	70歳以上	4	4	13	24	50	7	4.0%	4.0%	12.9%	23.8%	49.5%	6.9%	101
	無回答	1	0	0	5	1	0	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	7
職業別	有職	38	32	42	254	266	22	5.8%	4.9%	6.5%	39.0%	40.9%	3.4%	651
	無職	3	4	16	22	63	6	2.6%	3.5%	14.0%	19.3%	55.3%	5.3%	114
	学生	1	2	11	18	17	3	1.9%	3.8%	21.2%	34.6%	32.7%	5.8%	52
	無回答	1	0	0	7	3	0	9.1%	0.0%	0.0%	63.6%	27.3%	0.0%	11

5-5. [問 17] あなたは日頃、どのような形でまちづくり活動に参加していますか。  
[いくつでも]

まちづくり活動の参加状況では、自治会が25.2%、地区などのコミュニティ活動が8.9%、PTAや保護者会などの役員が8.8%、地域行事が8.7%の順でした。  
一方、参加していないが43.6%で最も多い回答でした。



	回答数	比率	前回
自治会(区会・組会等)	209	25.2%	23.0%
地区などのコミュニティ活動	74	8.9%	10.1%
PTAや保護者会などの役員	73	8.8%	8.4%
伝統芸能や祭りなどの地域行事	72	8.7%	8.7%
趣味や教養などのグループや団体活動	58	7.0%	8.4%
スポーツ関連の団体活動	58	7.0%	7.5%
地区育成会活動	48	5.8%	5.7%
イベントの主催、協力	45	5.4%	6.6%
消防団活動	41	5.0%	4.1%
健康づくりなどの保健活動	26	3.1%	5.1%
自然環境保護、環境美化活動	24	2.9%	2.8%
商工会や農業団体などの活動	24	2.9%	5.0%
行政の各種委員会等への参加	22	2.7%	2.8%
青年のグループや団体活動	18	2.2%	2.1%
女性のグループや団体活動	17	2.1%	4.6%
高齢者や障がい者へのボランティア活動	14	1.7%	3.1%
子育てボランティア活動	8	1.0%	1.1%
歴史や文化財の保護保存活動	7	0.8%	1.1%
参加していない	361	43.6%	39.7%
無回答	29	3.5%	
合計	1,228	148.3%	149.9%

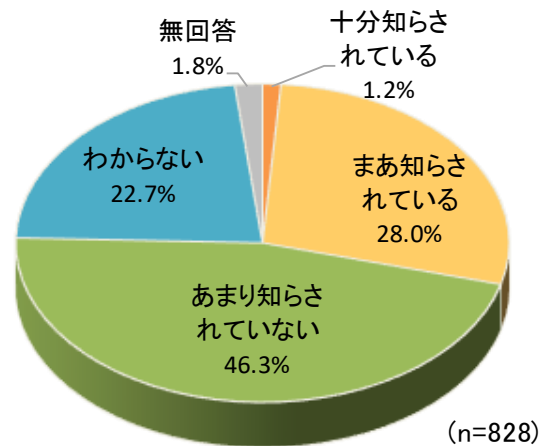
### ■回答者の割合

		自治会(区会・組会等)	消防団活動	趣味や教養などのグループや団体活動	自然環境保護、環境美化活動	スポーツ関連の団体活動	地区育成会活動	子育てボランティア活動	女性のグループや団体活動	健康づくりなどの保健活動	歴史や文化財の保護保存活動	
性別	男性	37.6%	10.2%	6.6%	3.6%	8.6%	3.3%	1.3%	0.0%	1.0%	1.0%	
	女性	13.6%	0.0%	7.3%	2.3%	5.6%	8.2%	0.7%	4.0%	4.9%	0.7%	
	無回答	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	
年代別	10歳代	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20～30歳代	10.0%	12.3%	3.6%	1.4%	7.3%	5.9%	0.9%	1.4%	1.4%	0.5%	
	40～50歳代	31.4%	3.5%	6.2%	3.8%	8.1%	9.5%	1.4%	1.4%	3.0%	1.1%	
	60歳代	40.0%	0.0%	8.9%	2.2%	5.6%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	2.2%	
	70歳以上	30.7%	0.0%	17.8%	5.0%	4.0%	0.0%	1.0%	3.0%	5.0%	0.0%	
	無回答	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	
		高齢者や障がい者へのボランティア活動	行政の各種委員会等への参加	イベントの主催、協力	伝統芸能や祭りなどの地域行事	PTAや保護者会などの役員	地区などのコミュニティ活動	商工会や農業団体などの活動	青年のグループや団体活動	参加していない	無回答	回答者数
性別	男性	0.8%	4.3%	5.6%	9.9%	5.1%	10.9%	4.6%	4.1%	35.0%	3.0%	394
	女性	2.6%	1.2%	5.2%	7.5%	12.4%	7.3%	1.4%	0.5%	51.5%	4.0%	427
	無回答	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	7
年代別	10歳代	0.0%	0.0%	4.9%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	78.0%	7.3%	41
	20～30歳代	0.9%	0.9%	3.6%	9.5%	7.3%	5.9%	2.7%	5.5%	57.3%	1.4%	220
	40～50歳代	1.6%	4.1%	6.0%	9.8%	15.2%	12.5%	3.5%	1.6%	36.8%	1.9%	369
	60歳代	3.3%	2.2%	5.6%	6.7%	1.1%	8.9%	4.4%	0.0%	30.0%	5.6%	90
	70歳以上	3.0%	3.0%	6.9%	6.9%	0.0%	5.9%	1.0%	0.0%	37.6%	10.9%	101
	無回答	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	7

5-6. 「問 18」あなたは、町の仕事の内容や計画など、町民の皆さんに十分知らされていると思いますか。

あまり知らされていないが46.3%、まあ知らされているが28.0%、十分知らされているが1.2%でした。  
 また一方で「わからない」が22.7%あり、関心が低いことも要因と推察されます。

	回答数	比率	前回
十分知らされている	10	1.2%	2.6%
まあ知らされている	232	28.0%	31.4%
あまり知らされていない	383	46.3%	41.1%
わからない	188	22.7%	21.5%
無回答	15	1.8%	3.4%
合計	828	100.0%	100.0%



■ 回答数と回答者の割合

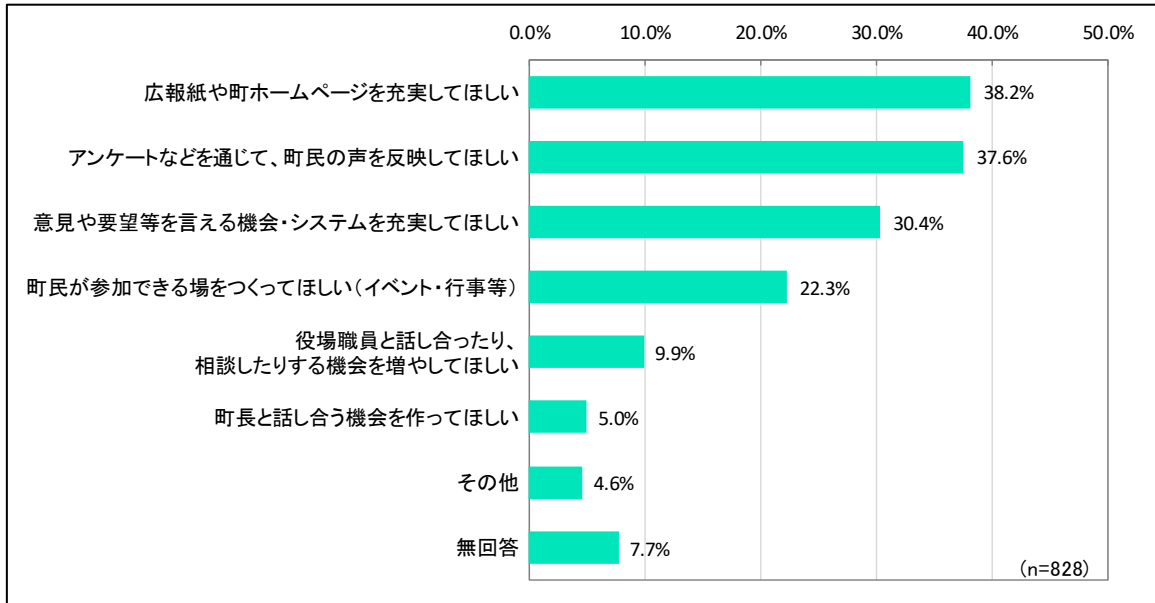
		十分知らされている	まあ知らされている	あまり知らされていない	わからない	無回答	十分知らされている	まあ知らされている	あまり知らされていない	わからない	無回答	回答者数
性別	男性	6	118	187	76	7	1.5%	29.9%	47.5%	19.3%	1.8%	394
	女性	4	113	195	107	8	0.9%	26.5%	45.7%	25.1%	1.9%	427
	無回答	0	1	1	5	0	0.0%	14.3%	14.3%	71.4%	0.0%	7
年代別	10歳代	1	5	13	19	3	2.4%	12.2%	31.7%	46.3%	7.3%	41
	20～30歳代	2	45	105	66	2	0.9%	20.5%	47.7%	30.0%	0.9%	220
	40～50歳代	5	107	188	65	4	1.4%	29.0%	50.9%	17.6%	1.1%	369
	60歳代	1	37	36	13	3	1.1%	41.1%	40.0%	14.4%	3.3%	90
	70歳以上	1	37	40	20	3	1.0%	36.6%	39.6%	19.8%	3.0%	101
	無回答	0	1	1	5	0	0.0%	14.3%	14.3%	71.4%	0.0%	7

5-7. [問 19] 町政への住民参加を進める具体的な方法として、あなたが希望されるものを選んでください。 [2つまで]

広報紙やホームページの充実が38.2%、アンケートなどを通じて、町民の声を反映してほしいが37.6%でした。

また、意見や要望等可言える機会・システムを充実してほしいが30.4%でした。

役場職員や町長との対話など直接的な手法については少ない傾向でした。



	回答数	比率	前回
広報紙や町ホームページを充実してほしい	316	38.2%	30.3%
アンケートなどを通じて、町民の声を反映してほしい	311	37.6%	39.7%
意見や要望等可言える機会・システムを充実してほしい	252	30.4%	30.1%
町民が参加できる場をつくってほしい(イベント・行事等)	185	22.3%	20.0%
役場職員と話し合ったり、相談したりする機会を増やしてほしい	82	9.9%	12.9%
町長と話し合う機会を作ってほしい	41	5.0%	5.6%
その他	38	4.6%	3.5%
無回答	64	7.7%	
合計	1,289	155.7%	142.1%

## ■回答者の割合

		広報紙や町ホームページを充実してほしい	町長と話し合う機会を作してほしい	意見や要望等を言える機会・システムを充実してほしい	役場職員と話し合ったり、相談したりする機会を増やしてほしい	町民が参加できる場をつくってほしい(イベント・行事等)	アンケートなどを通じて、町民の声を反映してほしい	その他	無回答	回答者数
性別	男性	36.3%	7.4%	37.1%	12.2%	20.3%	34.5%	4.3%	6.3%	394
	女性	40.5%	2.8%	24.6%	8.0%	24.1%	40.5%	4.7%	8.7%	427
	無回答	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	7
年代別	10歳代	34.1%	4.9%	31.7%	2.4%	34.1%	41.5%	0.0%	12.2%	41
	20～30歳代	43.2%	6.8%	28.2%	6.8%	28.2%	40.5%	3.6%	3.6%	220
	40～50歳代	40.7%	4.6%	33.3%	12.7%	16.8%	35.5%	5.1%	5.1%	369
	60歳代	26.7%	1.1%	30.0%	14.4%	22.2%	45.6%	5.6%	14.4%	90
	70歳以上	32.7%	5.9%	25.7%	5.9%	24.8%	30.7%	5.0%	16.8%	101
	無回答	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	7

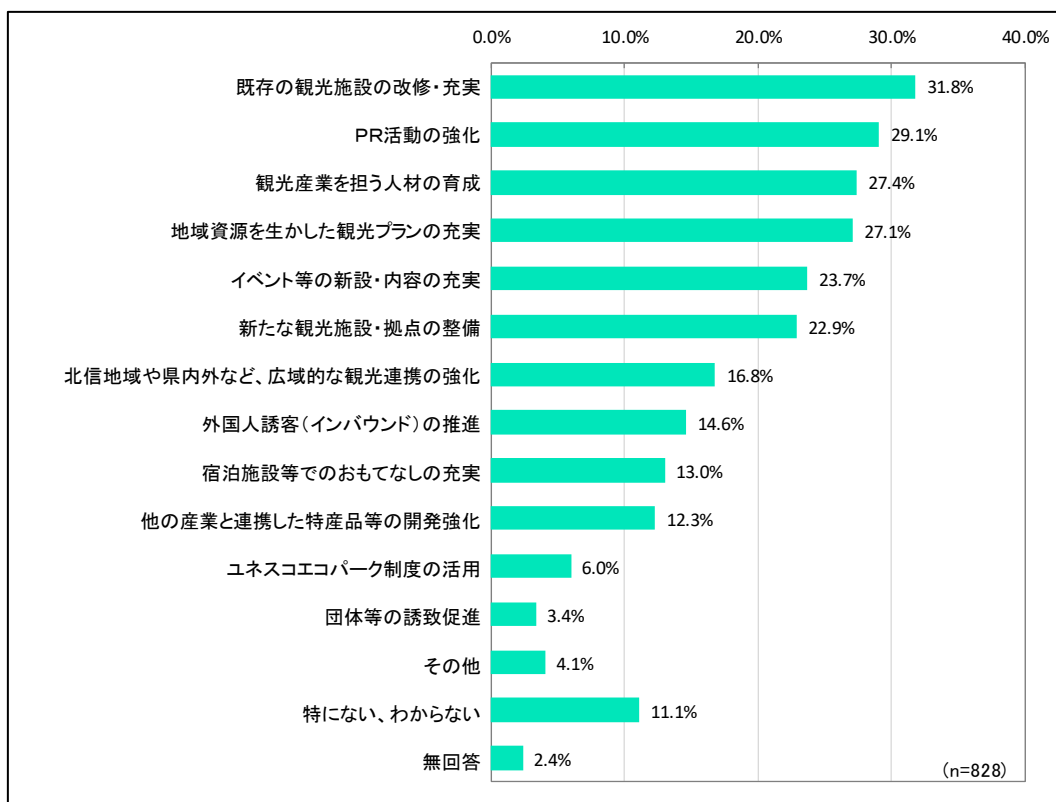
### 【その他回答】

- ・役の方が色々配るのではなく、全ての住民に都会のように平等に広報など郵送してほしい。
- ・広報紙を見やすく作り直してほしい。
- ・広報紙を工夫してほしい。知ってほしい情報・参加してほしいイベントは目が引くように工夫して発信してほしいです。
- ・アパートやマンションは広報が届かない。
- ・声をわかりやすい形にすぐ出来るシステムにしてほしい。今、何を検討しているのかタイムリーに伝えてほしい。
- ・町からのメールで声がけされたら良いのでは？
- ・話し合っ、前例がない場合もきちんと対応してほしい。
- ・意見をHPやSNSで収集したほうが良い。
- ・ひとつのシステムで双方向で町が発信、町民が意見するSNSを利用すると思います。
- ・今後、行う事業や施策について、町民は重要度や優先度を考えてもらうのも良いと考えます。
- ・町民の意識改革
- ・町長の存在をアピールしてほしい！
- ・任期付きで若者(30代)の副町長任用。
- ・町政は役場の方たちで進めてくだされば結構だと思います。今でも何かあれば、すぐに意見できる距離だと感じています。
- ・子どもと一緒にできることがあれば参加しやすい。
- ・足を悪くしているので外出できない。
- ・仕事に時間をとられ住民参加ができない。
- ・仕事として、住んでいるので難しい。
- ・スノーリゾートは切り離れた方が良い。
- ・アートを中心に考えれば良いと思う。
- ・学校のバリアフリー化

## 6. 産業の活性化について

6-1. 〔問 20〕あなたは、町の観光を振興するため、今後どのようなことに重点を置いたら良いと思いますか。〔3つまで〕

観光施設の改修・充実（31.8%）、PR活動の強化（29.1%）、人材の育成（27.4%）、観光プランの充実（27.1%）が多く、観光来訪者の受け入れ環境の充実やPRが重要視されています。



	回答数	比率	前回
既存の観光施設の改修・充実	263	31.8%	25.9%
PR活動の強化	241	29.1%	24.8%
観光産業を担う人材の育成	227	27.4%	31.0%
地域資源を生かした観光プランの充実	224	27.1%	39.9%
イベント等の新設・内容の充実	196	23.7%	22.6%
新たな観光施設・拠点の整備	190	22.9%	17.9%
北信地域や県内外など、広域的な観光連携の強化	139	16.8%	15.4%
外国人誘客（インバウンド）の推進	121	14.6%	16.9%
宿泊施設等でのおもてなしの充実	108	13.0%	
他の産業と連携した特産品等の開発強化	102	12.3%	21.1%
ユネスコエコパーク制度の活用	50	6.0%	
団体等の誘致促進	28	3.4%	5.0%
その他	34	4.1%	3.2%
特にない、わからない	92	11.1%	11.7%
無回答	20	2.4%	
合計	2,035	245.7%	235.4%

■ 回答数と回答者の割合

	既存の観光施設の改修・充実	新たな観光施設・拠点の整備	イベント等の新設・内容の充実	観光産業を担う人材の育成	PR活動の強化	宿泊施設等でのおもてなしの充実	北陸地域や県内外など広域的な観光連携の強化	外国人誘客（インバウンド）の推進	地域資源を生かした観光プランの充実	団体等の誘致促進	他の産業と連携した特産品等の開発強化	ユネスコエコパーク制度の活用	その他	特にない、わからない	無回答	回答者数
性別	男性 127	98	96	121	115	45	66	71	89	18	58	24	26	35	10	394
	女性 135	91	99	103	123	63	71	50	133	10	43	26	8	56	9	427
	無回答 1	1	1	3	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	7
年代別	10歳代 15	7	15	4	12	8	5	14	6	1	5	3	2	4	2	41
	20～30歳代 73	70	61	45	66	40	33	45	48	7	32	12	11	15	3	220
	40～50歳代 120	84	89	114	115	36	65	48	105	13	35	24	17	40	3	369
	60歳代 23	16	15	34	22	12	15	7	30	3	12	6	2	13	3	90
	70歳以上 31	12	15	27	23	12	19	7	33	4	17	5	2	19	8	101
	無回答 1	1	1	3	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	7
地域区別	148	94	99	116	111	57	61	60	128	17	52	25	11	36	10	407
	東部 54	56	49	55	54	24	34	34	39	7	24	12	12	24	2	194
	南部 43	32	30	35	48	21	28	19	38	3	15	10	9	20	5	153
	西部 17	7	16	18	25	6	16	8	17	1	10	3	1	10	0	63
	北部 1	1	2	3	3	0	2	0	2	0	1	0	1	2	3	11
	無回答 219	165	161	182	195	82	110	98	176	23	77	39	28	64	9	651
職業別	25	16	15	37	28	17	21	9	35	4	16	8	3	21	7	114
	有職 18	9	18	6	15	9	7	15	11	1	8	3	2	4	3	52
	無職 2	1	2	3	4	0	2	0	2	0	1	0	1	3	1	11
	学生 無回答															

	既存の観光施設の改修・充実	新たな観光施設・拠点の整備	イベント等の新設・内容の充実	観光産業を担う人材の育成	PR活動の強化	宿泊施設等でのおもてなしの充実	北陸地域や県内外など広域的な観光連携の強化	外国人誘客（インバウンド）の推進	地域資源を生かした観光プランの充実	団体等の誘致促進	他の産業と連携した特産品等の開発強化	ユネスコエコパーク制度の活用	その他	特にない、わからない	無回答	回答者数
性別	32.2%	24.9%	24.4%	30.7%	29.2%	11.4%	16.8%	18.0%	22.6%	4.6%	14.7%	6.1%	6.6%	8.9%	2.5%	394
	31.6%	21.3%	23.2%	24.1%	28.8%	14.8%	16.6%	11.7%	31.1%	2.3%	10.1%	6.1%	1.9%	13.1%	2.1%	427
	14.3%	14.3%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	7
年代別	36.6%	17.1%	36.6%	9.8%	29.3%	19.5%	12.2%	34.1%	14.6%	2.4%	12.2%	7.3%	4.9%	9.8%	4.9%	41
	20～30歳代 33.2%	31.8%	27.7%	20.5%	30.0%	18.2%	15.0%	20.5%	21.8%	3.2%	14.5%	5.5%	5.0%	6.8%	1.4%	220
	40～50歳代 25.6%	17.8%	16.7%	37.8%	24.4%	13.3%	17.6%	13.0%	28.5%	3.5%	9.5%	6.5%	4.6%	10.8%	0.8%	369
	60歳代 30.7%	11.9%	14.9%	26.7%	22.8%	11.9%	18.8%	6.9%	32.7%	4.0%	16.8%	5.0%	2.0%	18.8%	7.9%	101
	70歳以上 14.3%	14.3%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	7
	無回答 36.4%	23.1%	24.3%	28.5%	27.3%	14.0%	15.0%	14.7%	31.4%	4.2%	12.8%	6.1%	2.7%	8.8%	2.5%	407
地域区別	27.8%	28.9%	25.3%	28.4%	27.8%	12.4%	16.5%	17.5%	20.1%	3.6%	12.4%	6.2%	6.2%	12.4%	1.0%	194
	28.1%	20.9%	19.6%	22.9%	31.4%	13.7%	18.3%	12.4%	24.8%	2.0%	9.8%	6.5%	5.9%	13.1%	3.3%	153
	27.0%	11.1%	25.4%	28.6%	39.7%	9.5%	25.4%	12.7%	27.0%	1.8%	15.9%	4.8%	1.6%	15.9%	0.0%	63
	9.1%	9.1%	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	18.2%	27.3%	11
	無回答 33.6%	25.3%	24.7%	28.0%	30.0%	12.6%	18.9%	15.1%	27.0%	3.5%	11.8%	6.0%	4.3%	9.8%	1.4%	651
	21.9%	14.0%	13.2%	32.5%	24.6%	14.9%	18.4%	7.9%	30.7%	3.5%	14.0%	7.0%	2.6%	18.4%	6.1%	114
	34.6%	17.3%	34.6%	11.5%	28.8%	17.3%	13.5%	28.8%	21.2%	1.9%	15.4%	5.8%	3.8%	7.7%	5.8%	52
	無回答 18.2%	9.1%	18.2%	27.3%	36.4%	0.0%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	27.3%	9.1%	11

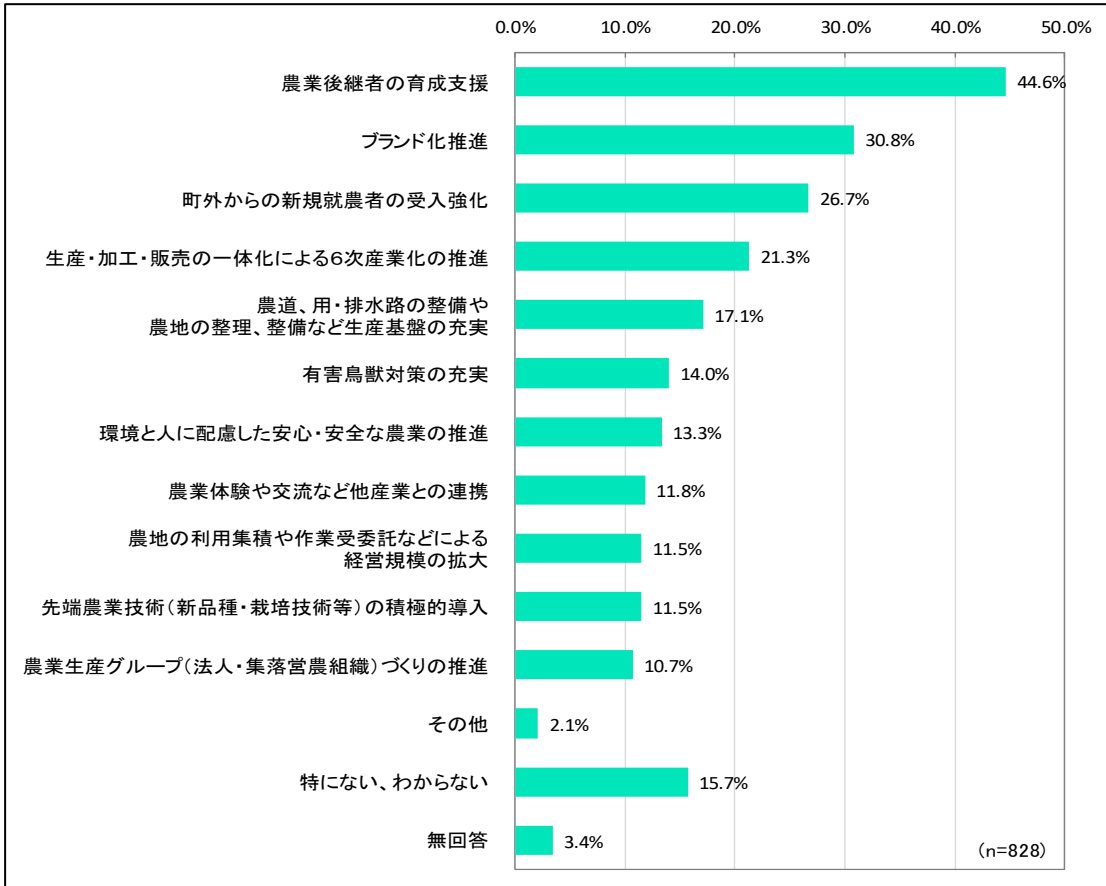


#### 【その他回答】

- ・公共機関の充実
- ・道の駅、楓の湯等が狭すぎる。
- ・湯田中の通りのように新しい店をどんどん入れてもらう。
- ・観光施設の整備(廃屋の撤去等)
- ・キャンプ場の新設
- ・琵琶湖博物館のような施設
- ・核となるお洒落な施設を作る
- ・富裕層をターゲットにした町の整備、プレスリリース！
- ・湯田中駅周辺の再開発。
- ・交通機関の利便性向上
- ・身近な山の森林活用
- ・花火大会 [2件]
- ・SNSを有効活用 [2件]
- ・県をまたいだ草津町との連携
- ・英語教育の機会充実
- ・地域資源を加工する工場を町内に作る。
- ・多種専門分野を交えた活動(限定的でない)
- ・芸術・文化の啓蒙活動
- ・老人ではなく若い人の意見を大切にする
- ・求人情報のとりまとめ・外国人実習生制度の採用を検討・観光関連施設の固定資産税の軽減と適正化
- ・県外企業に任せてみる
- ・一部の人達だけが良ければという考えはなくし、町全体で考えていけるものがあればと思います。

6-2. [問 21] あなたは、町の農業を振興するため、今後どのようなことに重点を置いたら良いと思いますか。 [3つまで回答]

農業後継者の育成が44.6%、新規就農者の受入強化が26.7%で、農業就業者の確保・育成については大きな課題と推察されます。  
 次いで、ブランド化の推進が30.8%、6次産業化の推進が21.3%あり、農業の振興につながる取り組みが求められています。



	回答数	比率	前回
農業後継者の育成支援	369	44.6%	39.2%
ブランド化推進	255	30.8%	26.4%
町外からの新規就農者の受入強化	221	26.7%	21.4%
生産・加工・販売の一体化による6次産業化の推進	176	21.3%	24.5%
農道、用・排水路の整備や農地の整理、整備など生産基盤の充実	142	17.1%	14.4%
有害鳥獣対策の充実	116	14.0%	13.6%
環境と人に配慮した安心・安全な農業の推進	110	13.3%	12.9%
農業体験や交流など他産業との連携	98	11.8%	13.8%
農地の利用集積や作業受委託などによる経営規模の拡大	95	11.5%	11.6%
先端農業技術(新品種・栽培技術等)の積極的導入	95	11.5%	9.5%
農業生産グループ(法人・集落営農組織)づくりの推進	89	10.7%	14.2%
その他	17	2.1%	2.4%
特にない、わからない	130	15.7%	19.9%
無回答	28	3.4%	
合計	1,941	234.5%	223.8%

## ■回答数と回答者の割合

		農道、用・排水路の整備や農地の整理、整備など生産基盤の充実	農地の利用集積や作業受委託などによる経営規模の拡大	農業生産グループ(法人・集落営農組織)づくりの推進	農業後継者の育成支援	町外からの新規就農者の受入強化	有害鳥獣対策の充実	ブランド化推進	農業体験や交流など地産産物との連携	環境と人に配慮した安心・安全な農業の推進	先端農業技術(新品種・栽培技術等)の積極的導入	生産・加工・販売の一体化による6次産業化の推進	その他	特になし、わからない	無回答	回答者数
性別	男性	74	53	45	177	102	59	144	47	45	56	89	12	51	12	394
	女性	67	42	43	189	118	55	111	50	64	38	86	5	78	15	427
	無回答	1	0	1	3	1	2	0	1	1	1	1	0	1	1	7
年代別	10歳代	11	3	2	15	9	6	14	10	9	2	5	0	6	2	41
	20～30歳代	43	27	23	110	59	13	80	30	28	21	46	6	30	5	220
	40～50歳代	61	38	43	162	110	53	115	36	53	47	84	7	59	8	369
	60歳代	15	12	10	37	22	16	28	10	10	9	19	4	10	5	90
	70歳以上	11	15	10	42	20	26	18	11	9	15	21	0	24	7	101
	無回答	1	0	1	3	1	2	0	1	1	1	1	0	1	1	7
地区別 居住	東部	63	43	43	183	108	54	132	55	53	44	95	7	67	14	407
	南部	36	22	23	95	54	28	54	21	19	25	46	3	28	4	194
	西部	31	19	11	62	39	20	56	13	26	20	24	6	21	5	153
	北部	11	11	11	26	19	12	13	8	11	5	10	1	11	2	63
	無回答	1	0	1	3	1	2	0	1	1	1	1	0	3	3	11
	有職	118	75	70	303	179	88	208	81	85	74	150	17	94	14	651
職業別	無職	9	17	16	42	27	20	26	7	14	16	18	0	27	10	114
	学生	13	4	3	21	14	6	21	9	10	4	8	0	6	3	52
	無回答	2	0	1	4	1	2	1	1	2	1	1	0	3	1	11

		農道、用・排水路の整備や農地の整理、整備など生産基盤の充実	農地の利用集積や作業受委託などによる経営規模の拡大	農業生産グループ(法人・集落営農組織)づくりの推進	農業後継者の育成支援	町外からの新規就農者の受入強化	有害鳥獣対策の充実	ブランド化推進	農業体験や交流など地産産物との連携	環境と人に配慮した安心・安全な農業の推進	先端農業技術(新品種・栽培技術等)の積極的導入	生産・加工・販売の一体化による6次産業化の推進	その他	特になし、わからない	無回答	回答者数
性別	男性	18.8%	13.5%	11.4%	44.9%	25.9%	15.0%	36.5%	11.9%	11.4%	14.2%	22.6%	3.0%	12.9%	3.0%	394
	女性	15.7%	9.8%	10.1%	44.3%	27.6%	12.9%	26.0%	11.7%	15.0%	8.9%	20.1%	1.2%	18.3%	3.5%	427
	無回答	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	7
年代別	10歳代	26.8%	7.3%	4.9%	36.6%	22.0%	14.6%	34.1%	24.4%	22.0%	4.9%	12.2%	0.0%	14.6%	4.9%	41
	20～30歳代	19.5%	12.3%	10.5%	50.0%	26.8%	5.9%	36.4%	13.6%	12.7%	9.5%	20.9%	2.7%	13.6%	2.3%	220
	40～50歳代	16.5%	10.3%	11.7%	43.9%	29.8%	14.4%	31.2%	9.8%	14.4%	12.7%	22.8%	1.9%	16.0%	2.2%	369
	60歳代	16.7%	13.3%	11.1%	41.1%	24.4%	17.8%	31.1%	11.1%	11.1%	10.0%	21.1%	4.4%	11.1%	5.6%	90
	70歳以上	10.9%	14.9%	9.9%	41.6%	19.8%	25.7%	17.8%	10.9%	8.9%	14.9%	20.8%	0.0%	23.8%	6.9%	101
	無回答	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	7
地区別 居住	東部	15.5%	10.6%	10.6%	45.0%	26.5%	13.3%	32.4%	13.5%	13.0%	10.8%	23.3%	1.7%	16.5%	3.4%	407
	南部	18.6%	11.3%	11.9%	49.0%	27.8%	14.4%	27.8%	10.8%	9.8%	12.9%	23.7%	1.5%	14.4%	2.1%	194
	西部	20.3%	12.4%	7.2%	40.5%	25.5%	13.1%	36.6%	8.5%	17.0%	13.1%	15.7%	3.9%	13.7%	3.3%	153
	北部	17.5%	17.5%	17.5%	41.3%	30.2%	19.0%	20.6%	12.7%	17.5%	7.9%	15.9%	1.6%	17.5%	3.2%	63
	無回答	9.1%	0.0%	9.1%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	27.3%	27.3%	11
	有職	18.1%	11.5%	10.8%	46.5%	27.5%	13.5%	32.0%	12.4%	13.1%	11.4%	23.0%	2.6%	14.4%	2.2%	651
職業別	無職	7.9%	14.9%	14.0%	36.8%	23.7%	17.5%	22.8%	6.1%	12.3%	14.0%	15.8%	0.0%	23.7%	8.8%	114
	学生	25.0%	7.7%	5.8%	40.4%	26.9%	11.5%	40.4%	17.3%	19.2%	7.7%	15.4%	0.0%	11.5%	5.8%	52
	無回答	18.2%	0.0%	9.1%	36.4%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	27.3%	9.1%	11

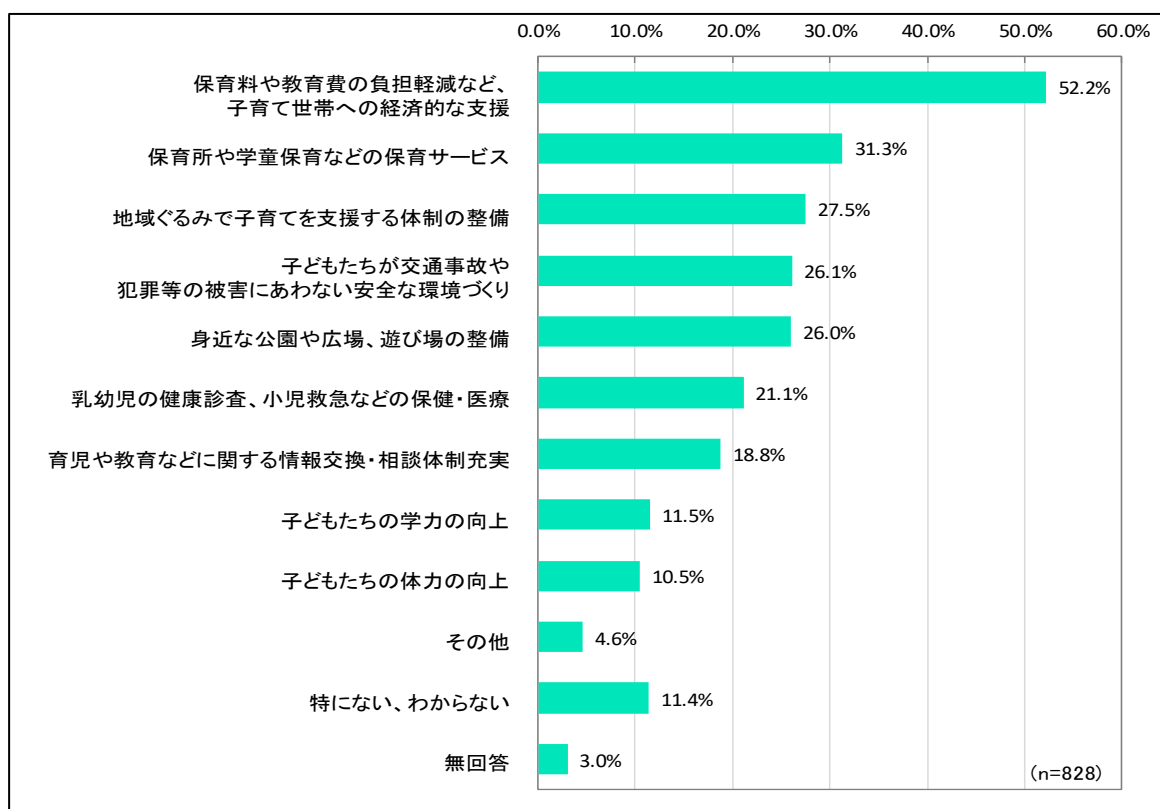
## 【その他回答】

- ・繁忙期の作業人員の確保
- ・研修生の派遣
- ・儲かる仕組みづくり、方法等の情報の充実。
- ・収入が得られる施策の工夫
- ・産地パワーアップ補助金活用による若者農業者へのモチベーションアップ！
- ・指導者の充実
- ・農業従事初心者ですが、土づくりのことなど、体系的に学べる場所が欲しいです。
- ・ブランド化された農産物の販売システムの確立。
- ・核となるお洒落な農産物販売センターを作る
- ・北信地域で不足しているジュース加工施設を作る
- ・多種専門分野を交えた活動(限定的でない)
- ・海外への販売
- ・野猿の駆除対策

## 7. 子育てや教育について

7-1. 〔問 22〕あなたは、少子化が進行するなかで、今後どのようなことに重点を置いたらよいと思いますか。 [3つまで回答]

経済的支援が52.2%で最も多く、次いで保育サービスが31.3%、地域ぐるみで子育て支援が27.5%、安全な環境づくりが26.1%でした。  
 経済的支援が最も多いほか、就業支援として保育所など保育サービスの充実が求められています。



	回答数	比率	前回
保育料や教育費の負担軽減など、子育て世帯への経済的な支援	432	52.2%	53.1%
保育所や学童保育などの保育サービス	259	31.3%	29.4%
地域ぐるみで子育てを支援する体制の整備	228	27.5%	28.0%
子どもたちが交通事故や犯罪等の被害にあわない安全な環境づくり	216	26.1%	20.8%
身近な公園や広場、遊び場の整備	215	26.0%	25.1%
乳幼児の健康診査、小児救急などの保健・医療	175	21.1%	14.8%
育児や教育などに関する情報交換・相談体制充実	156	18.8%	18.1%
子どもたちの学力の向上	95	11.5%	11.4%
子どもたちの体力の向上	87	10.5%	12.0%
その他	38	4.6%	4.2%
特にない、わからない	94	11.4%	13.6%
無回答	25	3.0%	
合計	2,020	244.0%	230.5%

■ 回答数と回答者の割合

	乳幼児の健康診査、小児救急などの保健・医療	育児や教育などに関する情報交換・相談体制充実	保育所や児童保育などの保育サービス	子どもたちの学力の向上	子どもたちの体力の向上	子どもたちが交通事故や犯罪等の被害にあわない安全な環境づくり	身近な公園や広場、遊び場の整備	地域ぐるみで子育てを支援する体制の整備	保育料や教育費の負担軽減など、子育て世帯への経済的な支援	その他	特にない、わからない	無回答	回答者数
性別	男性	86	71	122	53	101	97	117	211	16	43	12	394
	女性	88	84	137	40	42	117	109	219	22	49	13	427
	無回答	1	1	0	2	1	1	2	2	0	2	0	7
年代別	10歳代	11	4	10	1	6	16	16	17	0	6	3	41
	20～30歳代	64	49	74	23	16	75	55	131	12	13	5	220
	40～50歳代	70	68	123	45	40	94	88	189	20	46	5	369
	60歳代	21	15	32	11	12	24	20	24	49	4	10	90
	70歳以上	8	19	20	13	12	34	15	32	44	2	17	101
	無回答	1	1	0	2	1	1	1	2	2	0	2	7
世帯構成別	ひとり住まい	10	9	20	5	4	10	11	26	4	12	4	57
	夫婦のみ	21	24	39	16	17	34	28	66	1	15	5	124
	夫婦と子ども	52	39	78	28	28	63	68	115	17	16	8	229
	三世代以上が同居	51	43	65	31	31	57	69	57	124	8	10	210
	母子あるいは父子	15	12	24	6	3	17	13	21	31	2	15	70
	その他	23	23	29	7	2	34	24	29	63	6	23	1
無回答	3	6	4	2	2	3	6	8	7	0	3	19	

	乳幼児の健康診査、小児救急などの保健・医療	育児や教育などに関する情報交換・相談体制充実	保育所や児童保育などの保育サービス	子どもたちの学力の向上	子どもたちの体力の向上	子どもたちが交通事故や犯罪等の被害にあわない安全な環境づくり	身近な公園や広場、遊び場の整備	地域ぐるみで子育てを支援する体制の整備	保育料や教育費の負担軽減など、子育て世帯への経済的な支援	その他	特にない、わからない	無回答	回答者数	
性別	男性	21.8%	18.0%	31.0%	13.5%	11.2%	24.6%	29.7%	53.6%	4.1%	10.9%	3.0%	394	
	女性	20.6%	19.7%	32.1%	9.4%	9.8%	26.7%	25.5%	51.3%	5.2%	11.5%	3.0%	427	
	無回答	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	7	
年代別	10歳代	26.8%	9.8%	24.4%	2.4%	14.6%	39.0%	39.0%	41.5%	0.0%	14.6%	7.3%	41	
	20～30歳代	29.1%	22.3%	33.6%	10.5%	24.1%	34.1%	25.0%	59.5%	5.5%	5.9%	2.3%	220	
	40～50歳代	19.0%	18.4%	33.3%	12.2%	10.8%	23.2%	26.8%	51.2%	5.4%	12.5%	1.4%	369	
	60歳代	23.3%	16.7%	35.6%	12.2%	13.3%	26.7%	26.7%	54.4%	4.4%	11.1%	2.2%	90	
	70歳以上	7.9%	18.8%	19.8%	12.9%	11.9%	33.7%	14.9%	31.7%	43.6%	2.0%	16.8%	9.9%	101
	無回答	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	7
世帯構成別	ひとり住まい	17.5%	15.8%	35.1%	8.8%	7.0%	17.5%	19.3%	45.6%	7.0%	21.1%	7.0%	57	
	夫婦のみ	16.9%	19.4%	31.5%	12.9%	13.7%	27.4%	27.4%	53.2%	0.8%	12.1%	4.0%	124	
	夫婦と子ども	22.7%	17.0%	34.1%	12.2%	12.2%	28.4%	29.7%	50.2%	7.4%	7.0%	3.5%	229	
	三世代以上が同居	24.3%	20.5%	31.0%	14.8%	14.8%	27.1%	32.8%	59.0%	3.8%	4.8%	2.9%	210	
	母子あるいは父子	21.4%	17.1%	34.3%	8.6%	4.3%	24.3%	30.0%	30.0%	2.9%	21.4%	1.4%	70	
	その他	19.3%	19.3%	24.4%	5.9%	1.7%	28.6%	20.2%	24.4%	52.9%	5.0%	19.3%	0.8%	119
無回答	15.8%	31.6%	21.1%	10.5%	10.5%	15.8%	31.6%	42.1%	36.8%	0.0%	15.8%	0.0%	19	

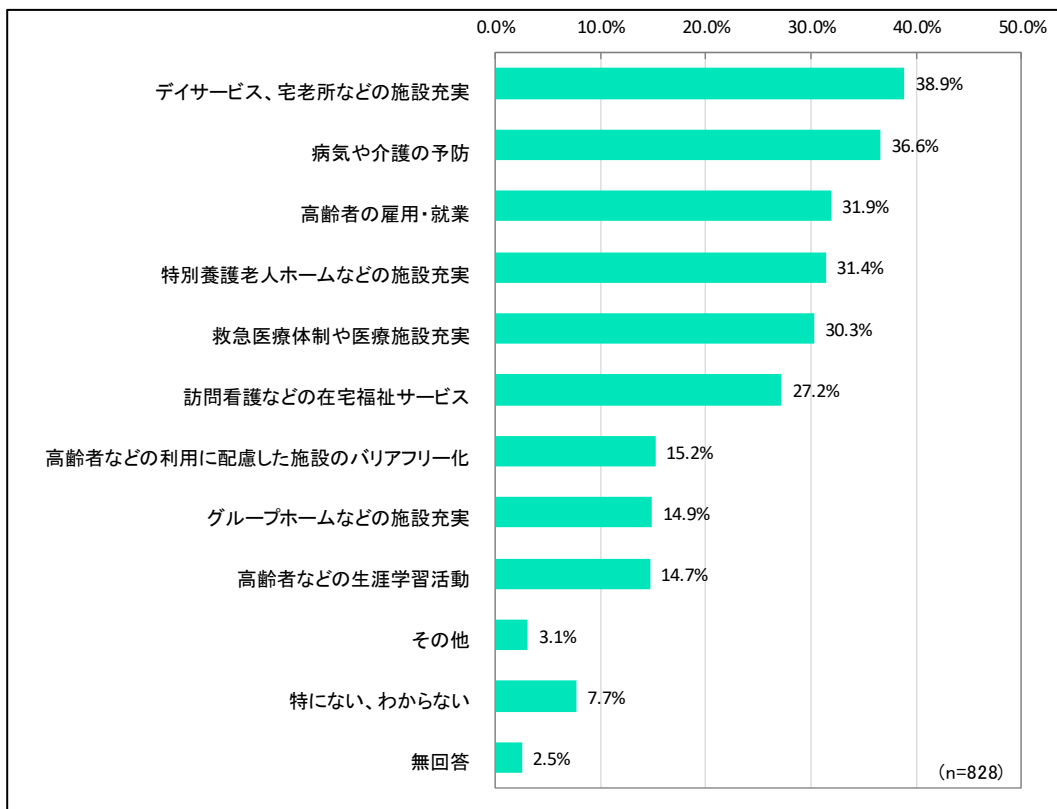
## 【その他回答】

- ・人間を増やす対策
- ・若者が住みたいと思う環境づくり [5件]
- ・町内外若者の就労の場を増やす
- ・生活環境をよくすれば人は出ていかない。遊び場がない
- ・婚活支援 [3件]
- ・金、時間、出会い
- ・県内外からの子どもの受け入れ
- ・子育て世代に受ける、町づくり（お洒落なマンション等）
- ・出生による所得に応じた報酬が必要（割合で%）！
- ・保育料や教育費など、お金の負担を減らすことを辞めて、お金をもらった上で充実したサービスをする。
- ・安心して産み育てられる経済的支援（0歳～18歳まで）
- ・義務教育において、教材費などの徴収をやめる。必要な物品、教材は個人での購入ではなく、教育現場が用意する。
- ・色々な働き方にあわせた子どもを安心して預けられる所
- ・母子手帳をもらう時に、保育所の情報発信をしっかりとしてほしい。
- ・保育園の夏休み等の際の給食対応・小学校の統合が見込まれるのでその対応
- ・母親の負担が大きすぎるように思う、家事も育児も仕事も母親が多くを負担している話を聞いたことがある
- ・教員・支援員数の確保・充実、教育相談、家庭相談員。スクールカウンセラー、専門的な立場で支援できる人材の育成
- ・保育士の確保、きちんとした保育体制
- ・その前に保育士の給料を上げた方がいい
- ・扶養義務者の所得向上対策
- ・親の雇用条件の改善・向上。親の問題だという視点
- ・島先に作った噴水！無意味だと思います！
- ・収入に応じての経済的支援
- ・保育園の統合
- ・小学校の統合 [3件]
- ・小中一貫校の検討
- ・小中の子供達を使う体育館などが少ない。予約が重なっていて使えないとの声を聞いた。
- ・通学手段の確保
- ・障がい者への相互理解

## 8. 福祉について

8-1. 〔問 23〕あなたは、社会の高齢化が進行するなかで、今後どのようなことに重点を置いたらよいと思いますか。 [3つまで回答]

デイサービス、宅老所などの施設の充実が38.9%、病気等の予防が36.6%、高齢者の雇用・就業が31.9%、特別養護老人ホームなどの施設の充実が31.4%でした。  
施設の充実に関して多くの回答がありました。  
また健康づくりや生きがいくりにつながる支援もあります。



	回答数	比率	前回
デイサービス、宅老所などの施設充実	322	38.9%	27.9%
病気や介護の予防	303	36.6%	37.5%
高齢者の雇用・就業	264	31.9%	35.3%
特別養護老人ホームなどの施設充実	260	31.4%	26.4%
救急医療体制や医療施設充実	251	30.3%	29.7%
訪問看護などの在宅福祉サービス	225	27.2%	29.4%
高齢者などの利用に配慮した施設のバリアフリー化	126	15.2%	12.8%
グループホームなどの施設充実	123	14.9%	14.5%
高齢者などの生涯学習活動	122	14.7%	18.8%
その他	26	3.1%	2.4%
特にない、わからない	64	7.7%	8.4%
無回答	21	2.5%	
合計	2,107	254.4%	243.1%

■ 回答数と回答者の割合

	高齢者などの生涯学習活動	高齢者の雇用・就業	病気や介護の予防	救急医療体制や医療施設充実	訪問看護などの在宅福祉サービス	デイサービス、老老所などの施設充実	特別養老老人ホームなどの施設充実	グループホームなどの施設充実	高齢者などの利用に配慮した施設のバリアフリー化	その他	特になし、わからない	無回答	回答者数
性別	男性	130	147	115	105	144	120	51	57	14	35	10	394
	女性	133	153	134	118	177	139	72	66	12	28	11	427
	無回答	1	3	2	2	1	1	0	3	0	1	0	7
年代別	10歳代	3	5	11	7	15	4	2	17	1	5	4	41
	20～30歳代	30	69	73	53	85	59	38	37	9	17	7	220
	40～50歳代	51	130	107	99	157	132	60	40	14	31	4	369
	60歳代	21	30	23	32	35	30	14	9	1	6	3	90
	70歳以上	16	29	35	32	29	34	9	20	1	4	3	101
無回答	1	3	2	2	1	1	0	3	0	1	0	7	
世帯構成別	ひとり住まい	13	28	13	20	12	14	5	7	1	6	2	57
	夫婦のみ	25	48	37	41	40	42	19	17	2	5	3	124
	夫婦と子ども	33	86	73	55	79	74	35	39	12	10	7	229
	三世代以上が同居	25	61	65	58	100	57	31	37	7	19	7	210
	母子あるいは父子	7	22	21	12	35	23	8	9	1	11	2	70
	その他	16	34	37	34	52	45	22	11	3	11	0	119
無回答	3	5	5	5	4	5	3	6	0	0	0	19	

	高齢者などの生涯学習活動	高齢者の雇用・就業	病気や介護の予防	救急医療体制や医療施設充実	訪問看護などの在宅福祉サービス	デイサービス、老老所などの施設充実	特別養老老人ホームなどの施設充実	グループホームなどの施設充実	高齢者などの利用に配慮した施設のバリアフリー化	その他	特になし、わからない	無回答	回答者数
性別	男性	33.0%	37.3%	29.2%	26.6%	36.5%	30.5%	12.9%	14.5%	3.6%	8.9%	2.5%	394
	女性	31.1%	35.8%	31.4%	27.6%	41.5%	32.6%	16.9%	15.5%	2.8%	6.6%	2.6%	427
	無回答	14.3%	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	7
年代別	10歳代	7.3%	51.2%	26.8%	17.1%	36.6%	9.8%	4.9%	41.5%	2.4%	12.2%	9.8%	41
	20～30歳代	13.6%	35.9%	33.2%	24.1%	38.6%	26.8%	17.3%	16.8%	4.1%	7.7%	3.2%	220
	40～50歳代	13.8%	32.8%	29.0%	26.8%	42.5%	35.8%	16.3%	10.8%	3.8%	8.4%	1.1%	369
	60歳代	23.3%	37.8%	25.6%	35.6%	38.9%	33.3%	15.6%	10.0%	1.1%	6.7%	3.3%	90
	70歳以上	15.8%	44.6%	34.7%	31.7%	28.7%	33.7%	8.9%	19.8%	1.0%	4.0%	3.0%	101
無回答	14.3%	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	7	
世帯構成別	ひとり住まい	22.8%	49.1%	22.8%	35.1%	21.1%	24.6%	8.8%	12.3%	1.8%	10.5%	3.5%	57
	夫婦のみ	20.2%	38.7%	29.8%	33.1%	32.3%	33.9%	15.3%	13.7%	1.6%	4.0%	2.4%	124
	夫婦と子ども	14.4%	37.6%	31.9%	24.0%	34.5%	32.3%	15.3%	17.0%	5.2%	4.4%	3.1%	229
	三世代以上が同居	11.9%	29.0%	31.0%	27.6%	47.6%	27.1%	14.8%	17.6%	3.3%	9.0%	3.3%	210
	母子あるいは父子	10.0%	37.1%	30.0%	17.1%	50.0%	32.9%	11.4%	12.9%	1.4%	15.7%	2.9%	70
	その他	13.4%	36.1%	31.1%	28.6%	43.7%	37.8%	18.5%	9.2%	2.5%	9.2%	0.0%	119
無回答	15.8%	52.6%	26.3%	26.3%	21.1%	26.3%	15.8%	31.6%	0.0%	10.5%	0.0%	19	



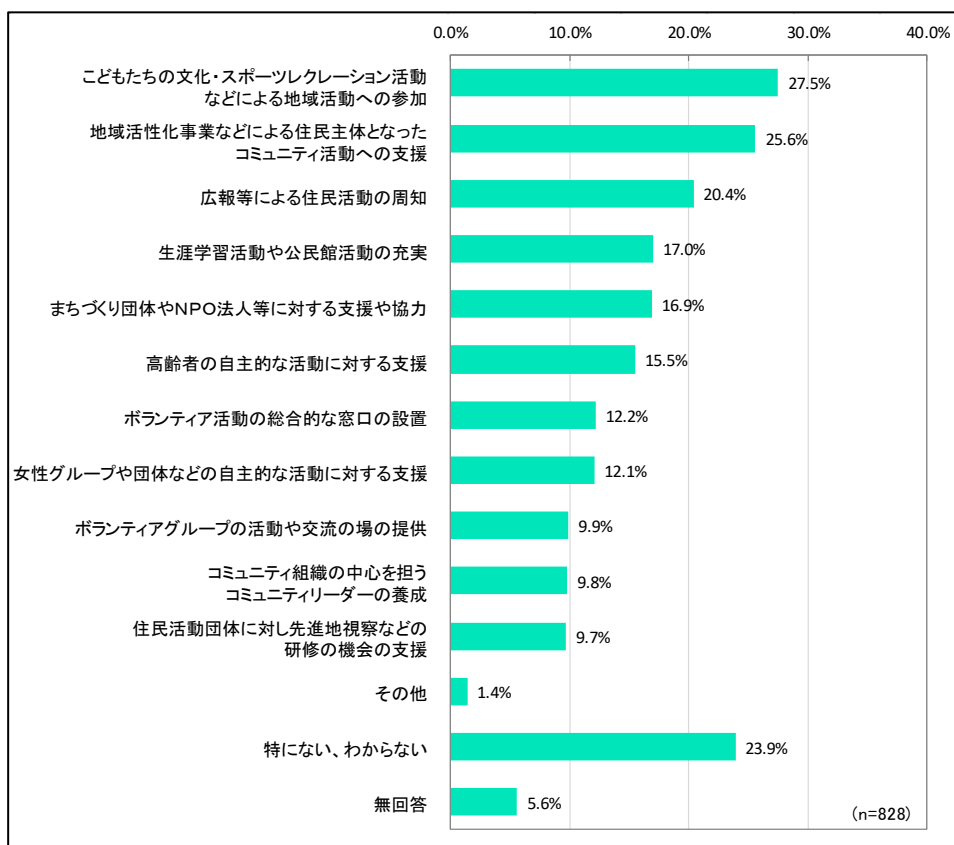
### 【その他回答】

- ・70歳以上の方は毎年車の免許を更新して、事故を防いでほしい
- ・85才でも車の運転をしている老人を見かけます、医療施設や買い物など送迎があるといいと思う
- ・タクシー券等、移動手段。
- ・買い物難民への白タク自由化
- ・楽ちんバス等の交通（運転が不要になると良い）
- ・車を使わない、交通手段の充実化もしくは移動販売車等充実化、スーパーマーケット
- ・健康管理指導、セミナー！
- ・情報交換・相談体制充実
- ・地域の中で気軽に集える場づくり [2件]
- ・高齢者の住みやすい町づくり、環境づくり
- ・高齢者のコミュニティづくり
- ・予防対策の充実。
- ・予防医療の学習・啓発
- ・施設の情報公開
- ・各高齢者向け施設は十分である。
- ・好かれる年寄りになる教育
- ・近所で助け合う、家族で助け合う。
- ・サービスや看護を受けたくても年金でまかなえますか？
- ・知的障害者への活動支援

## 9. 住民活動、地域活動の活性化について

9-1. 〔問 24〕 あなたは住民活動を活発にするために、どのようなことが必要だと思いますか。 [3つまで回答]

「こどもたちの活動による地域活動への参加」が27.5%、「住民主体のコミュニティ活動への支援」が25.6%でした。  
また、「特にない、わからない」も23.9%あり住民の主体性を育てる支援も必要です。



	回答数	比率	前回
こどもたちの文化・スポーツレクリエーション活動などによる地域活動への参加	228	27.5%	23.9%
地域活性化事業などによる住民主体となったコミュニティ活動への支援	212	25.6%	24.3%
広報等による住民活動の周知	169	20.4%	16.1%
生涯学習活動や公民館活動の充実	141	17.0%	15.6%
まちづくり団体やNPO法人等に対する支援や協力	140	16.9%	11.8%
高齢者の自主的な活動に対する支援	128	15.5%	21.2%
ボランティア活動の総合的な窓口の設置	101	12.2%	11.5%
女性グループや団体などの自主的な活動に対する支援	100	12.1%	12.3%
ボランティアグループの活動や交流の場の提供	82	9.9%	11.6%
コミュニティ組織の中心を担うコミュニティリーダーの養成	81	9.8%	10.9%
住民活動団体に対し先進地視察などの研修の機会の支援	80	9.7%	11.3%
その他	12	1.4%	1.5%
特にない、わからない	198	23.9%	25.1%
無回答	46	5.6%	
合計	1,718	207.5%	197.1%

■ 回答数と回答者の割合

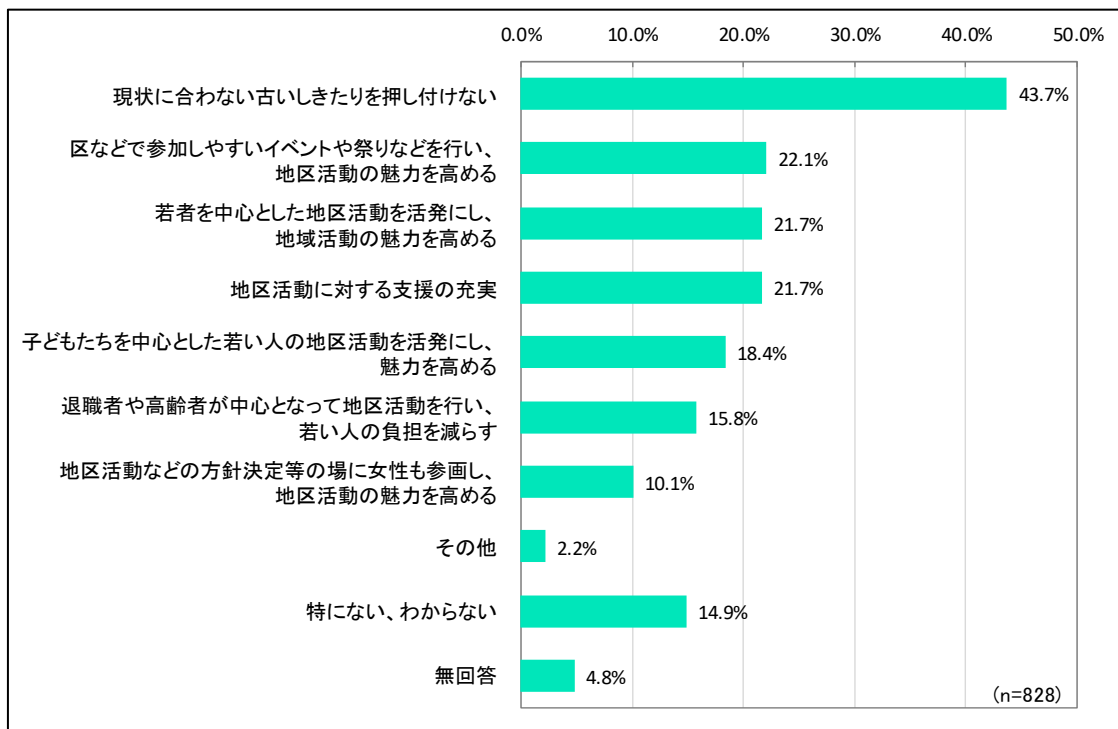
		地域活性化事業などによる住民主体となったコミュニティ活動への支援	住民活動団体に対し先進地視察などの研修の機会の支援	ボランティアグループの活動や交流の場の提供	ボランティア活動の総合的な窓口の設置	生涯学習活動や公民館活動の充実	まちづくり団体やNPO法人等に対する支援や協力	高齢者の自主的な活動に対する支援	女性グループや団体などの自主的な活動に対する支援	子どもたちの文化・スポーツ・レクリエーション活動などによる地域活動への参加	コミュニティ組織の中心を担うコミュニティリーダーの養成	広報等による住民活動の周知	その他	特にない、わからない	無回答	回答者数
年代別	10歳代	7	2	12	7	7	6	6	2	20	1	7	0	9	3	41
	20～30歳代	56	21	22	29	33	36	26	24	72	20	51	3	56	6	220
	40～50歳代	95	39	32	44	63	67	52	52	105	51	78	8	86	10	369
	60歳代	24	9	3	7	18	14	19	12	10	4	20	0	24	13	90
	70歳以上	29	9	13	14	18	17	25	10	20	4	11	1	20	13	101
	無回答	1	0	0	0	2	0	0	0	1	1	2	0	3	1	7
地区別	東部	116	44	40	44	80	83	66	46	112	40	90	4	83	20	407
	南部	40	16	23	22	31	31	32	26	59	17	37	4	51	9	194
	西部	39	13	16	26	16	17	24	19	43	16	28	4	45	8	153
	北部	16	7	3	8	12	9	6	9	13	7	12	0	15	6	63
	無回答	1	0	0	1	2	0	0	0	1	1	2	0	4	3	11
		地域活性化事業などによる住民主体となったコミュニティ活動への支援	住民活動団体に対し先進地視察などの研修の機会の支援	ボランティアグループの活動や交流の場の提供	ボランティア活動の総合的な窓口の設置	生涯学習活動や公民館活動の充実	まちづくり団体やNPO法人等に対する支援や協力	高齢者の自主的な活動に対する支援	女性グループや団体などの自主的な活動に対する支援	子どもたちの文化・スポーツ・レクリエーション活動などによる地域活動への参加	コミュニティ組織の中心を担うコミュニティリーダーの養成	広報等による住民活動の周知	その他	特にない、わからない	無回答	回答者数
年代別	10歳代	17.1%	4.9%	29.3%	17.1%	17.1%	14.6%	14.6%	4.9%	48.8%	2.4%	17.1%	0.0%	22.0%	7.3%	41
	20～30歳代	25.5%	9.5%	10.0%	13.2%	15.0%	16.4%	11.8%	10.9%	32.7%	9.1%	23.2%	1.4%	25.5%	2.7%	220
	40～50歳代	25.7%	10.6%	8.7%	11.9%	17.1%	18.2%	14.1%	14.1%	28.5%	13.8%	21.1%	2.2%	23.3%	2.7%	369
	60歳代	26.7%	10.0%	3.3%	7.8%	20.0%	15.6%	21.1%	13.3%	11.1%	4.4%	22.2%	0.0%	26.7%	14.4%	90
	70歳以上	28.7%	8.9%	12.9%	13.9%	17.8%	16.8%	24.8%	9.9%	19.8%	4.0%	10.9%	1.0%	19.8%	12.9%	101
	無回答	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	42.9%	14.3%	7
地区別	東部	28.5%	10.8%	9.8%	10.8%	19.7%	20.4%	16.2%	11.3%	27.5%	9.8%	22.1%	1.0%	20.4%	4.9%	407
	南部	20.6%	8.2%	11.9%	11.3%	16.0%	16.0%	16.5%	13.4%	30.4%	8.8%	19.1%	2.1%	26.3%	4.6%	194
	西部	25.5%	8.5%	10.5%	17.0%	10.5%	11.1%	15.7%	12.4%	28.1%	10.5%	18.3%	2.6%	29.4%	5.2%	153
	北部	25.4%	11.1%	4.8%	12.7%	19.0%	14.3%	9.5%	14.3%	20.6%	11.1%	19.0%	0.0%	23.8%	9.5%	63
	無回答	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	18.2%	0.0%	36.4%	27.3%	11

【その他回答】

- ・ 楽しめる活動
- ・ 参加しづらいイメージをなくすこと
- ・ 忙しくて参加する余裕がない場合もあると思う
- ・ 役員の負担軽減、楽しく役ができる工夫
- ・ 地域の団体等の会議に職員が出席し、情報の交換、行政に意見の反映。
- ・ 人口を増やす。
- ・ 利用可能施設等の一覧、利用可能日の一覧、イベント一覧
- ・ 住民活動を担当する部署があればその部署の充実
- ・ 町の人口同等の海外姉妹都市とのリンク！
- ・ 変化を求めない旧来住民の意識改革。
- ・ 観光客も含めたコミュニケーションにより地域活性化

9-2. 「問 25」あなたは、各地区の活動を活性化させるために、どのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

「現状に合わない古いしきたりを押し付けない」が43.7%、「参加しやすいイベント等の実施」が22.1%、「若者を中心とした地域活動」が21.7%となっています。  
地域の文化や風習の継承の必要性と、地域のしきたりのあり方が課題といえます。



	回答数	比率	前回
現状に合わない古いしきたりを押し付けない	362	43.7%	33.7%
区などで参加しやすいイベントや祭りなどを行い、地区活動の魅力を高める	183	22.1%	22.0%
若者を中心とした地区活動を活発にし、地域活動の魅力を高める	180	21.7%	26.4%
地区活動に対する支援の充実	180	21.7%	14.4%
子どもたちを中心とした若い人の地区活動を活発にし、魅力を高める	152	18.4%	19.1%
退職者や高齢者が中心となって地区活動を行い、若い人の負担を減らす	131	15.8%	16.2%
地区活動などの方針決定等の場に女性も参画し、地区活動の魅力を高める	84	10.1%	12.0%
その他	18	2.2%	1.8%
特にない、わからない	123	14.9%	15.5%
無回答	40	4.8%	
合計	1,453	175.4%	161.1%

■ 回答数と回答者の割合

		区などで参加しやすいイベントや祭りなどを行い、地区活動の魅力を高める	子どもたちを中心とした若い人の地区活動を活発にし、魅力を高める	若者を中心とした地区活動を活発にし、地域活動の魅力を高める	退職者や高齢者が中心となって地区活動を行い、若い人の負担を減らす	地区活動などの方針決定等の場に女性も参画し、地区活動の魅力を高める	現状に合わない古いしきたりを押し付けない	地区活動に対する支援の充実	その他	特にない、わからない	無回答	回答者数
年代別	10歳代	13	14	6	5	0	9	9	0	9	3	41
	20～30歳代	66	46	56	37	17	99	44	3	30	6	220
	40～50歳代	71	66	71	64	40	180	82	11	52	8	369
	60歳代	11	8	24	11	9	41	24	2	15	9	90
	70歳以上	22	18	22	14	16	31	19	2	16	13	101
	無回答	0	0	1	0	2	2	2	0	1	1	7
地区別 居住	東部	98	90	100	65	46	162	82	11	50	21	407
	南部	43	35	35	34	18	100	47	2	24	6	194
	西部	26	20	33	22	12	72	38	3	31	6	153
	北部	16	7	11	10	6	26	11	2	15	4	63
	無回答	0	0	1	0	2	2	2	0	3	3	11

		区などで参加しやすいイベントや祭りなどを行い、地区活動の魅力を高める	子どもたちを中心とした若い人の地区活動を活発にし、魅力を高める	若者を中心とした地区活動を活発にし、地域活動の魅力を高める	退職者や高齢者が中心となって地区活動を行い、若い人の負担を減らす	地区活動などの方針決定等の場に女性も参画し、地区活動の魅力を高める	現状に合わない古いしきたりを押し付けない	地区活動に対する支援の充実	その他	特にない、わからない	無回答	回答者数
年代別	10歳代	31.7%	34.1%	14.6%	12.2%	0.0%	22.0%	22.0%	0.0%	22.0%	7.3%	41
	20～30歳代	30.0%	20.9%	25.5%	16.8%	7.7%	45.0%	20.0%	1.4%	13.6%	2.7%	220
	40～50歳代	19.2%	17.9%	19.2%	17.3%	10.8%	48.8%	22.2%	3.0%	14.1%	2.2%	369
	60歳代	12.2%	8.9%	26.7%	12.2%	10.0%	45.6%	26.7%	2.2%	16.7%	10.0%	90
	70歳以上	21.8%	17.8%	21.8%	13.9%	15.8%	30.7%	18.8%	2.0%	15.8%	12.9%	101
	無回答	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	7
地区別 居住	東部	24.1%	22.1%	24.6%	16.0%	11.3%	39.8%	20.1%	2.7%	12.3%	5.2%	407
	南部	22.2%	18.0%	18.0%	17.5%	9.3%	51.5%	24.2%	1.0%	12.4%	3.1%	194
	西部	17.0%	13.1%	21.6%	14.4%	7.8%	47.1%	24.8%	2.0%	20.3%	3.9%	153
	北部	25.4%	11.1%	17.5%	15.9%	9.5%	41.3%	17.5%	3.2%	23.8%	6.3%	63
	無回答	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%	18.2%	18.2%	0.0%	27.3%	27.3%	11

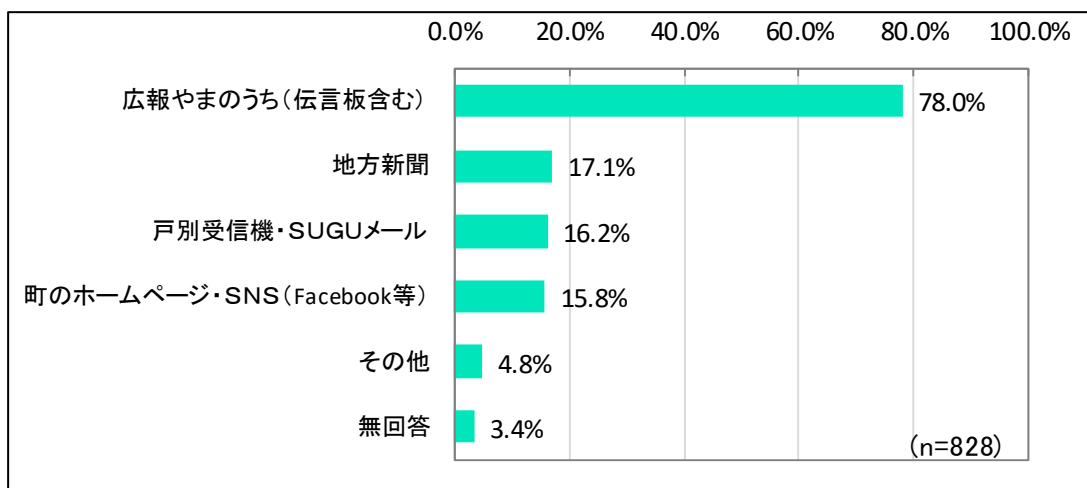
【その他回答】

- ・ 移住者や他団体が入りやすくする環境を整え、町民以外からの風を吹き込む
- ・ 地区活動に参加してみたいと考えている人が気軽に聞けるような役場の担当部署の充実
- ・ 活性化と合わせ、負担を減らすことも必要
- ・ 高齢化が進むのに役が減らない
- ・ 地域の団体等の会議に職員が出席し、情報の交換、行政に意見の反映。
- ・ 人を増やすこと
- ・ 若者と高齢者が一緒に楽しめる行事があると良い。操法のコミュニケーションに繋がると思う。役員は、良く知っている高齢者を長にして、下に若者をサポートでつければ、伝統の伝承もでき、色々なことを教わることが出来ると思う。
- ・ 高齢者・若者・子どもがそれぞれの分野で分担し、ひとつのものを成功させるような体験
- ・ コミュニティーリーダーの養成、体制を整える
- ・ システムの整理！
- ・ 現状にあった形で柔軟に
- ・ 風呂掃除などはシルバーにお願いしたい
- ・ 地区ごとの活動を活性化させる必要はないと思います。

## 10. 町の情報化について

### 10-1. 【問 26】あなたは町からの情報をどのように入手していますか。(いくつでも)

主な情報の入手手段は、広報やまのうち（78.0%）  
 地方新聞は17.1%、戸別受信機・SUGUメールは16.2%、ホームページ・SNSは15.8%でした。



#### 【その他回答】

- ・友人・知人等 [7件]
- ・保育園の掲示板
- ・暮らすやまのうち
- ・町会議員
- ・エリアメール
- ・ラジオ
- ・なし(見ない) [17件]

	回答数	比率	前回
広報やまのうち(伝言板含む)	646	78.0%	81.4%
地方新聞	142	17.1%	20.8%
戸別受信機・SUGUメール	134	16.2%	
町のホームページ・SNS(Facebook等)	131	15.8%	9.3%
その他	40	4.8%	3.6%
有線電話放送			32.0%
無回答	28	3.4%	
合計	1,121	135.3%	147.1%

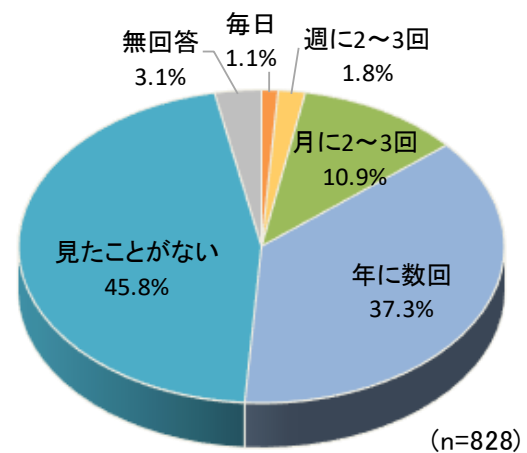
#### ■回答者の割合

		広報やまのうち(伝言板含む)	町のホームページ・SNS(Facebook等)	戸別受信機・SUGUメール	地方新聞	その他	無回答	回答者数
年代別	10歳代	58.5%	19.5%	4.9%	9.8%	7.3%	12.2%	41
	20～30歳代	67.7%	27.3%	13.6%	15.9%	5.9%	1.4%	220
	40～50歳代	81.0%	14.4%	21.4%	16.0%	4.3%	2.7%	369
	60歳代	90.0%	6.7%	8.9%	21.1%	4.4%	6.7%	90
	70歳以上	87.1%	4.0%	13.9%	24.8%	4.0%	3.0%	101
	無回答	71.4%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	7

10-2. 【問 27】町のホームページをどの程度ご覧いただいていますか。

町のホームページの閲覧状況は、年に数回が37.3%、月に2～3回が10.9%、週に2～3回が1.8%、毎日が1.1%でした。一方、見たことがないが45.8%でした。

	回答数	比率	前回
毎日	9	1.1%	0.5%
週に2～3回	15	1.8%	2.3%
月に2～3回	90	10.9%	8.0%
年に数回	309	37.3%	26.0%
見たことがない	379	45.8%	56.0%
無回答	26	3.1%	7.2%
合 計	828	100.0%	100.0%



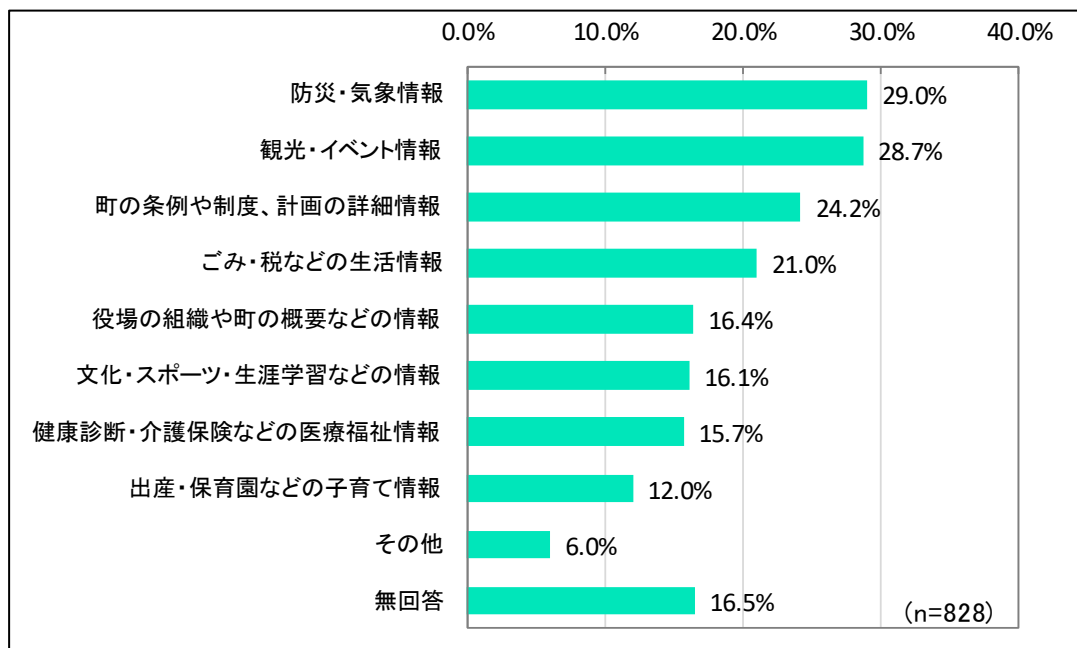
■ 回答数と回答者の割合

		毎日	週に2～3回	月に2～3回	年に数回	見たことが ない	無回答	毎日	週に2～3回	月に2～3回	年に数回	見たことが ない	無回答	回答者数
年 代 別	10歳代	0	0	2	13	23	3	0.0%	0.0%	4.9%	31.7%	56.1%	7.3%	41
	20～30歳代	2	3	19	121	72	3	0.9%	1.4%	8.6%	55.0%	32.7%	1.4%	220
	40～50歳代	5	4	47	151	155	7	1.4%	1.1%	12.7%	40.9%	42.0%	1.9%	369
	60歳代	0	1	8	18	59	4	0.0%	1.1%	8.9%	20.0%	65.6%	4.4%	90
	70歳以上	1	6	14	5	66	9	1.0%	5.9%	13.9%	5.0%	65.3%	8.9%	101
	無回答	1	1	0	1	4	0	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	57.1%	0.0%	7

10-3. [問 28] 町からの情報で不足していると思われる項目を選んでください。

[3つまで回答]

防災・気象情報 (29.0%)、観光・イベント情報 (28.7%)、町の条例や制度、計画の詳細情報 (24.2%)、ごみ・税などの生活情報 (21.0%) の順でした。



	回答数	比率	前回
防災・気象情報	240	29.0%	17.3%
観光・イベント情報	238	28.7%	25.6%
町の条例や制度、計画の詳細情報	200	24.2%	32.1%
ごみ・税などの生活情報	174	21.0%	19.2%
役場の組織や町の概要などの情報	136	16.4%	22.2%
文化・スポーツ・生涯学習などの情報	133	16.1%	14.1%
健康診断・介護保険などの医療福祉情報	130	15.7%	19.1%
出産・保育園などの子育て情報	99	12.0%	11.3%
その他	50	6.0%	4.6%
無回答	137	16.5%	
合計	1,537	185.6%	165.5%



■ 回答数と回答者の割合

		ごみ・税などの生活情報	出産・保育園などの子育て情報	健康診断・介護保険などの医療福祉情報	防災・気象情報	文化・スポーツ・生涯学習などの情報	観光・イベント情報	町の条例や制度、計画の詳細情報	役場の組織や町の概要などの情報	その他	無回答	回答者数
性別	男性	88	44	58	128	74	114	109	71	20	56	394
	女性	86	55	72	111	58	124	90	62	29	78	427
	無回答	0	0	0	1	1	0	1	3	1	3	7
年代別	10歳代	6	3	5	7	10	16	7	5	1	11	41
	20～30歳代	52	53	38	66	33	71	48	33	14	31	220
	40～50歳代	81	35	53	110	58	120	90	60	26	44	369
	60歳代	18	5	18	25	16	8	25	10	4	24	90
	70歳以上	17	3	16	31	15	23	29	25	4	24	101
	無回答	0	0	0	1	1	1	0	3	1	1	3

		ごみ・税などの生活情報	出産・保育園などの子育て情報	健康診断・介護保険などの医療福祉情報	防災・気象情報	文化・スポーツ・生涯学習などの情報	観光・イベント情報	町の条例や制度、計画の詳細情報	役場の組織や町の概要などの情報	その他	無回答	回答者数
性別	男性	22.3%	11.2%	14.7%	32.5%	18.8%	28.9%	27.7%	18.0%	5.1%	14.2%	394
	女性	20.1%	12.9%	16.9%	26.0%	13.6%	29.0%	21.1%	14.5%	6.8%	18.3%	427
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	42.9%	7
年代別	10歳代	14.6%	7.3%	12.2%	17.1%	24.4%	39.0%	17.1%	12.2%	2.4%	26.8%	41
	20～30歳代	23.6%	24.1%	17.3%	30.0%	15.0%	32.3%	21.8%	15.0%	6.4%	14.1%	220
	40～50歳代	22.0%	9.5%	14.4%	29.8%	15.7%	32.5%	24.4%	16.3%	7.0%	11.9%	369
	60歳代	20.0%	5.6%	20.0%	27.8%	17.8%	8.9%	27.8%	11.1%	4.4%	26.7%	90
	70歳以上	16.8%	3.0%	15.8%	30.7%	14.9%	22.8%	28.7%	24.8%	4.0%	23.8%	101
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	42.9%	7

【その他回答】

- ・避難所
- ・防災無線が聞き取りづらい。
- ・県・町の工事情報
- ・交通情報（長電バス・電車の遅延や事故情報・道路の通行止めや凍結情報など）
- ・除雪情報
- ・補助金、助成金の情報 [2件]
- ・優遇制度等の情報
- ・町会議員の活動
- ・タイムリーな情報
- ・SNSなどスピーディな情報
- ・町のホームページが古い。一部見にくいところがある。
- ・HPの更新が遅い場合がある。
- ・見る楽しさ。
- ・未婚者が多いので、お手伝いをしてほしい。高齢でも働けるところがほしい。小規模でもいいので、スーパーがほしい。駅前に短時間止められるような駐車場がほしい。
- ・不足というよりわかりやすくしてほしい。
- ・だいたい広報で理解できている。
- ・町外の人が登山に来た時に、トイレの案内がないと聞きました。
- ・1～8全部 [2件]
- ・不足していない。

## 11. 自由記述（山ノ内町の抱える課題について）

### (1) 【少子・高齢化対策について】

#### <主に少子化関連>

- 小学校の統合は16～17年前から議論されているのに、やっと北・西小が合併しただけ。何度も統合を訴えてきたのに、高齢の議員は「少人数クラスの方が指導が手厚い」などと言って、聞き入れてくれず、少人数の保護者がPTA会長を含む役員を毎年やりくりするのがどれだけ大変かわかっていない。学年に複数クラスがないと不登校になった子が長期化する傾向が強い。野沢温泉村や信濃町を見習ってほしい。高齢者施設と学童保育の施設を統合させて、交流すると思う。
- 子どもの遊ぶ場所や、あずける施設などが少ない。なので、そういう場所を増やす。
- 他の市町村のように子どもが生まれたらお祝いとか何もない。高齢者だけではなく、もう少し子どもに力を入れてほしい。
- 津南町の考え方、システムをそのまま真似して実践してみる考えも良いと思う。一度、調べて勉強して頂きたい！
- スキーやスノーボードの選手を子どもの頃から支援する。
- 子どもの遊び場や、高齢者と子どものふれあいの場が増えたらいいなと思います。
- 少子化対策として、子育て環境の整備とともに、経済的支援を手厚くすることが必要。高齢化対策も必要であるが、子育て対策に、より重点を置いた施策が重要と思われる。
- 子育てに関して充実した支援・サービスを強化。高齢者の雇用先作り
- 子どもを一人育てるには凄いお金がかかります。母親は育児中は仕事を中断します。子どもを育てる人には、支援と保育を提供して税金を使っていいと思います。子どもは大事！高齢者は健康でいられるように自分でも気を付けて。
- 出産に対し、優遇して頂きたい(ミルク代おむつ代等々。3歳頃までは無料に。)
- 観光も農業も休日と休める日が会社員と違うので、子育ての上で、どんな勤務体制の人も安心して預けて働ける町。
- どこかの地域のようにシニアボランティアが勉強を教えたり、宿題を見てあげることで、塾に行かなくても行ったのと同様の効果が得られるようにする。見守りなどシニアボランティアを活用する。
- 高齢者対策予算を極力抑え、少子化対策費に充当する。
- 少子化対策について、雇用の場が少ない町内だけではなく、広域で検討することが大事と思う。高齢化対策の方向がおかしいと思う。
- 少子化問題と老人問題は全く別と考える。少子化には、町営住宅の建設や保育所建設に積極化すべき。老人問題は、養護施設の拡充をすべきと考える。
- まずは若者の定住、子育てへの経済的支援。
- 大学に行ったり、働きに行く人の影響で20代ぐらいの人が少なく、それに伴い子どもが少なくなっていると思うので、山ノ内町内の小・中学校、保育園などの教育施設の良さを発信する。
- 子どもを産んで育てるのに、お金がかかり生むのが少なくなるのは仕方ない。
- 子どもが住みやすい環境を整備する。
- 晩婚や不妊症などで子どもが欲しくても授かることができない夫婦もいる少子化対策は難しい問題だと思う。その結果医療の充実などで長寿化しているため、税金など税収を有意義に使うべきだと思う。
- 少子化が進む中で、なぜ小学校の統合をしないのか。統合を進める中でスクールバスの運用を考えて、高齢者の利便性を高め、スクールバスの便数を増やし、子どもも大人も利用できるようにしたらどうか。町民全員で子育てできるようなシステムは考えられないか。
- 少子化は、不妊治療の充実、助成金など。高齢化は福祉の充実、山間地対策など。少子化というなら、全額助成は必要。
- 少子化対策は、二人目以上の子どもについて、医療費、教育費の支援。高齢化対策については、なし！生涯現役で稼いでもらいましょう。

- 山ノ内町に住むことのメリットがわからない。子どもも減って、学校も合併で減ってきているので登下校など、一緒に活動する人数が少ないと事件や事故に巻き込まれる可能性が上がる気がして、子どもだけの活動が不安。
- 子育て世代が住みやすい町にならないと、若者はどんどん町から流出すると思います。
- 子どもを安心して産み育てることができるような金銭的保障。
- 子育て支援については、親が働きやすいように保育サービスを提供することも大切だが、それ以上に親と子が関わりを深められる時間、機会などが大切だと思う。保育の無償化は是非とも見直してほしい。親と子の接する時間が減り、更に子育てに関心がなくなって人任せになっていってしまっているように感じる。財政難の今、必要なお金はしっかりと頂き、保育園や学校などの施設整備などに充ててほしい。町民の生活、未来ある子ども達のためにしっかりと使用されることがわかれば、保育料の支払いを拒む人はほとんどいないのではないかと思う。親のためではなく、もっと目の前の子どものことを考えてほしい。
- 親たちがもう一人子どもを持とうと思える町にしてほしい。直接的な金銭支給だけではなく、子育て世帯への間接的な減税など他の地方公共団体に先行した先進的な取組を検討し、実施してくれる町であってほしい。
- 子育て支援。ミニバスの本数を増やす。(アメリカンドラッグがありますが)スーパーが山ノ内町にあると便利。
- 18歳までの家庭の経済支援。
- 保育所の充実が必要。仕事の忙しい時期に一時保育でしか預かってくれないため、改善が必要。品川区は保育所などの子育てサポートが充実していた。
- 子育て世代を支えるサービスの充実、情報発達。
- 子育てにおける経済的支援、子育てしやすい環境（施設、母親同士の助け合い）の充実を考えると、少子化が軽減されないだろうか。また、出産時、出産後のファミリーサポート支援があると良いと思う。
- まず、保育士の給料を上げた方が良くはないか。この2年間で、若い人が何人、なぜ辞めるのかをもっと考えるべき。
- 魅力のない町なので、若い人が集まらないから少子であると思う。
- 子どもの声が聞こえる町になって欲しいですね。
- キャッシュレスによるポイント還元を充実させ地域経済を活性化させて豊かな充実して子育てしやすい環境にしてほしい。
- もっと山ノ内で子どもを育てたいと思えるシステムなど。子ども1人につきいくらの補助金など。山ノ内町には医療機関が少なすぎる。医療がなければ元気であることが難しくなる。もっと元気で働いていれば少しは改善できると思う。高齢者が働ける場ももう少しあるといい。
- 免許返納者に対する支援。選挙権の問題あるが、子<高齢者でなく、子>高齢者の行政を望みます。
- 未来ある子どもたちに費やすお金を増やす
- 山ノ内町をもっと活気のある町にしたいのなら、これからの子育て世代の方にもう少し手を差し伸べてもいいのかと・・・子育てに必要なものを無料でレンタルできるとか（チャイルドシートなど）永住してもらうために企業誘致など・・・
- 子育て世代が安心できる町をアピール。そのためには、まず働ける場所があることを前提とし、住まいがあることを発信する。まずは、それらの整備をしなければならない。
- 子育てのしやすい環境にしない限り若者は増えない。
- 子どもを産み育てやすい環境づくり
- 志賀高原の住民の今後の子育て環境に大きな不安を感じます。長電バスの本数削減により、小学校、中学校、高校への通学が困難になってきました。長電バス依存から早急に脱却し、対応を整えていただきたく思います。子育て環境の悪さを理由に山を下りて生活する若い家庭が増えています。後継者問題や廃業につながる大きな問題です。観光立町を目指す山ノ内町にとって最重要課題だと考えます。
- 子どもたちの遊び場、レクリエーション施設（社会体育館等）の不足
- 冬期間において室内で子どもたちが遊べる場所がない。広々としたスペースに遊具など整備され、自由に使用できる施設が必要。冬に里帰りした娘の上の子の子守の際に、遊べるところがなく商業スペースに出向くしかなかった。その施設が高齢者も利用できるものなら、なお良いと思う。

- 高齢者が増えるのはしかたない。子どもを増やしたいのなら、子どもや子育て世代への支援を充実させたらどうか。他の市町村との違いも明確にする必要があると思う。
- 小中一貫校
- 子育てしやすい町や、教育に力を入れるなどして若い人たちが住みたいと思える町づくりしてほしい。例えば、今子供が少ないぶん1人1人に学力などじっくりとみてあげられるのではないかとおもう。住み続けたいと思う町にしなければ若い人たちが残らず高齢者ばかりになる
- 小中一貫にしたりすれば特色が出て流出が減ったり流入の期待もできると思う
- 子供が多い家庭には「家族手当」を支給する
- 以前より少し改善されてると思うのですが、保育料の軽減がまだほかの市町村に比べおこなわれていると思う(たとえば同時在園してなくても第三子以降は無料とか・・・)我が家は四人子供がいるがどれだけ保育料を町に払ったことか・・・今後に期待します
- 子供を育てるのに適した環境になるように制度をもっと充実させると良いと思う。
- 経済的支援が大事
- 子供と一緒に参加できるイベントを計画する
- 子供達が安心して育てていける環境作り
- 子供を生んだ人に町としてまとまった祝い金を用意したら 高齢者の介護要員の充実をはかってほしい
- 小学校統合、小・中一貫校、全町スクールバス化、保護者負担の軽減、各種部活動（文化スポーツ）の拡充、山ノ内へ行けばスポーツ選手、芸術家への道が広がるんだと感じさせる何か
- 保育の質の向上を目指す
- 公園等を増やしてほしい、ゲートボール場ばかり多いけど、河川敷のゲートボール場を減らして、子どもが遊んだり、自転車乗ったり出来るようにしてほしい。通学時等の安心のため、街灯を増やしてほしい。
- 子どもの遊び場がない。交通利便性が低い。
- 公園の整備(駐車場がない)。緑地公園でマレットゴルフをしている方々、遊びもいいですが他にやることあると思います。やるのならお金をとってもいい気がします。
- 子どもに対する費用補助が他自治体に比べて弱いと思います。また、公園なども少なく、交通、駐車面で沢山の人が来ることを想定されていないです。費用補助を北信地方で5指に入るくらいに。また、やまびこ広場を充実した施設のある公園として、駐車場を広く、子どもが歩きやすいよう舗装する。
- 公園を作ってほしい
- 若い人が結婚してもらいべき情報イベントなど
- 未婚者の集まれる場所やイベントなど、出会いの場の提供。子どもの出産祝い金増額。高齢者による託児所、交流の場。保育園の定員を増やす。
- 少子化はなかなか対策はありませんが、若い人が結婚できる出会いの場がもっとあってもいいのでは。
- 町内独身者の出会いの場づくり
- 若者に結婚するための出会いの場をつくって欲しい。
- 結婚しない若者が多すぎる社協でもっと強力に施策を考えてほしい
- 若い人の出会いの場を提供できるようなイベントの計画
- 結婚、お嫁さんが外部から来てくれたら良いと思います
- 子どもが少ないため、地区の運動会等の継続が難しくなっている。

#### <主に高齢化関連>

- 高齢者の働く場所が少ない。自分の将来が不安である。
- 特別養護老人ホームを作る
- 老人ホーム、特養が不足している。児童手当等、若年家庭が子育てしやすい環境を一層充実させる。
- 高齢化は止められないが、できるだけ健康で生きがいをもった人を、自分の健康管理ができる人を多くしてほしい。
- 社協が運営するデイサービスなどと、子育て支援を連携させて、お年寄りが地域の子ども達とふれあう機会を作り、習い事や作法などを教えたり、お年寄りの孤独を防ぐことが出来るようにすると良いと思う。

- 長寿の国だからこそその問題。"ぴんぴんころり"とポジティブに考え、少ない年金でも働きながら生活できる環境の整備をしてほしい。病院への送り迎え、買い物へ連れて行ってくれる定期バス等を増やし、活発に動けるようにする。また、出来る範囲で農業や観光へ就業ができるシステムを構築する。
- 子どもと高齢者が一緒に過ごせる場(デイサービス等)。高齢者の交通手段の確保、サービスの充実。
- 少子高齢化が進むのはしょうがないことなので、増えてきた高齢者に住みやすい町づくり。若者が住みつくような町づくり。
- 高齢化して、農業ができなくて困る。
- 高齢者が動きやすいモビリティシステムの構築。
- 高齢者の仕事を作る。
- 希望すれば年齢に関わらず働ける環境。
- 住民の高齢化が進んでいるので何か、福祉・介護といった対策が必要なのでは。
- 特別養護老人ホームをもう1つ作ってほしい
- 親の介護については、本当に気が重い。子育てよりも当事者間でのストレスがかかるものだと感じる。世の中には子育て、親の介護をダブルで行っている人もいると思うが、そんなの生活が成り立たなくなる。なんとかしなければならぬ。
- 逆に超高齢化の町にする。のんびり、大自然、温泉、充実した福祉の町にして、町外より高齢者を招く。そこに雇用が生まれ様々な需要が生まれる。
- グループホームは町内でしか利用できないので中野市等と広域連携してほしい  
北信病院と老人施設の中間のリハビリを充実し、在宅や寝たきり車いすにならないよう定期健診や家庭訪問。まず、病気にさせない、寝たきりにさせないを積極的に"
- 現在、我が家でも父親の介護3年目で兄が仕事しないでやってくれてる。父親も畑やめてから歩けなくなった。現在北信病院で3科の先生に診てもらっている。歩くことは大切だ。近所の人も近くでも車で用を足すが、子どもたちも歩くことが大切だ。
- 将来の山ノ内町を担う子供たちのために子育てしやすい環境と助成金をもっと考えてほしい。
- 高齢が生きがいを感じられる働く場所、子育て手当の充実
- タクシー代が高額などで補助金や介護タクシーの充実(500円程度)足がわるく一人で通院ができない
- 老老介護になってしまう家庭が多いと思う
- 町に限らず事故を防ぐためにもっと免許証の更新は70歳以上の方はやってほしい
- マレットゴルフの充実で高齢者の健康を進める。
- 今はまだ車の運転に支障はないですが、ゆくゆく運転ができなくなったときに交通機関がなくなっているのではないのかと不安になります。

#### <若者、定住関連>

- 都会から移住してもらいやすい様に、助成金や、お試し宿泊、農業体験などがあると良い。
- 町外から人が住むようにする対策
- 移住支援の強化
- 住めば都もまず住まなければ…。若者に空き家を低家賃で貸す等は今も行っているのですか？  
そんな情報も知りません。
- 人口減少の歯止め対策は具体的にはない。世帯の所得向上、町税収の増収対策が必要
- 昔からこうだ。の話し合いでは何も変わらない。若者や他県からの移住者等の異論を検討材料にしてほしい。子育て世代が増えないことには解決しない。今はインターネットで情報も得られ、インターネット等の環境が整っていれば、仕事ができる若者も多いと思う。都会でなくても同じように仕事ができれば、定住して暮らしが生まれると思う。
- ファミリー層が帰郷、移住しやすいように職の充実を図るべき。
- 古いしきたりが強く若い人たちが住みたいと思う環境ではない。山ノ内町の良いところを残しつつ、広い視野で新しいものを取り入れてほしい。
- 就職の為町外(県外)に出てしまい友人に帰って来ないのか聞いても就職先がなさそうという答え。田舎なので都会に比べ不便なのは仕方がないにしろ、就職先、福祉、等魅力ある街にしていかないと減少が止まらないと思う
- 若い人が住みたいと思う、今風な町をつくる。

- 若い人たちの働く場所をつくる〔2件〕
- 若人が定住できるようにしてほしい。〔2件〕
- 若者の働き口を増やす。また、子育て支援の充実。
- 若者の就職先が少ないので(工場等)就職支援や18歳までの子どもに山ノ内町独自の手当の支給(月5千円程度)等
- 若い所帯が働きながら、子育てなど行えるように、また、働き手が介護で生産力低下とならないように。高齢者が「やってもらいたい!!」というサービスの充実を。
- 山ノ内町で若者が働く会社を増やして頂ければ、山ノ内町に住む若者が増えると思います。
- 若者が住みやすい環境を作ることが大切。子育てには多額の費用が必要。子どもの人数が増えるほど、経済負担が減るようなシステムが必要と感じます。
- 若い世代が定住できるような、ハード面、ソフト面の充実化を検討する。
- 働くところ、若者が遊べる場所などの施設を増やしてほしい。
- 若者が山ノ内町内で働ける場を増やし、町内で結婚をして子育てを出来るようにする。
- 若い世代が集まれる場所が少ない。公園やイベント会場など、人が集まる場所を作ってほしい。住みたいと思える場所があまりにも少ない。
- 若い人が働きたくなる環境・職場がない限り定住はありえない。地方でプレイヤーとして事業をやりたい人にもっと優遇制度を作り、東京などの都会の人材を呼び込む。2拠点、東京一長野生活をもっとアピール。
- 子どもや若い人が活躍できる場や空気づくりが必要。現状は、人口比率の高い年配の方の意見が通りやすくなっている気がします。
- 若者が住みやすくなるような街を整備する。若者(18歳未満)や高齢者が住みやすいように、電車やバスの接続が悪すぎるため、コミュニティバス等の活用も考えて欲しい。親世代の負担が増える。
- 若い人が住める、働けるまちづくり。観光・農業で生活ができる町になってほしいですが、アイデアもないのが現状です。すみません。
- 若い世代が町外に出て行き人口が減少しているの、若い人が住みやすい町づくりが必要だと思う。若い人が利用しやすいアパート・マンションを増やしたり、定住、子育てしやすくするための補助を充実させるなど。在宅の高齢者の見守りを地域でできる体制を作る。

### <まちづくりの関連>

- みんなが平等に暮らせる相互関係の社会。
- Iターン向けに空き家の活用を！観光より、農産物のブランド化(リンゴ)
- 戸狩・佐野 IC 付近への安価な宅地の整備。オリンピック道路を活用しての安全・安心な住宅地の確保。
- 町内に仕事が少ない。
- 一人暮らし人の病院への交通費の支給をお願いしたい。ボランティアに参加したいが、参加の仕方がわからない人が多いので、声がけをしてほしいですね
- 行政の皆さんで考えた・明示した具体的な取組や考案内容について、住民の皆さんに意見を求めることも良いと考えます。
- 社会体育館の解体と跡地への文化施設建設。町内人材の紹介・発掘・交流の場づくり。文化人にも魅力ある町づくり。
- 高齢者の人達が車が乗れなくなった時、70歳以上の人は中野～山ノ内以内のハイヤーに乗った場合、1回2000円以下でお願いします。
- 全国的に問題となっている、これから町が抱える一番の問題と思う。若者の住みやすい町づくりを希望する。
- 人口が少ないのは仕方ないけど、税金が高い。子どもがいる全世帯や、高齢者に対して、もっと考えてほしい。
- 人口減少による問題意識の低さをなんとかしなければならぬ。古くからの物を押し付けられて困っている。実質出費なども、強いられている。新しく入ってこられる方はおろか"早く出たい"という気持ちにさせられる。"観光業に携わりたい"と思う人たちが増えて、結果人口が増え、町が活性化していく。そのための施策をどんどん打ち出して頂きたい。

- 山ノ内町で暮らす魅力が住んでいる人間でさえ、よくわかっていないので、若い人や高齢者が住みやすい環境づくりと助成金の充実などが必要ではないか。これだけ、格差のある社会で住んでもらうには相当の魅力が必要。
- 産業の少ない山ノ内町からは、若者が出て行ってしまう。
- まずは役場の職員を町内からとる。
- 教育・福祉・医療面をもう少し充実してもらい、町民一人一人が実感できるようになればと思う。
- 町内の街灯の整備。暗すぎる。
- 企業誘致
- 空き家対策もありますが、廃業した宿泊施設をリノベして、若者家族を入居させるとか。町外の高齢者を受け入れて、温泉に入れるのは魅力的。
- 若者が帰ってきたいと思う町にしなければ・・・
- 祭りや消防団、その他組合など、くだらない集まりやしきたりが多すぎる。古い考えの人間が多く、住みにくい。つながりも大切かもしれないが、一定の距離が必要。
- 若い夫婦が定住できるまちづくり
- 中野市に転出する方が多いと思うので、「ゴミ袋が安い・保育園に比較的入りやすい・保→小→中と子供たちが仲が良い」等の中野市より良いと思う部分のアピールを。また、お年寄りは新しい家族に優しくしてほしい。地域でも、町全体でも子どもとお年寄りが一緒に過ごせる場所があるといい。お年寄りと「将棋」をしたり、「卓球」をしたり、お茶のみもいい。
- 少子高齢化が進んでおり、将来町を支えるであろう若者が本当に少ないのが現状だと思います。空き家や土地の活用を積極的に行ったり、Iターンを支援するような活動も必要ではないかと思っています。
- 若い人が定住して子どもが生まれて地域が活性化していけば、一番だと思う。もっと子育て支援をしてほしい（お金・クーポン・イベント等）高齢者対策は、スポーツ等の生きがいを見つける場面を増やして、いつまでも元気なお年寄りを増やせばいいと思う。"
- 観光産業に新しい風を入れることで、若者にとって魅力ある起業の場所になることを願う。老若男女の雇用も増えるし、リスクのある雪国の生活もプラスに転換してくれそう。それには、住居が足りない、古いなど問題も多い。夢と高い志を持った若者が山ノ内町に住みたいと思っても、そこがネックだと思う。
- 子どもたちの食の安全を中心に総合計画を作る。子どもの食の先進地と認知されれば、感度の高い人が集う。作物を栽培し販売する場と機会を得られる。技術伝承が高齢者の生きがいにつながる。
- 町に魅力がないから人がいなくなる。湯田中温泉街はさびれている。若者向けのレジャー施設が必要。
- 地区の当番役のやり手が少なく、とても負担と不安。できない方がほとんどである。
- 職員の皆さんの仕事かどのようなものか理解していないのが事実です。また、行政が現在、何を行っているのか、見える化の努力が足りないと思います。
- 町からの書類提出に理解できず、又車もないため相談に行けない人は必ずいるはず。家へ直接行って書類作成の手助けをする人材を作ってあげるといいと思う。
- 相続税等、次世代への負担を軽くしてほしい。
- 都会的なお洒落な街づくり（施設などをつくる時）若い世代が住みやすくなるように
- 子育て世代の親の就業先の増加を図ること。観光と農業に従事する人材の円滑化と融通。結局は経済の活性化が必要。大手（海外）資本の誘致と招へい。近隣市村との合併・広域行政の推進
- Iターン・Uターンに魅力ない。アパート暮らしに魅力なし
- 地区にある風呂掃除などの仕事があるので、シルバーなどに委託するなどしていただくとありがたいです。
- 体育館をつくりイベントを開催していく
- 医療機関の充実、中野市内に行くことが多い。町に医者あったの??って感じ
- 子育て世代に寄り添った町政。補助金や共働き家族へのフォロー。フットワークの軽い高齢者には再雇用の検討。職域を充実化させる。
- ・町に雇用を増やして欲しい　　・公共交通機関を充実して欲しい



## ＜その他＞

- 少子化高齢化は山ノ内町だけの問題だけではなく、国全体の問題なので、仕方ないと思う。
- 結婚もしていないので正直わかりません
- 特別アイデアはない。

## (2) 【人口減少対策について】

### ＜若者の移住・定住＞

- 若者が住みたくなる街づくり [5件]
- 若者、学生が来やすい町づくりをしてほしい。
- 若い人たちが住みやすい街づくりをしたほうが、山ノ内町に移り住む人が増えると思います。
- 若者の定住 使い勝手の良い住宅を安い賃料で
- 若者が行くようなお店が全くないので、町外に行ってしまう人が増加していると思うので、そういうお店を増やす。
- 若い人たちが働ける場所の確保。出産しやすいように手厚い補助。
- 若者、その他の人が中野へ出ていなくなるような
- 旧い空き家は増えているが、若者転入を促せる。賃貸物件が少ない。出産、育児、雇用施策の更なる充実。
- 若者働き口を増やす。また、子育て支援の充実。
- 若者が山ノ内町に残りたいと思える環境づくり。残ることが利益がないと良くない。
- 若い人は仕事が無いので町外へ。年寄りには雪が多くて町外へという人が多いと思う。人口が減るのは寂しい事です。町内に若い人の仕事があれば、子どもも増えるので。
- 合コンのようなものを提案。レクリエーション会やクリスマス会の提案。
- 若者の流出を防ぐ。移住者を募る。
- 若年層が定住するメリット、優位性が必要。各種補助も。
- 町外の若い世帯が山ノ内町に移住してくれるように、他県の人口が増えている所の対策を真似てみるとか…
- 全国的な減少傾向は止められないが、若者の流出を少しでも食い止めないといけないと思う。
- 大学進学で町内から転出して、また町内に戻ってこられる環境を作る。
- 若い世代が集まれる場所が少ない。公園やイベント会場など、人が集まる場所を作ってほしい。住みたいと思える場所があまりにも少ない。
- 比較的子育てには、制度は充実していると思うが、とにかく若い人が移住したい町を考えないと流出していく。
- 現在、年配者のための社会になっている。年配者には優しいが、若者、子育て世代にはどうだろうと疑問を感じることもある。もっと、若者や子育て世代がゆとりを持って過ごせるよう、楽しんで子育てが行えるよう環境整備が必要だと思う。
- 若者の定住・団地（宅地）増
- 若者の定住、結婚、妊娠（不妊）・・・一連に対して住みたいと思うまちづくり
- 若い世代の住みやすい環境づくり。子育て世代が定住してくれるような事業や楽しめるイベントを行う。子どもの教育では、地域の魅力を学習する時間をとることで、郷土愛を育む
- 移住（若い子育て世代）をとにかく支援する
- 若者が住みやすい町にするため、町の主導で安価な土地の提供及び低金利な住宅建築の資金を提供する。
- 若者が結婚して子育てしやすい支援・環境整備が必要
- 結婚しても子どもがいなかったり、未婚が多いので、出会いの場や育児に向けての負担が軽くなるシステムが必要。
- 若い人が住みたいと思う魅力がない。町内にスーパーは必要。山ノ内町のあそこのお店に行って買い物をしたいと思える施設があれば良いと思う。山ノ内町は閉鎖的などところがある。
- 進学などで町外に出た人や町おこしに興味のある若者などを対象にした制度を整えるなど
- 若者に魅力のあるおしゃれな店や飲食店などを充実させたり、住みやすくするための補助、助成金などを充実させる
- 若者が町に住み、出生率を増やす
- 高齢者施策よりも、若者、子育て世代に重点を置いた政策を。

- 子育て世帯の定住。公共交通機関の充実をしてもらわないと、若い人がみんなでていく。
- 待機児童(未満児)の受け入れ
- 一時的でも、子育て世代が住みやすいように居住環境をPRする。無料化など。
- 子育て支援の充実(経済面でのサポート)。保育施設の充実。
- 子育て支援+活気あるまちづくりをして山ノ内町をもっとドキドキさせるようにすれば、若者が増えると思う。
- 子育て支援、若者が働きやすい場、住みやすい場の不足(住宅施設)
- 子供の医療費を無料にする
- 結婚しない若い人が沢山います。まずは結婚しない事には人口は増えないと思います。婚活イベントを常にしたらいかがでしょうか？
- イベントが少ない。
- 婚活イベントの充実
- 移住者を増やすまちづくり [7件]
- 働ける場所を増やす [9件]
- 移住支援の強化。就職先の拡大。
- 県外、町外からの移住に伴う助成金の強化。
- 結婚お祝い金を多くして、山ノ内町に定住してもらう。
- 空き家活用。公園が小さい。
- 住むところ、働くところが山ノ内には少ない。アパート団地があれば、住むところだけでも解決すると思う。
- 観光資源も農業資源にも恵まれているので、移住者を増やす。
- 定住者を増加させるのは難しいと思いますが、良さを知ってもらえればあり得ないことではない。空き家や空き部屋を活用し、短期滞在を誘致する、不登校や引きこもりの人の社会復帰のためのフリースクールを作り、自然をふれあいながら住める場所を誘致する。山ノ内町全体が“心の診療所”になる。
- 役場職員が町外に住んでいるのはどうなのでしょう？若者が定住できるような安い住宅など提供できればいいのになと思います。冬スキーやスノボに来る人たちの住まいも。
- 住んでももらわないと始まらない。
- 観光客やリゾートアルバイトに来る人たちが住みたくなると思える町づくりの実施。
- 大学卒業後、就職できる企業、受け入れ。若い人たちが帰ってこない事には始まらない。空き家などリノベーションなどするなどして、県外からの移住者を受け入れる。
- Iターン者への補助を充実させる
- 売土地情報の魅力があることが、外部からのIターンを増やすきっかけになると思う。
- 自然の中での子育ての魅力を伝えていく(須賀川のお山のようちえんのような)就農のUターン・Iターン向けの住宅を整える(町営住宅若者限定)
- 切実な問題です。魅力のある街づくりをモットーに県外からの移住者が増えるような取組みを考える。山ノ内町に住んだら、お得がいっぱい感じられるような。
- 町外からの移住者確保の推進。町内での働き口の増。空き家の活用と受け渡しの促進
- 湯田中共益会の土地の払い下げをして空地を売買して、人口を増やす。
- 空き家の利用により、農業をやる人を全国から集め、対象者に補助金等を支給し定着を図る。
- 産業の多様化を考えるべき。志賀高原のトレッキング案内等を、町の産業として町営化すれば良いのではないか。宿泊施設(ガイド)を含め、町の中に公営の施設を作る必要がある。
- 儲かる仕事があれば放っておいても来ると思う。
- 企業誘致
- 企業を呼んで就職口を増やし、働きやすく、町民税や固定資産税を下げ住みやすい地域にしてほしい。
- 大企業の誘致
- 若い人の働く場所。充実した住宅の設置。
- この加速度的な人口減少を無視することは出来ません。特に若年層の人口流出は地域の将来に不安をもたらします。核家族化や娯楽の多様化により、地域の魅力に触れる機会が減ってしまった事で、我々の地域の素晴らしい職業に気付けない人が増え、人口流出が大きくなっていると考えます。郷土愛と地域の職業への関心を高めてもらい、地元の職についてもらえる事業を願いたい。

- 仕事場が少ない、選択肢が少ないので増やす。町内で店が無く不便、生活用品など色々ないので店を増やす。
- 先程と同じ内容になりますが、職場が増えれば山ノ内町以外に移住することがないと思いますので、人口も減少しないと思います。
- 農業以外の就労場所を作る。町外の人に移住した場合、家賃補助等、買い物が出来る大型スーパー等の誘致。
- 就業場所が少ない→人口流出→少子化となる。対策として、①企業誘致②田舎でIT企業誘致③特産品を加工・販売する。
- 若い世代が流出しないように町での雇用を促進する。観光業、農業への就職を進める。
- 若者をターゲットとして山ノ内町内でも働ける職場を増やす。交通網の整備。
- 町に仕事がほとんどなく、子育てしながら働ける場所がない。他の市に行ってしまうのは仕方ない事。
- 就職先、スーパーなどが無い限り無理。
- 昔からこうだ。の話し合いでは何も変わらない。若者や他県からの移住者等の異論を検討材料にしてほしい。子育て世代が増えないことには解決しない。今はインターネットで情報も得られ、インターネット等の環境が整っていれば、仕事ができる若者も多いと思う。都会でなくても同じように仕事ができれば、定住して暮らしが生まれると思う。
- 子どもが帰ってきて勤める企業が無い。交通の不便。食材の基本は大型スーパーで。
- 学校を卒業した若者が町内で就職できるような職場の提供。
- 安定した就業・雇用がないことが一因と思う。町にひとつでも超一流企業があれば町は潤うし、人口減少に歯止めがかかるのでは？大企業誘致。
- 職場がないのが一番の理由。働くところがないので、若者は山ノ内町を出ていき、人口減少になる。
- 若い人たちの働く場所と住みやすい環境をつくって、コツコツと人を増やしていくしかないのではないのでしょうか。人口減少問題は本当に深刻な問題だと感じています。
- 雇用の拡大と住居環境の充実
- 働く場が必要企業誘致、雇用が増える施策が欲しい
- 仕事がない。町内勤務者を増やす。社宅などで人口増やす
- 町外に進学して地元に戻って来て働ける環境作り
- この町ならではの学校教育を行うなどし、(または新設)子どもの成長にとって良い環境を作ることで家族連れの移住を促すのが良いと思います。子ども達が通いたい、親が通わせたい学校づくりを行う。
- 中学校・小学校のカリキュラムを特別なものにする(英語特化・スポーツ特化等)。町内への大学等、学校の誘致。
- 全国にも子育てで魅力を発信できる町づくり。山ノ内町で育てるとすごい人になる！！のような。
- 学校を充実させる
- 環境が悪い。店などが少ない。飲食店も地域の人むけでない。
- 冬の雪(除雪を綺麗にやっていただきたい)冬タイヤや灯油代等がかかるので、町外通勤者へ毎年1万円の手当が欲しい。
- 雪の問題も大きいと思うので、屋根の雪下ろし、道路の除雪、整備など個人の負担を減らせるようにしたらどうか?“住みやすさ”“生活のしやすさ”が大事だと思う。
- 安心して子育てできる支援。病院や接種等の無料化。
- 生活しにくい環境の改善が必要。山ノ内町に買物できる場所がない。品揃えが悪い。「ゆめっこ」は赤ちゃん・子供にとって成長するための遊び場になっており、子育てパパ・ママが安心して利用できるのが良い。
- 住みづらい、車がないと食品など仕入れにくいから不便。
- 商業施設をつくり、若者が他市に移らないようにする。
- 山ノ内町は老人に優しい町との印象があります。子育て中で行政の支援(検診など)は定期的にあります。見当はずれなことが多かった。突き放された印象を受けました。中学・高校・大学へと進む時代、若い人が町にしやすい環境をとしたいと思います。
- ユネスコエコパーク制度をもっと広く発信したら良いと思う。
- 介護利用者を町外から募る

- 若者だけでなく、住みたいくなるような町でないと人口減少、特に流出は止まらない。職員の中にも中野市等に転出している方も居るのでは？聞いてみたら…
- 不便なこと(食料などの買い物)町外に出ないと、まともに買い物ができないので、外に出て行ってしまふ。公的な補助などが出ても町内で使えなさそうなどところがない。もっと考えてほしい。
- 人口減少の歯止め対策は具体的にはない。世帯の所得向上、町税収の増収対策が必要
- 地元スーパーなどを誘致する等。公共交通の整備。
- 町内の人間に聞いてもダメだと思う。なぜ町外にでたか聞いた方が早い！
- もう一人、子どもをもちたい。この町でなら生活していけるなど。そう思ってもらえるような町になるように首長に施策を考えてほしい。
- 福祉関係の充実。
- 就職口が無く、町外に出る人が多いし、町外に魅力を感じる若者が多いのが現状。町内に住む、特権や魅力があると良い。
- 住宅地を増やし、町外から入居者を招く必要があると思う。町外から嫁いだ者としたら、古くからのしきたりに対し、こだわりが強く、考え方が古いことを感じる。もっと若者の考え方やアイデアを取り入れ、若者の存在を大切にしたいと思う。
- 町に魅力がないため、若い人たちが都会へ行ってしまふ。大型店・医療施設・就職先・交通面など便利にしていけないと、高齢者しか残らないと思います。
- 町外からの移住者を増やす。空き店舗を利用した新事業への支援。町の魅力をSNSで発信。
- 人口減少→自治活動、消防など自主防災活動への定住者の参加率が高いです。内容は大切ですが、時間をとられる活動が多いことで、Uターン・Iターンにはネガティブに働くと思います。規模や活動単位・活動内容を見直してほしいです。
- 減少を止めることはできない。減少率をゆるやかに。子どもたちを大切にする町としての認知を進める。
- ネット施設の充実
- 近隣市村との合併。雇用の創出。観光・農業に従事する労働者の賃金を増加させ就労人口、移入数を増加させる。そのための雇主への助成・補助
- 住宅家賃補助等の整備を考える。買い物するところを中野まで行かないといけないのは、若者が町外に出ている原因になると思う。
- 長野電鉄の運賃が非常に高く、通勤・通学をしている人からするととても不便であるため、見直しをしていく必要があると感じられる。
- 子育てしやすい環境を整える
- 子育てしやすい町づくり。医療機関との連携や歩道や街灯、公園等の整備、保育や教育への補助。UターンやIターンで働きやすい若い世代に魅力的な仕事や補助
- 何かもっとアピールできるものを探してアピールをしてみたり、県外へ出て行ってしまった人やこの地をまだよく知らない人たちのためにももっとここに帰ってきたい、住んでみたいまで行かなくても来てみたいと思えるような街づくりをしたらいいと思います(えらそうでごめんなさい・・・)
- 人口減少に合わせた事業の縮小、個々のニーズに合わせたサービスの提供”
- 子供を育てにくい環境の改善が必要。幼・保⇒小⇒中(児童クラブを含む児童の情報共有が必要)の連携をとる”子供課”が必要。子供がゲーム・スマホ依存にならないよう飯山児童館のような大人の目のある全天候対応の子供の遊び場が必要。Iターンの人の働ける場が少ない。健康ポイント事業のみならず、他県で行われているような、図書館で本を借りたらとか投票したらボランティアをしたらとかアクションに対してポイントを発行してお得と文化、交流、健康の促進を行うべき
- 住み続けたいと思わせてくれるような環境整備、同世代が交流できるような場所やイベントの企画等
- 中野、長野へ引っ越すよりも、税負担が大幅に軽くする
- 少子高齢化対策と同じ。
- 今の時代、人口減少は仕方がないと思う。無理に何かするのではなく、今のままで良いのでは。
- 山ノ内町自体ははっきり言って魅力的な町ではない。町税も高い、税収のある中野市に住んで山ノ内町に通勤している町職員だっているぐらいなんだから、対策も何もないと思う。
- 防げない。
- 役場の職員が町外が多い時点でわからないように現実逃避しすぎです。

- 高齢者が多い町なので、当然なくなる人が多くなり、人口は減っていきますよね
- 若い人が少なくて、子どもの声が少ない。悲しいことですが、私たちにはどうしていいのかわかりません。
- 対策をしているのがわからない現状
- 町に魅力があれば人口は増えるか維持できるのでは？
- 若い人たちは外に出たがるのではない
- 若い夫婦や子供の家族が結構増えてきているのでそれほど気にならない
- 山ノ内に住んだらこういう特典があります。みたいなのがあるともっと人口が増えると思います。 [4件]

### (3) 【観光振興対策について】

#### <PR・情報発信関係>

- ホテル、旅館での宿泊代を安くし、県外からの収容に対し、力を入れる。志賀高原をもっとPRが必要だと思う。
- PR活動をもっと活発に行ったほうが良いと思うので、それぞれの温泉が協力してイベントの企画をしたり、ツアーやモデルコース等を町全体でアピールしていく必要があると思います。
- 外国人の方も大勢見かけますので、日本全国にも山ノ内町の温泉がたくさんあることを伝えたら良いと思います。
- 名所となるような場所のPR
- SNSを活用する。
- SNS・ネット時代であり、外に出たの売り込み、広報活動は縮小、削減可能。質の高いサービスの提供のため、出来ることが町内にあり
- 積極的に外にPRを行う。また受入体制を強固にする。
- おもてなし御宿便、便利なのに認知されていない。
- 奥志賀高原のPRが低い。SNS上で拡散等の広報を。
- 春夏秋冬、それぞれの魅力の発信。
- 町の観光のホームページが堅苦しく見にくいです。もっとはっちゃけても良いと思う。キャラクターをどんどん使用し、各リンク（ホテル・スキー場）へ行きやすいようにする。
- PR不足。地獄谷の猿が1枚の写真により、これだけ有名になったことを考えると、もっとメディア等への露出を考えていくべきである。
- CMをする
- せっかくよい観光資源に恵まれていながら、それを十分にPRできていない。「来てみたらよかった」ではなく、「一度は訪れてみたい」と思わせるような、上手なPRが必要
- もっと山ノ内町にパワースポットといった素敵な場所があるため、SNSのインスタグラムなどを通じて発信していくべきだと思います。
- 志賀高原や温泉といった観光資源をもっとアピールして活性化を図ってほしい
- 情報拡散の方法について、検討する。
- PR戦略を充実させる。

#### <インバウンド関係>

- 外国人が来た時に英語でガイドできるようにしたい。英語は大好きです。
- スノーモンキー地獄谷野猿公苑に来る外国人観光客が白馬や野沢から来るのではなく、山ノ内町の宿泊客として上手にアピールできればいいと思う、
- 渋温泉の「今日はサルはいません」は日本語で書くより英語で書いたほうが良いと思います。外国人の方ばかりなので。湯田中駅にでかいテレビを置いて、地獄谷野猿公苑のLIVE映像を流してみるのはいかがでしょうか。
- 英語や中国語表記を増やす
- 外国人にもスノーモンキーだけでないことをPRしてほしい
- 外国人客への人気が高まっているのでさらに外国人が期待と思えるようSNSでアピールする。外国人がわかりやすい看板や案内を充実させる。
- とにかく客がたくさん来るようにする。インバウンドOK。

- インバウンド推進。国内、海外の旅行博への参加を、町主導で行ってほしい。
- 外国人観光客の充実〔3件〕

### <連携強化・検討関係>

- 温泉や野猿公苑、スノーリゾート、農作物など魅力的な資源がたくさんあるので、バラバラの活動では無く、一体化、協力して、盛り上げていけたらいいと思います。イベント等々。
- もっと農業体験と一緒に。
- 地域、ジャンルにとらわれず連携を強化すべき。
- 民間と町の協力体制の強化
- 道の駅の駐車場、レストランの大型化を図る。（大型バス30台、500名収容の食堂）これは即効性がある。

近隣市町村と連携した観光商品の開発（中之条、草津、高山村、木島平村、中野市）と観光事業者との連携・協力固定資産税の徴収強化と滞納処分への早期着手。志賀高原のインフラ（上下水道）の町営化（当面は利用が高くなるかもしれないが、外部からの資本投入が見込まれる）事業承継の積極的な推進。

### <取り組み提案>

- 美味しい料理の提供
- ご当地○○のような物の開発。（ご当地コロッケ、バーガーなど）他の地域では、ご当地丼があったり、カレーで町おこしをしているので、温泉まんじゅうに匹敵するお土産やスイーツの開発（町内産米粉や生乳チーズを使用した大福・パン・ケーキなど）
- 以前より、飲食施設は増えたが、もっとここに行きたいと思えるお店が増えて欲しい。飲み会などでも結局、中野市方面に偏ってしまう。タイ料理店なども含めて、SNSで評価され入りやすいお店が増えて欲しい。
- 湯田中駅周辺を観光名所にする。飲食店が増えてきたので、食べ歩きができるとか。
- 志賀高原に食事場所がなくて残念です。目玉商品が欲しいと思います。
- スキー場のチケットと民泊や、ボランティアをセットで割引にする「年間山ノ内パスポート」を作り、好きな事を3つ選択できるようにするとか。（内容）温泉施設への宿泊、スキー場チケット、長電一日乗り放題、りんご狩り、そば打ち体験、新そばまつり食べ放題、トレッキングガイド付き、ソラテラス等々
- 鎌倉駅～小町通り～鶴岡八幡宮や長谷駅～鎌倉大仏のようなルート作りに湯田中駅～平和観音まで学ぶ箇所ありますね。小布施への観光バス、山ノ内町に立ち寄らずに帰られるのでは？一泊してもらわないともったいないですね。一人では一軒では出来ないまま、いい案には大賛成して新しい山ノ内町を作ってほしいものです。昔の考えの方は口を挟む時代ではない！
- 農業体験が出来る民宿など、空き家の利用
- せっかく豊富な温泉資源があるのに、渋温泉ばかりが有名になって他の温泉のネームバリューがなくなっている気がする。また、それぞれの温泉間が遠すぎる＋ごはんやさんやお土産やさんが少なく感じる。温泉地にいきたいというわくわく感が渋温泉以外歩いていてあまり感じられない。
- 猿、温泉に頼らない観光。果物がとても美味しいので、果物をもっと活用したら
- 富裕層をターゲットにした一部の観光を設定したほうが良いと考える。まず、おいしい食事ができる場所がない。高級車で訪れる方の車の保有場所の整備がない。もっとお金を落として頂ける為の投資は必要と考えます。
- 風景を生かした(田園、果樹)観光振興
- 観光する場所を増やす。気づいていないところを見つける。
- グリーン期の強化。夏でも多くの方に来ていただけるような取り組み。
- 山ノ内町にメインとなる娯楽施設等、外部から訪れるようなレジャーの施設があると良いと思う。
- 温泉やスキー、志賀高原の自然等、素晴らしいものがたくさんあるのに活用されていないように感じてもったいない。もっと広く開放して、イベントやアイデアが生かせるような対策をとってほしい。イベントやレジャー施設、自由な使い方の良い物であれば、今はこちらから広めなくても広がっていく。

- 山ノ内町の観光は地獄谷か志賀、北志賀の自然しかないように思えるので、町内でもっと食事や何か体験できるような施設が増えたらいいな、と。
- 呼ぶなら、価格・食事(内容)・交通アクセス・町内をぶらつくルート確保。
- 温泉を利用して温泉レジャー施設を作ったらどうでしょう。
- 若者が来やすいようなお洒落な施設などがあると県外からの観光客が増えると思います。
- ただの自然豊かな志賀高原では人を呼べない。キャンプ場・アウトドア・アクティビティの充実
- 志賀高原の自然環境を生かしたセラピーを開発し、健康になれるまちとして売り出す。そこには宿泊や農産物販売などを絡める。
- 夏に292号線を生かした観光をしたほうが良い。志賀草津高原ルートは、他で見ることのできない景色なので、それを生かしたほうが良い。
- いろいろな企業、作品とコラボしたイベント企画などを増やす。(以前にモンスターハンター×渋温泉とのコラボのように、どちらかという、マンガやアニメとコラボしたほうが今は来てくれる人が多いと思う。ホテル・旅館と協力して日帰りではなく泊りで来訪してもらえる対策を。
- 学校で提案したことがあるのですが、志賀高原のスキー場で「山ノ内のきのこを使った味噌汁の無償提供」湯田中温泉での「温泉卵を作ろう計画」地獄谷付近でのスイーツを提供する「天国谷カフェ」はどうでしょうか。
- SORA テラスのように、現スキー場をよりお洒落で写真映えするようなスポットを作る。温泉(外湯)の解放
- スキー場、温泉、スノーモンキー、エコパークなど、個々の魅力的な資源をつなぐ交通の便。街並みイベントなど、少ないです。景観では、旅館街の目玉となるオブジェなどを作ったり、定期便で町内を循環する小型バスより小さいバンを運行してはどうでしょう。セグウェイのレンタルもいいかもしれません。キャンプ場や夏場山間でできるレジャーの施設なども既存のものもありますが、アクセスや他とのリンクできやすい地にあるといいと思います。
- 今ある資源をブラッシュアップ。昭和レトロを極める。日本一を目指す。
- 温泉街づくり充実、外国人ツアー(町めぐり)集客イベント(マラソン大会、フリーマーケット)
- 山ノ内町と言えば、スノーモンキーが有名だが、それだけでは限界があると思う。少なくとも、春や秋にも観光客に来てもらえるようなコンテンツを作る必要があると思う。夜間瀬川の堤防沿いに桜を植えて、桜並木やモミジや楓を植えて紅葉並木を作り、名所として作り上げていけばよいのではないかと。また、それらの木の世話もボランティアを募ったりすれば、住民にとっても参加でき、愛着がわくと思う。できれば、夏も観光客を呼べて見てもらえるような夏を代表する花の植栽で花の鑑賞と販売をすれば、農業振興にもなると思う。
- 道の駅をもっと広いところに作り、温泉施設も作る
- 旅館などとイベントを計画する
- 渋などが行ったアニメ・ゲームなど宣伝力のあるコンテンツなどとのタイアップ
- 一部では力をあわせて盛り上げていますが、林芙美子記念館や一茶記念館、一茶の散歩道など、もっと古くからの良いものを継続して残して手入れをしてほしい。猿の被害も困っています。湯田中駅近くで地元のを扱う店など欲しい(朝市ではなく)
- 滞在型観光への転換。海老蔵や円楽などの有名人に植樹やゲートボールに来ていただく前日にファンとの交流イベントなどを行って誘客し、宿泊してもらおう。農泊の推進(施設・企画)
- 駅に外気温モニタリング設置
- スキーやキャンプ、登山に訪れた方が利用できる商業施設の整備(中野市まで買出しに行くのは大変。コンビニだけではないまい)。町民も町内での買い物で済む。雇用も生まれる
- ロマン美術館監修で他県の大地の祭典(まちじゅう美術館)を行ったらどうか?案内標にはQRコードをつけたらどうかと思う。また総合案内所がわりとしてやはりQRコードを用いてやまのうちNAVIにとべるようにしたらどうか。もちろんやまのうちNAVIを充実させることは必須。またロマン美術館で「町のお宝」として持ち主を明かさず美術品を出店してもらって飾ってみたいらどうかと思う
- 花火大会を復活できたらと思う。旅館等に泊まらなくても、県外の人たち(家族、親戚等)が集まったり、口コミになったりして、来る人も増えるため。[6件]

- 町と旅館組合がもっと一体となって取り組む。(花火大会があんな形で無くなるのはもったいない。)本気で志賀高原をどうするか考えたほうがいい。殿様商売は通用しない
- “お客様ファースト”を徹底する。長電バス・電車に頼らず、観光地へ送迎する。早朝から夜遅くまで送迎対応を町で実施する。自然・温泉をもっと活用させてほしい。大規模でなくてもいいので、花火大会の復活。紅葉と温泉、星空と温泉、星空と花火、花火と温泉、あるもの全てを活用し、集客。
- 外国人以外のお客様も呼び込める観光
- 新しいものを作るだけではなく、今ある文化・建物をどう町のシンボルにするかが重要ではないのか。
- 新たな観光施設、計画的に具現化へ。
- 湯田中でも新しくホテル・レストラン・お店など開店してうれしいです。折角開店したのだから、外国の人だけではなく、地元の人をもっと利用したいです。店側も地元となじむようなことをするのも必要な。
- 志賀高原・湯田中渋温泉郷という名のブランドについて、ブランドがあるだけで中身が無い。山ノ内町を小布施町のようにしたいけど、どうすればいいのかわからない。山ノ内は小布施より、恵まれているのに。
- 今ある自然を生かせる楽しみ方。
- 道路の利便性を向上させる。
- 湯田中駅前再開発。
- 運営側はもちろん、訪れた方々が感じた視点、客観的な意見をより多く拾うことができると良いと考えます。(評価やコメント)
- スキーには、もはや全て依存という施策では無理と考える。大手企業に依存しない、スキー対策はもはや存在できないので、施設の縮小を考える時と考える。
- 温泉観光協会が町にいくつもするのは、発展の限界となっていると思います。町の観光協会は一つとし、観光の充実に向けて、取り組むことが必要。
- 一発逆転はない。過去の労苦と歴史の中から、これをベースに付加すべきものは何かを求めること。時間をかけてでも、インバウンドも良いがこれは外的要因により大きく左右する。日本人を大切に。
- 若者が足を運びたくなる町づくり。レジャースポット、飲食店等
- テーマパークなどの施設づくりをしてほしい。
- 志賀高原、地獄谷野猿公苑などアクセスしにくい観光スポットへアクセスをしやすく、またそこを目的としたツアーなどはどうでしょうか？
- 観光地でトイレ、道路が不便な所が多い。
- 年々雪も減少、スキー客も減少している状況で年間を通して何を観光として力を入れていくのか。再度見つめ直す時期なのではないか。
- 小布施の真似事をして、公園を作った所で観光客が増える訳がない。公園の利用者も増えたとは思わない。税金の無駄。公園+αで何をすれば観光客が増えるか、もっと考えるべき。外国人が増えたことでのトラブルもあるので、その点の対策も店側だけじゃなく町で考えてほしい。
- 行政主催のイベントは、参加した方も楽しめない(地域住民の輝きが見れない)。湯田中渋温泉郷のまとまりがない
- 新しくできる、出来たお店だけに補助金を提供するのではなく、既存のこの町で何年も商売を続けてきた、続けていきたいと思ってる事業者にも、改修工事の補助を行うなどしてほしい。不平等だと感じる人も多いと思う。
- 町の自然・文化・人の資源を最大限に活かす等。
- この夏、木戸池の周辺を歩きましたか？木道が壊れていて、危険なところがあり、残念に思いました。また、トイレがなく困りました。山だからどこかではおもいますが、大沼池にもなくて、本当に困ってしまいました。整備してほしいと思います。
- ホテル廃業となっている場所を無くすように努力する。町の景観が重要だと考える。
- 温泉街の公衆浴場の活用を野沢温泉のように、宿泊者以外にも開放できるともっとよくなると思う。
- 志賀高原の夏の観光、アクティビティがあるが少ない。国立公園というのを活かして、法人などのリモートワークをもっと推進してもいいのでは？冬のリフトは早く架け替えないと老朽化で安全イメージが良くない。



- 豊かな自然、豊かなウインターリゾート地である志賀高原をもっと自由に有効活用を図ると良いのではないか。（白馬のように）和合会、共益会といった昔からのしがらみが有効活用の妨げになっていないだろうか。
- 観光地を開発したり、整備して、サル以外でも人を呼べる地域にしてほしい。
- 自然環境を保全し、乱開発をしない。ありのままの自然のありがたみを再認識し理解してもらう活動
- 観光業に従事したことがないのでわからないが、道の駅は成功したのでは？ただ、近所のばあちゃんによると、ローマ字の店が多くて困惑するとか。外国人の目線もわかるが地元の人には・・・
- 現状の観光施策だけに甘えることなく、誰もが魅力を感じる施設を新しく整備したらよい
- 大企業も入れて大型化
- 渋のサルだけでなく、湯田中、山ノ内町の中心となる活性化した内容で、イベントだけ求めるのではなくて、やはり日本人の求めるもう一度来たい感がある山ノ内町にしてください。
- 湯田中では、宿泊施設が充実しているが、周りに温泉街の雰囲気がありません。空き家をなくし、きれいな街にしたり、風情があるところは、そのままに
- せっかくの素晴らしい自然があるのに、生かしきれていないように感じます。志賀高原へドライブに行っても、気軽に立ち寄る場所、楽しめる所がありません。色々とは難しいでしょうが、ソラテラスのような場所がもっとあれば良いと思います。
- 温泉、リンゴ等、他のまちに負けない物があるので、もっと生かしていけばいいと思う。イベントや何とか大会みたいなものも沢山あるといいかも
- 働く外国人の窓口業務の充実。現在も良いとは思いますが、語学含め更に向上が望ましい。
- 住民が知識を持つ（山ノ内町の観光資源と各地域の活動について）同じ町内なのに、近すぎた行ったことのない場所が多いと思う。町民が町内で楽しむ機会を増やしてみてもどうか(イベント・町民割引など)
- 交通のアクセスが必要
- 核となる施設を作る
- 宿泊観光者を大切にしてほしい
- 現在、空き店舗に開業すると、色々な優遇があるが、地域に根付いて頑張っている店にも改修などメリットがあればと思う。町だけでは難しいと思うが。
- 街灯や歩道の整備
- 廃墟になったホテル等の建物が多く、観光客はこの街を見てきてよかったとおもうだろうか？決して誇れるような景観ではない。
- 二次交通の整備など町内観光地を結びつけることが必要
- 公共交通機関の拡大
- 自然も温泉も地獄谷の猿・スキー場と資源がたくさんある町なので、白馬や草津のように観光で潤ってほしい。外部企業参入でも職の場の確保になるのでは
- インバウンドの対策も大事だけど、そこばかりに気を取られずに観光公害にも目を向けてもらえるといいなと思う。
- 総合温泉テーマパークがあつたらよいと思う。
- ゆるキャラを作り休日などに温泉街を歩かせる等経費が掛からなければ何でもやってみる。
- スキーリゾート以外にも特色のある観光スポットがあればもっと良いと思う
- 町外からの支援が多いですか？ 町内の方より多方面からの店の出店が多いように思います。町内の人々をもっと活用すべきでは？
- 観光事業者の意見を聞く
- インバウンドだけでなく、地域の特性を活かした町づくりをしてほしい
- スノーモンキーが好評なので、現状を維持。海老蔵さんもとても良い。
- 渋温泉の古い考えが要らない。
- 結局は人だと思ふ。おもてなしの心で来て頂いたひとたちがよかったと思えるサービスを考えるのがいいと思う。
- 他にはない何か。特定の物や分野に特化できれば、そこに行かなければ楽しめないという目的が生じると思う。→聖地になる。
- 古い体質と時代の流れをキャッチできる新しい考えが合わないことには、今のままでは厳しいと感じる。これだけ、観光資源があるのに生かせないのは、それを生かす人がいない。

- おさるの温泉ばかりで良いのだろうか。スキーのブームも少なくなり、長い目で対策が必要では。
- 観光の目玉がない [2件]
- 志賀高原は素晴らしい観光資源がたくさんあるのに活かされず衰退。他の観光施設についても、もっと柔軟に新しい風をいれるべきではないか。
- 高い源泉の使用料とかやめたら良いのでは？
- イベント内容が単発すぎて、観光に結びついていない。SDGs などのように、魅力的な持続力のある内容を！！
- 今ある観光資源に満足せず、常に進化していく町であってほしい。
- 志賀高原・北志賀高原・湯田中渋温泉郷がいつになっても一体感がない。この先の観光が思いやられる。情けない
- 町民の傾向として人間性が閉鎖的だと感じる。そこらへんから改革していかないと、外部からのお客様を気持ちよく迎え入れ、かつ再び来ていただくのは困難だ。観光といっても、やはり対人関係だ。
- 志賀高原・湯田中渋温泉郷・北志賀高原の3点セットでの宣伝活動は無理がある。
- 目玉となるものがない。せっかく温泉資源があるのに、生かされてない。
- 良くやっているとと思う
- 町民がこの町を魅力的だと思えているか
- 現在どんな対策をしているか知らない。わからない。イベントをやっているイメージで振興する目的や目標がわからない。主体はどこ？
- 町税滞納者に対して毅然とした態度。払わなくてもつぶれないところがあるから危機感を持たない
- 地形が違うので一概には言えないが、野沢や白馬の様になれないか。スノーモンキー目あてにたくさん来るがそれのみになっていないか。志賀高原までのインフラや新しい施設も必要ではないかと思う(若者は志賀を知らない)
- 町民が観光地をもっと知ることが大事(この夏ソラテラスのロープウェイ無料(町民は)で竜王へ行った人の話を聞きました)良いですね！良さがわかると職場(中野市)の人を案内してソラテラスを連れていくことができるので。
- ある程度のリスクを負ってやってかないとリターンは見込めない
- 県内人で志賀高原でスキーをしたいがトイレは少なくホテルの中で使用するが入りづらい
- 目玉となる観光で人がたくさん訪れてくれればいいと思う
- リピーターの人達が増えるような対策があればいいと思います。
- このまま頑張っ欲しい

#### (4) 【農業振興対策について】

##### <人材の確保・育成>

- 送迎バス、宿泊施設付きで季節労働として、都会のネットカフェ住民等を引き取るのはどうか。仕事したい人は都会にいけば、溢れていると思う。良ければそのまま、空き家を紹介したり、シェアハウスに住んでもらう。結婚相手も見つかり、一石二鳥なのでは。
- 少子高齢化に伴い、人手不足による耕作放棄地が懸念されるため、臨時的でも、人手不足を解消する対策が必要。高齢者、退職者等への仲介など。
- 後継者の育成。後継者がいなくなった農業地の効率的な利用・運営方法の検討。
- 遊休農地や後継のいない農地のとりまとめを行政が行い、若い農業従事者に安定するまで手伝い(補助)をする。
- 農業者も高齢の人が多いため、町内外問わず若い人が農業に従事する人が増えるように！
- 現経営者の後継者の募集や育成。若しくは現経営者を支持してくれる協力者の募集(町内外の住民、専門職)
- Iターン、Uターンで若者や若い夫婦などが仕事しやすい農業がいいと思う。
- 若い人にも魅力を感じてもらえるような農業(収入面、優位性)を打ち出して、サポートすべき。
- 高齢化によって、農業振興もあとどのくらいもつのか、という感じ。全ては「人」。農業は「資源」なので、町のイメージ化できる資源を作る必要がある。

- 農業者の高齢化が進んでいるので、町外の農業者に後継してもらおう。もしくは休耕地を貸し出す。そのための支援
- 他県からの移住者を増す。〔2件〕
- 若い人が町外から来て、就農してもらえたらいい。
- 後継者の確保
- 農業の後継者を増やす。〔2件〕
- 労働力の確保
- 果物は県下でも素晴らしい生産地であり、後継者をもっと育成し、更に研究を重ね収穫量を増やし、増収増益を図る。
- 現状の中で農地を守っていくのは無理なので、研修生の受け入れから就農、生活ができるプログラムを作り、できたら他の職業の人たちとのシェアハウスの中での生活などで山ノ内町を活性化できれば良いと思う。
- 名産品を増やし、技術講習会を積極的に行い、品質の高い製品を作っていってほしい。
- セミナー・専門家講習

### <情報発信・PR>

- チラシから情報を得るより、耳からの方が年配の人は情報が入りやすい。
- 観光+農業で協力して日本から外国へもっと配信していく必要(職員が出向するなど)
- 品質の高い農産物がたくさんあるので、更なるPRが必要。
- りんごなど、多少の傷や形が悪くても味はおいしいことをPRしていけば、少しは値も上がるのかなと思います。
- 他県に出向き、特産品等のPRを行う。
- 農業も盛んでとても美味しいので、その事も全国に伝えたら良いと思います。
- 品種もよく安全である果物・野菜の生産者の顔を見せる。農業の作業の様子をSNSで配信したり、安全性などをアピールする。
- 情報発信をして、農産物を売り込む。
- 中野市に負けない魅力の発信！
- ブランドの発信力が弱い。観光商工と農業振興(ブランド部門)が一体となった新しい組織が必要。
- 毎年志賀高原や温泉街には何十万人と旅行客が訪れる環境なので、その集客力を絡めて販売力強化に努める。中野市の売れる農業推進室のようなわかりやすい売り込みをする部署名に変える
- HPなどでのアピールの強化。またキズモノ、訳ありものを求めやすく提供するなどの工夫が欲しい。
- ブランド化。全国的にも有名な志賀高原をキーワードに入れてPRしていく。志賀高原の麓で育ったりりんご・桃・シャイン等需要があり、収入が安定すれば、自然と農業は振興する。
- ブランド力をあげる取組み。SNSを活用する発信力を強くする。
- 今のままでいいと思う。若者もそうだが、農業に関心のある人には、研修とか勉強会とか沢山行こう。山ノ内全体でアピールする。
- 山ノ内町特有の農産物のPRにもっと力を入れるべき。現状はあまり耳にしない。
- 果物などだけのイベントや「りんご狩り」といったものを開催したり・・・
- 町内でりんごやぶどうなど、町外からの方に紹介できる場所がさっぱりわからない。
- 情報発信方法の拡大
- 山ノ内のりんごの美味しさをもっとSNSやメディアで発信する。都会での物産展などでアピール

### <ブランド化>

- 他産地より、何倍も収入があるようなブランド化。市場の初競りで100万円以上がつくような。
- 耕作放棄の増加で、笹、桑の侵入や獣の被害が深刻。大町のようなモンキードッグ、ベアドッグ、梓山犬活用など。温暖化と高齢化でりんごやももの栽培に代わる物の特産化(例えば、キウイフルーツなど省力型のもの。)また、桃の葉の商品やブルーベリーの葉をお茶にするなど。
- 集落営農の推進と商品(果物)のブランド化。

- 高級志向のブランド化ではなく、安くて安全なブランド化を目指し、展開させていく。また、プロの農家さん達を先生とし、空いている農地を貸し出す。自分で育て、食べるそして販売できる喜びを知ってもらう。
- 農産物のブランド化。地産地消のレストラン。若い農家さんを育てるような支援。
- これだけは他に負けない。行かなければ買えない、食べに行きたいと思わせる一品の農作物。
- りんご・ぶどう・きのこ生産農家の方々は頑張っておられるが、これも中野市と比べて山ノ内町産というブランドイメージがない。中野市もやっていないような新しい品目も力を入れて、山ノ内町といえば〇〇というようなものがあれば良いと思う。
- 「サバタケ」のような地域独自のものがもっと出来れば良い。
- 付加価値をつけた農産物。誰でも買いやすいシステムづくり。
- 山ノ内のりんごや桃、ぶどうのブランドを首都圏に売る努力。試食すれば美味しさがわかるので、出向いていく。山ノ内と言ってもピンとこない時もあるので、志賀高原のブランドで売っていく。
- ブランド化は絶対に必要。農業従事者の誇りとモチベーションのためにも。そのためには、販促に力を入れていかなければならないと思う（全国展開）
- 種を守る、農薬を使わないなど、食の安全を全面に押し出したやまのうちブランドを充実させるべきだと思う。やまのうち＝健康・安心・安全というブランディングをしたらよいのではと思う
- 山ノ内ブランドの構築が必要だと思います。〔5件〕
- 野菜とかブランド化する。
- ブランド化、新品種の導入

#### <農地の活用>

- 高齢化により、圃場が空いてきている環境の中、それを活用した農業の不動産化による販売で、外部からの移住者増大を見込めると考えます。町に借金はありますが、それを減らす為に投資(借金)を考えても良いと思う。
- 儲かる仕組みづくり。空き畑を使用可能な状態に戻す補助。
- 農業委員会を通すと、借地料がかかるが、無料でも良いので農地を貸せる事ができるようにして荒廃地を少なくする。農業委員会に申請→農地の権利保全→借地料無料にしてほしい。
- 空き地の農業有効利用
- 空いてる農地がいっぱい見られます。有効活用するために都会などから若い人を呼んだらいかがですか？空き家をなくすために安く貸してみたりして。
- 空いている土地活用・貸し出す
- 町全体に休耕田が減るといいと思う。

#### <支援・要望>

- 新規就農者の支援(特にSSや草刈機がほしい)
- イベント、マルシェなどの参加。
- 有害鳥獣の対策強化。後継者対策。
- 就農者への支援の充実。
- サル被害対策を強化してほしい。町、県外からの農業就労希望者を受け入れる(研修支援、住居提供等を行い)ことで、農地利用にも繋がり、農業も受け継がれるのではないかと。希望者を受け入れることで、人口増加にも繋がるのではないかと。
- 有害鳥獣対策の強化が必要。金網と電柵で町を囲う
- 獣の対策。町全体で電柵などをやって欲しいです。ある一部の地区でやっても意味がないと思います。畑に行く道路の整備をしてほしいです。
- 補助金をつける
- 果樹の新種の開発(シャインマスカットの次、その次を生み出す)栽培実験の奨励・補助
- 農業に対する動物の被害(猿・イノシシ)対策
- 水路整備の向上
- 野猿が出ていて作物を荒らされ困っています。駆除をお願いします
- ・農機具導入、植えかえ、田直し等への補助率アップ。・自然災害への町独自の補助を援討 兼業農家、小規模農家を切り捨てないような施策。

## <提案ほか>

- 農業振興にもっと力を入れる。
- 低農薬有機栽培、道の駅活性化。
- これからは「農」の時代だと思いますので、特に力を入れて頂きたい。スタッフに期待します。
- 最近、農業について両親と話しました。両親は専業農家でいずれは次の世代に継いでいきたいとのことでしたが、農家は継ぐことができないから、今ある職は定年まで続け、そのあと継いでくれば良いと話していました。私たちは、高齢となった両親の負担も考え、すぐ継いでも良いと考えていたのに、現実には厳しいだと思いました。そういうところが若者が離れていってしまう原因なのかと感じました。
- 農業と観光はタイアップしてる？
- 新しい、働きやすい、わかりやすい農業
- りんご・ブドウの作付けではもう時代遅れ。新しい種類の果実を研究する必要ありと考える。また、農業委員会は解散すべき。宅地化は自由であるべきと考える。
- 後継者が不足なら、新規・移住者を増やす施策を。
- 生産物ごとの産地化・集積化。大型農機の共同化・省力化。生産組合化により、生産加工販売、ダイレクトに消費者へ。
- 良く言われることですが、6次産業化は重要だと思う。観光と相まって、消費に繋がるような方向に持っていったらよいと思う。
- 農産物も素晴らしいものばかり。観光と同じで、イベント化するなど良い物は広がっていくので、農業の効率化や子育て世代や基盤のない人でも就業できる等のシステム化が進むと良いのかもしれない。
- 農協だけに頼っている農業は振興しません。
- 拡大化、会社組織にする。
- 大きい資本でやるのが理想ですね。
- 外国人労働者が大変多くなってきている様ですが、町も関与していく方向で。
- 気候変動のなかで、今までの農業が出来なくなる可能性が高い。特に台風と高温の今、次の時代の農業を考えておかないといけない。
- 平日、休日を問わず町内外の道の駅は繁盛している。自分の親戚もJAへ正規で出しても収入があがらないとか。道の駅に出したくても枠がない。大根10円白菜20円じゃ努力が報われない。
- 夏に東京都の中学生が農業体験に訪れているようですが、大学生の受入もおもしろそうだと思います。
- 子どもたちに安全の食は大人にも安全。質を高める。販売にはユーモアも必要。例えばアマゾンのマークのような
- 核となる施設を作る
- 若い世代が果物を食べたくなくなっている中で、りんご・桃・ぶどうなどをジュースに加工し販売するなどが大事。特に委託加工ができる施設が少ないので、加工施設を作ることで雇用の分野でも効果があると思う。
- 6次産業化を進めるほうがよいのでは
- クライנגルデンなど、農業を体験できる機会（収穫等の単発的なものでなく通年で行えるもの）を用意して、幅広く農業に触れてもらえるような活動の充実
- 果物街道的なものを町の目につくところに作ってほしい道の駅をリニューアルしてほしい、またもっと新しい施設を増やして欲しい。
- 健康にこだわった安心安全な農業（無農薬野菜など）
- 特産品の開発。りんごやきのこ、夜間瀬川や温泉を生かしたものがあるといいのでは
- 高齢化で衰退している状況があり町外の若者を積極的に受け入れていくようにすればいいと思う
- 農業を会社にする [2件]
- パワーアップ事業でりんご・ももからシャインマスカットに移植する人が増え、山ノ内町からりんご・ももが減少する状態でいいのか。
- 収入が低いので、次の世代に渡すメリットが少ない。
- 農業振興しかしていないイメージ
- 台風などで被害が出たら少し農産物に対して甘い評価をしてほしい

## (5) 【情報発信について】

### < SNS・ネット活用等 >

- スマホへ発信してほしい。
- 紙媒体による発信多いが、高齢者だけのターゲットとなってしまう。町の未来を考えれば、若者の目に少しでも止まるために、HP・SNS・プレスリリースでの積極的な発信をしなければ届きません。若者の立場となり、情報発信を考えて頂きたい。
- SNSによる情報発信は必須なのでしょう。その中で春夏秋冬の志賀高原を始めとする景色をドローンで撮影し、発信する。県外や県外出身者ではない、地元の人達を大使等にし、山ノ内町の良い所、悪い所を紹介するTVでもSNSでも。
- メディアをうまく使う
- SNSの専門の職員とかを設置し、ガンガン情報発信してほしい。最低1日〇ツイート、〇更新、〇記事更新)とか。
- 上記にもあるようにSNSを利用し、山ノ内町というブランドの発信をしていくことが必要ではないかと思う。
- 紙やパソコンの需要が少なくなってきたので、スマホやタブレットで簡単に閲覧や情報発信ができるシステムの構築が必要。(Web会議ができるくらいのシステムが必要)
- インターネットを使う。
- 行政の堅苦しさをとっばらったSNS発信必要。どの層に届けたいのか？町内の高齢者はスマホで情報収集はほぼない。折角、SNSやるなら、もっと県外に発信していったほうが良い。
- 携帯スマートフォンでの情報収集が多い時代なので、気軽に町内の情報がわかる携帯アプリの作成や、LINEなどで情報がわかるようにできると良いと思います。
- SNSで災害情報の発信をスピーディな形で行って欲しい。災害に限らず、観光・農業や町の出来事などを発信してほしい。
- インスタ映えポイントを発信するとか、SNSを活用すると良い。ICT支援員を活用すべき
- 町内の若者にSNSを活用して情報発信してもらおう。Twitterは今見てもらいたい情報、Instagramは、写真を活用して魅力発信、オリジナルハッシュタグを作ったりして広く情報発信
- やはり、インターネット、メディアによる影響は大きいと思う。どこかのテレビで取り上げた店が、一時でも売上が増え、リピーターになれば万歳だ。ホームページの充実は言うまでもない。Twitter等も拡散力は早い、良くも悪くも事実が分からないまま影響が及ぶので恐ろしい。
- CM等
- インターネット・ポスター・テレビなど、あらゆる媒体で露出を高めて
- 広報やまのうち、見てないことが多い、そろそろ全戸ペーパーレス化もっと情報が得られる方法はないか、ラインメール、SNSなどの活用
- SNSをもっとフルに使ったほうがいい。〔11件〕
- SNSも必要だが、ネット系へのCM等
- SNS、TVCM等の利用検討
- TwitterかLineなどで行ったほうが若い人は見ると思う。〔2件〕
- 若い人はホームページといったものはあまり見られないと思うので、インスタやTwitterなどを通じることも必要だと感じる
- 山ノ内町の公式Twitter(災害の時には便利)
- SNSなどを使い、多くの人に山ノ内を知ってもらおう
- SNSやソーシャルメディアの活用・SUGUメールや防災無線の普及
- LINEでの情報発信やLINEスタンプの充実
- SNSなどを使った誘客、町の情報を住人がすぐ知ることができ、老若男女が手軽にみれる発行方法がよい。

### < 要 望 >

- SUGUメールに登録しようと思っています。町のホームページに登録説明がありますか。
- 婚活のPRと農業体験、自然を楽しめるアクティビティなど、バス旅行パックで紹介してはどうか。
- 町内と町外では取得したい情報が異なると思うので、より分かりやすくするために、それぞれしっかり分けて発信し、各々が情報を得られやすい環境を整えることが必要だと思います。

- 西小地区で不審者が出たとき、西小でしかオクレンジャーが流れなかったけど、不審者とか子どもに危険が掛かるときは、山ノ内町として小学校と協力して全保護者に情報を共有してほしい。
- 現住されている、されていた方や町との関係がある方で、発信能力や影響力のある方にも広報活動を依頼する。(現在もしているとは思いますが…)
- 高齢者にボランティア活動ふくめ、もっと情報を出していくべき。また、町内拡声器をやめ、ラジオ型の情報提供を考えるべき。また、情報機器の貸与価格も2,000円以内とすべき。
- 有線電話に替え、ハードの充実。戸別受信機全戸配置。
- 広報紙の役割は大きいもの。予算的なものはあるが、ページ数を少なくし、月2回の発行を(情報のスピード化)。理事者が毎ページにできるような広報はいかがか。
- 議会報告書を見て、質問に対し、予定なしなどのするつもりがないだけではなく、なぜ予定無しなのか、出来ないのか説明してほしい。
- 広報やまのうちについて、他市町村の広報と比べると読みごたえがない。記事のレイアウトや、写真をカラーにする等の工夫をすると良いと思う。
- HPをもっと楽しく、見やすいものにする。情報量が足りない。見ているだけで楽しめるようなものにする。
- 毎日見たくなるようなHPの製作。プレゼント企画は有効と思う。
- 町のホームページが古いし、防災マップや避難所の表も見にくいところがあるので改善をしたほうが良いと思います。
- 町が発信することも大切ですが、移住者とか山ノ内(志賀高原)が本当に好きな人たちがいるので、意見をよく聞く機会を設ける。交流会もいいが、やはりSNSの時代である。
- 高齢者へのスマートフォンの所持を推進する。スマートフォンは情報が得やすいため
- もっと発信してもいいと思う。春夏秋冬の四季の情報ももっと発信して
- インターネット(スマホ)でわかりやすい山ノ内町の案内があると良い。地図、口コミ、営業時間、休みなどもわかると良い。目的別に見られる町内検索サイトのシステム
- インターネットが普及し、いつでも、どこでも、仕事ができる職種が増加。シェアワーキング・温泉入ってリフレッシュ、トレッキングでリフレッシュ、仕事の質も向上。
- 台風等の情報発信の最速化
- 北信ローカルレベルの情報を町民向けに毎週発信する民間の主体を育てる。
- 山ノ内町に来てくれた観光客の人に良かったことや悪かったことについて聞き、改善点も一緒に発信したほうが良い。
- 有線だけでなく、各家庭に情報がいきわたるようなものを作る
- 障がい者への情報を発信してほしい。
- 議員だよりを広報やまのうち以外にもキャッチしやすくする工夫がほしい。たとえば役場に貼り出すとか？

## <課題>

- 防災無線が聞きづらい。[7件]
- 少ない資源を如何に効率的に使うかが重要。一番必要と思われる分野に重点的に投資をし、他の部門については、一時、目をつぶることも必要。
- 台風19号の時に防災無線?放送が聞き取れず、知り合いと話したら、SUGUメールの存在を知りました。広報やまのうちも軽く目を通すだけだときづかない。
- 台風の時に避難指示が出たけど、町が発行した防災マップに書かれている避難所は空いていなかった。風が凄いで放送を流しても聞こえない。
- 台風19号のとき、長野県全域の情報ではなく、山ノ内町の情報がほしかった。
- 先月の台風19号時、町内の屋外アナウンスはまったく何を話しているのかわからなかった。有線もなくなり。幸い山ノ内の被害はほとんどなかったのよかったが、今後は車でアナウンスをして、巡回したほうが良いのではないかと思う。
- 町民に町の情報が伝わってこないのに、外に何を発信するのか疑問です。台風の時や災害の連絡など、無線ではまったく町民にまで情報が届きません。光ケーブルなどを使った各家庭へのサービスが必要かと。
- ホームページが全体的に見辛いと思います。必要な情報(ゴミ分別とか子育てとか)も、もう少しわかりやすく見やすくしてほしい。

- ネット環境に疎い人の方策も考えては
- ホームページを見てもらえるような活動をすることで、情報が伝わると考える。
- 町のホームページを見ることなどないので、屋外放送などの町民全体に行き届くようにしてほしい。
- 県外者に対して情報の発信が少ない

#### <その他>

- 私のアンテナが低くて、情報をキャッチできていない。もっとよりアピールを。
- 小中学生にも色々な情報は伝わっていると思いますので、良いと思います。
- 日曜日のラジオ”よってかっしやい山ノ内”は良いと思う。
- たいした情報が少ない
- ピントがずれていて、お笑いのネタかと思うときがある。
- 発信母体、メディアがバラバラすぎる。
- 広報紙は充実している。HP の情報を充実すれば、完璧だと思う。
- 情報の発信の仕方が古い。
- 山ノ内町地域おこし協力隊の Facebook がとても良いと思います。色々な町のイベントや学校の活動の様子がアップされているので。
- Facebook の更新はおもしろい
- ラジオなどで情報を得ることが多い。頑張っておられると思う
- タブレットを使用する
- 具体的な事がよくわかりません

### (6) 【まちづくり全般について】

#### <提案等>

- 山ノ内町には多くの魅力があると思っておりますが、各々で色々な事を行うのではなく、もっと協力的体制を築き、1つのイベントや企画を成功させる、町を盛り上げるという活動が必要だと思います。
- 健康で笑顔あふれる町、暮らしが幸せだと思います。荒れている農地をシルバー野菜園にして、みんなで作業して、野菜を分け合い、交流をして、体を動かし、元気な老人が暮らす町、又はボランティアで町の美化に協力しあうなど。
- 地元 JA の先の市場をつくる。
- 冬季国体ができない。淋しいことです。(ジャンプ台がない。)
- 地域ごとに支所を持ち、志賀高原、山間地農業、宿泊産業ごとに対応すべき。
- 本町は、観光と農業の町です。この2つを融合させ、強みを活かすことが急務であると考えます。町が音頭をとり、うまくやっていただきたいと思います。
- 田舎町の典型である閉鎖的なところを改め、町外から大都市から、外からの力(資本、人、もの、アイデア)を受け入れられる体制づくり。色々なリスクもあるが、緩和してみる。
- 町議会議員の件ですが、前回の選挙が無投票で定員に不足しているため、そろそろ定数削減も必要ではないでしょうか。
- 温泉、河川→発電システムなどエコをより前面に出した活動(例えば公用車の電気自動車化など)をしてもいいと思います。長期的には水道管なども少しずつ整備改修していくことで、町内のエコの魅力が増す気がします。
- こんなに素晴らしい自然がある町に、観光に来てくれない。小布施町のような街並みや公園(大きな)野球場が欲しい。
- 過疎化が進んでいる地域が多くなっています。なんとかできる方法があれば実践してほしい。
- 工夫や楽しめることが上手なリーダー育成。
- 町の次世代を担うリーダーを若い方を中心に育成してほしい。津南町の女性町長のような女性の活躍も発信していければ、子育て環境の充実もアピールできるのではないかと。
- 立派な文化センターがあるので、町民をいろんなイベントにより、老若男女を集め、町の現状説明を行い、そのあとで何か楽しんで帰れるような計画はないか?集まった人から意見を聞いたり、質疑応答も如何?



- 国民ボランティア団体（若い人から高齢者まで）に意見を聞いたり、県外の人を集めて（在住の人）魅力について聞くのはどうか。
- 住民が自発的にまちづくりに参加しようと思えるコミュニティを作る。
- 発言機会の提供が課題か。積極的な意見をいかに吸い上げることが出来るか。上層の意識改革は必要、現代的なマネジメントを。
- 横の連携が効果的だと思う。そのためにはマネジメントする人が必要。
- 長期的な話し合いで合意を得ながら計画を立てて欲しい。現状は、一般町民を交えた総合計画立案と言いながら、上からの押し付けにしか見えない。お金をどう使うかということは大事だが、融通性に欠けるように感じる。遠回りだが、全体像が見えるまでには、町民側も時間がかかるわけで、丁寧な説明と聴取を大事にしてほしい。
- 高齢者も参加できる町づくりであってほしい。痴呆症も少なくなるのでは。
- 若い人を増やしましょう。
- 年寄りのまちから若者の町へシフトする。若者が活気づけば、年配者を支えることが容易になる。年配者が得意なこと。若者ができることを明確にし、強みが発揮でき、両者が共存できるまちづくりが必要だ。
- 高齢者が全体的に多い町だけど、だからこそ今いる若い人に、町のことをどんどん発信してもらおうことも大事ではないか。
- 若い世代が住みやすい町でなければ、いずれ町はなくなる。
- 若い人たちが中心になり、年寄りはずべて言わずサポートに徹す
- 人口増対策を。（若者が山ノ内町に定住できるように）
- 箱ものの維持は大変で、大体税金がそっちに行っているイメージがある。1年に500人単位で人口減少しているので、定住してくれる人へのアピール、今後、また地元に戻りたいという思いの出でくるアピール、システムができると良いと思う。
- 人口減少が課題だと考えます。農業も観光も「人」がいなければどうにもなりません。若者が増え、子どもも増え、和気あいあいとした町になっていけばと思います。福祉の面では、特に現状で良いのではと思います。

#### <合 併>

- 平成の大合併をせずに生き残った、生きることを選んだのだから、山ノ内町らしさ、田舎だからこそできることを目指してまちづくりを進めてほしい。
- 中野市との合併。[3件]
- 長野市との飛び地合併。固定資産税の高さ。
- 山ノ内町だけでは将来はない
- ゆくゆくは志賀高原町にする。

#### <交 通>

- 中野市⇄山ノ内町(須賀川方面)の国道のバイパス化、または道路の拡幅。
- 電車、交通弱者、老人に優しい料金を。例とすると、長野駅まで500円、須坂駅まで300円、中野駅なら100円とか。昼の電車はほぼ1人or0人、空で走らせるくらいなら100円でも200円でもいただいたら…。活気もつくし、日本一高いという汚名で有名なら今後は日本一人にやさしい長電さんになってほしいですね。
- 電車の本数が少ない(電車代が高い)ので、気軽に山ノ内に来ようと思わない。堤防沿いの道が狭いので、雪が降った時は運転が怖い。
- らくちんバス運行は学生には利用しにくい。もっと早い時間か、遅い時間の運行がなくては利用できない。
- 自家用車で移動することが確かに多いですが、必要な時、もしくは家族や子どもが利用したいと思うときがある。楽ちんバスの北部への時間が少ないのと、バスが来てくれない地区がある。元々長電のバス停が無かったのが、仕方ないですが、楽ちんバスになってからきてくれている地区もある。両親も利用したくても、歩いて近くのバス停に行くことさえ難しい(30分以上かかる)。バス停の場所をもう少し考えてもらいたい。
- 長野電鉄が継続して、運行されますように。今回の大雨の時は本当にもうだめかと思いました。バスで中野駅で乗り換えは非常に不便です。

- 交通機関の不便さ（高齢者）
- 買い物難民のために白タク OK の条例を作る。日本で一番最初なら当然話題になり人口も増える。10 数年後に自動運転化すると思うが冬は雪、アイスバーンがあり雪国では進まない可能性があるのでもいいと思うが難しいでしょうとか無理ですね。
- 宇木から免許返納した後病院へ行くとき夜間瀬駅まで歩かなくてはならないので横倉の方のようにバスが来てくれるとありがたいです。是非考えてほしいです
- 高齢者になり運転もできなくなる人がこれから増えていきます。バスは一日に何本しかなくてとても不便です。できれば、1 時間に 1 本（午前 7～午後 6 時位）あれば少しは便利になると思います。
- 最近、話題によく出る高齢ドライバーの運転免許証返納について、免許返納後の足の確保（特に隣の中野市への医者通いなど）について、町として免許返納後も不自由なく暮らせるような施策を立てているのか、広報などで情報を発信してもらいたい。
- 高齢となり、運転免許証を返納したとき、買い物・通院に非常に不安を感じます。わくわく商店街などの事業は今も行われていますが、遠くにでていけない、バスに乗るのも大変な高齢者には利用できません。移動販売車なども考えてほしい。

### <活性化・振興>

- 荒れた森林（管理されていない私有林）が景観の悪化や獣の被害に繋がっていると思う。景観を良くすることで、観光にも良いと思う。遊休農地も大規模に整備し、別の用途で活用できたら（例えばドッグランなど）人を呼び込め、暮らしの安心もあるかなと思います。ゴミのポイ捨ても気になるので、拾うイベント等できれば良いと思います。
- 県の方針で、ロードバイクの自転車道路の整備があります。町内も渋峠までの自転車道路を整備してほしい。ブリジストンのチームやトライアスロンのチームが練習にきているのにもったいない。弱虫ペダルにも出てくるし、費用対効果はあると思う。
- 山ノ内町に帰ってくる子どもたちの環境整備や観光と農業が山ノ内町でしかできない魅力づくりをしてほしいと思います。期待しています。
- 野球グラウンドの充実・利用
- 町外からも買い物やレジャーに来てもらえるような商業施設や、イベント広場の充実、アスレチック広場、温泉有効利用がうまく生かされるといいと思う。
- まちなみをもう少し統一した雰囲気。旧き良き温泉郷の復活。
- 人が集まるには古くおぼけ屋敷みたいな場所を新たに整備したほうが良い。道路も狭く人が歩くには危ない。
- 寂れた街並みに活気を取り戻してほしい。
- 観光地の電柱を無くしたほうがよい。
- 春は花が咲き、夏は高原でハイキング、秋はもみじ狩り、冬はスキー・スノーボード。一年中にぎやかな山ノ内町へ
- スノーモンキーや有名人等を引き続き招待し、PR を強化。大型店やおしゃれな大型温泉施設がほしい。
- 例えば“草津”といえば、そのキーワードの中に湯畑や温泉・スキー場が連想されるように（同じことが野沢温泉、白馬も）山ノ内町というキーワードで県内外、更にインバウンドの人達？となってしまう。町というより、志賀高原・湯田中・渋温泉・スノーモンキーというようになってしまっていることは寂しい。山ノ内という町名がブランド化してほしいと思う。
- 観光面で企業の大型化で観光客の受入
- 「温泉卵を作ろう計画」はお客様に卵を自分で持ってきてもらって、温泉で卵を入れるカゴとタイマーを貸し出して、自分で温泉に入りながら、温泉卵をつくってもらうというものです。「天国谷カフェ」は地獄谷付近に、山ノ内のフルーツを使ったスイーツを提供し、休んでもらうカフェです。
- 湯田中は温泉もいいので、観光にはもっと力をいれたほうが良いのでは？
- 志賀高原を冬だけでなく夏もイベントなど開き、活用できたらと思います。アクセスを増やす等、冬もアクセスを簡易にし、観光客を呼び込んだら良いと思う。
- まち全体で参加できるイベント。子どもから大人までお年寄り、一つになる場所があると良い。そこで、色々な事、運動・勉強・料理 etc 意見の交換をしていけたらなと思っています。

- 自分だけ、この地域だけという施策より、色々な方向、関係者、団体が共同で取り組んで、発展につなげる活動。きのこと料理コンクール、りんご料理コンクール、季節の味コンクールなど、宿の料理にも使ってもらえますよね
- イベントがあっても、発信力がないので、知られていないことがある。とてももったいないので、もっとSNSや新聞、テレビなど利用する必要がある。
- もっとイベントを増やしていくべき！！（山ノ内食べフェス）
- スポーツイベントや祭りなどを行い、地域活動の魅力を増やす
- やまのうちどんどんをもう少し賑やかにできれば(中野市のように)。花火大会の復活。(土曜日にして観光客を呼ぶ)。
- 花火大会が中止になってしまいましたが、とても残念に思っています。何か対策は無いかと思いますが、寄付金とか。〔3件〕

### <生活関連>

- 自分の家の農地に家を建てられない。農地を減らしたくないのは、わかりますが、もう少し柔軟にしてもらいたいです。自分の畑なのに自由に変えられないのは不思議です。
- 町で防災訓練を実施したらどうか。
- 年に数回行われる交通安全週間の時に、朝、小中学生が歩いて登校していますが、信号が無い交差点に黄色い旗を持って立っている方がいますが、子どもの安全を見守っているとは思えません。2人いるのに、2人で並んで旗を持って立っているだけなので、そんなことをしているなら必要ないし、迷惑です。
- 川の中を綺麗にしたのに、両側の草が林のように茂っていて、緑地公園とは名ばかりで、外から来た人から見ても良くないし、動物など住み着いて良くない。車も通れないほどひどい。まめに綺麗にしてほしい！
- 猫を登録制にしてほしい。(責任をもって家の中で飼育してほしい。)
- 観光・農業の振興は大事だが、医療・福祉面を充実させ、現住民が身体的・精神的・経済的に安心して暮らすことのできる町を作っていくことが最優先なのではないかと思う。
- 日本の地方においては現状、自宅敷地内に有する畑、農地等で度々、当然のようにビニール等のゴミを燃やして黒煙をあげている場面が目に入るが。大変不快で嘆かわしい行為であり、町と人が一丸となってなくしていくべきだと思います。まずは、そこからだと感じています。
- 救急車が来るのが遅い。一刻も争う現場なのに、20分もかけてくるのは、対策をしっかりとして欲しいです。
- 今回の台風19号では甚大な被害が出た。普段から重機が動いて保水力がない夜間瀬川は大増水した。その点、ブナ林、ヤナギの木がある雑魚川は2日で清流に戻った。治水のヒントは自然に習うことで、まちづくりに生かしたいものだ。夜間瀬川もヤナギ等、保水能力のある木は残すべきである。
- 町の体育館が欲しい。子どもの遊べる場所が欲しい。図書館の学習ルームの強化。中野駅までの交通手段の充実
- スポーツジムの建設は町民の健康増進につながる。(温水プール等も)飯山市のように消雪パイプの設備を充実させてほしい。
- 地域活動の負担の軽減について対策をお願いします。少子高齢化により地域活動(区、地区、行事区等)の負担が増加しています。町から率先して、負担減の対策を行ってほしい。広報やまのうち等の文書は、職員による配布をお願いします。
- 回覧板の回数が多すぎる。1月に1回にまとめるとか、メールでいいと思います。
- 地域のコミュニティ活動なのか役場の仕事の手伝いなのか、よくわからない。特に地域の持っている役仕事については、住民に負担を強いるのではなく、町で引き上げることが肝要だと思います。
- 猿が近隣に住みついていると思われるので、対策をお願いしたい
- 松の木の立ち枯れが目立つ(松食い虫か)対策を
- 猿対策を早急をお願いしたい(猿の住処の解体)

### (除雪)

- 冬場の除雪の雪を側溝に流せるように整備していただきたい。

■観光客が多い町内、雪道に不慣れな方も多く訪れています。かえで通り周辺は、雪を寄せるところがないので、雪が積もると非常に危険。通学路にもなっているし、歩道もない。保育園の送迎の車も通るときは渋滞になるので、対策してほしい。又、役場駐車場から下に来た交差点付近で道路を横切るグレーチング部分だけ雪が積もらず、冬場は凹凸が大きく怖いので対策してほしい。

■除雪作業のチェック体制

#### (買物)

■長野から山ノ内に嫁いできましたが高齢になった時に除雪をしながらでも住み続けなければならぬのかと思うと不安になります

■大きいスーパーが出来れば、町外まで行かなくても済むようになり、生活がしやすい。

■生活に密着したスーパーとかあればいいと思う。

■大型スーパーが町にあれば…とマツヤが潰れた時から思っています。

■私は、山ノ内町が観光地の割に河川敷が汚くていやだなと思います。私が観光客なら、もう2度と来ようとは思えません。それと、山ノ内町には買い物ができるところが本当はない。自分で行けない人はもっと困っていると思う。山ノ内町に店ができないなら、連れて行って送ってあげることが必要。楽ちんバスも山ノ内しか行かない。中野に行けるようになるとすごく便利かなと。

■もっと観光客が増す努力が必要（冬だけでなく）また、近くにスーパーも必要（お年寄りも行くよう）移動販売車あったら便利だと思いますが・・・

■買い物をしやすい町にする

■少子高齢化や人口減少も関係してくると思いますが、日常の買い物や病院はほとんどの人が中野市を利用していると思います。特に食料品等が一番多いと思います。以前にマツヤがあったと思いますが、スーパーは必須と思います。また町内で動く場合でも中野まで動く場合でも交通の便が悪すぎます。長野市や須坂市のように、高齢者でも自由に動けるよう、ローカルバス（町内バス）など必要だと思います。

■住居が町中でもなく、街中に行く機会がありません。買い物、仕事、医療全て生活圏は中野市にたよっています。もっとスーパーとか病院とか山ノ内町にあれば、活性化されるのではないかと思います。

■大型スーパーがあればいい

#### (ごみ収集)

■月1回の資源ゴミの回収は私の住む地区では人手が足りず、もう限界です。なんとかしてください。(アンケートは無作為抽出とのことだが、この方式では名前がわかってしまう。注意してもらいたい。)

■可燃ごみの週2回を戻し、週3回とし、プラは2週に1回で良いように思います。

■ごみの再利用体制も大事ですが、外からのお客様にごみの集積所が丸見えなのが気になります。勝手にごみを捨てていく人、鳥、猫も散らかしていきます。見た目のよい蓋つきの集積所が町全体でほしい。

■ゴミの収集の中で、特に粗大ごみの収集方法が不便だと思います。年2回早朝に指定の場所に持っていくのは難しいです。運ぶことが難しいものが多いので、近所での収集が出来ればと思います。中野市のように資源ごみの日曜集配もぜひ設けていただきたいと思います。

#### (街路灯など)

■夕方になると通学路など、街灯が少なく、特に中学生は部活が終わる時間には、冬は真っ暗な状態で帰っていく生徒を見かけます。親としてはとても心配になると思います。街灯を増やしていただけたら、親も安心すると思います。

■カーブミラーの劣化がひどく、とても見にくい。破損してからの交換では遅いと思います。

■夜間瀬川が整備され気持ちがいい。街灯もLED化され安全が向上した。とても良いことだと思う。困ったこととして、お年寄りや子供からの声だが、歩道があまりない。(湯田中周辺だけでも早急に。観光客の方も嫌だと思う)車があればいいが、ない高齢者は買い物がしづらい。「わくわく商店街」はいいらしいですね。

■上条駅周辺に街灯が少なく、夜道が危ないと思います。

(空き家)

- 人口減少に伴い、空き家が多い。そこを活用できる人に貸して空き家の数を減らしていければ良いな。
- 空き家などの活用整備・歩道の整備をしてほしい

### <その他>

- 子どもの福祉医療などは大変手厚く頑張ってくれているなと思います。中学校の部活にもまちのバスを使わせて頂いたり、上林のテニスコートを使わせて頂いたり、感謝しています。
- 開かれたまちづくりを希望します。
- 先日、こども議会に息子が参加させてもらいました。息子に感想を聞くと、「自分たちは観光客よりも今、町に住む人々が住みやすい町づくりを考え発表したのに、町長さんは観光のことばかり話していて、全然自分たちの発表を聞いてもらえなかった」と話していました。私も観光についても、とても大切なことと話しましたが、発表した本人がそう感じたことは私も少し残念だなと感じました。
- どれも若者が出て行ってしまって山ノ内町に戻ってこない。若者が移住してこない、色々な対策が進まないのかなと思います。例えば、子育て支援を充実したとしても、他の都市の方が良いと思うことも多くあり、結局は若者が山ノ内町にいても働いていける、暮らしていける環境づくりが一番大切かと思います。
- 「志賀高原」に頼った施策が多すぎる。(観光・農業双方で) どうして、「山ノ内」を全面的に出さないのか、その理由がわからない。
- とても良い町だと思います。頑張ってください。
- リゾート地にいるので、町のことは正直あまりよくわかりません。自宅は飯山にあるので、先のこととかは、飯山市の方で考えていくと思います。
- 老人に優しい町になって欲しいです。
- 町全体の雰囲気暗い。もっと明るい街に(建物が古いのはいいけど)魅力ある町にしてほしい。
- 町民の意見が反映されにくい。そもそも発言の機会があまりない。
- もっと役場の方々には、頑張ってください。  
防災無線が何を言っているのかわからないので困る。今回の台風ももし山ノ内町でなにかあったらと思った。もっと危機感を持って欲しい。
- 町の職員は努力されていると思う。ただ、地域に目を移すと、高齢化が進み、今までの組織や仕組みが瓦解してきた感じがする。力、時間、お金を使うところに期間を決めて集中させ、子どもたちの食の安全を守って欲しい。
- 役場職員を含め、明るく楽しい職場づくりをしてほしい。
- 町としてお金が集まることをしてほしい。(町税以外) お金がなければ、何も始まりません。
- 働く場所がない。役場で働いている人の質が悪すぎるため、向上してほしい。対応が悪すぎることもある。税金を使う道を考えて欲しい。
- 皆で高齢化社会でも元気でいきいき暮らせる町でありたい
- 観光を発展させないと将来が見えない。野沢や白馬よりも山ノ内のほうが絶対に生活しやすい(スーパー、医療など)。でも知名度が低いのはどうしてか、都会の人などに聞いてみてはどうでしょうか？
- 私は「山ノ内町観光交流」を読んだけど、存在を知らない人もいると思うので、もっと具体的にわかりやすくして町民に広めていければ、町全体で町おこしまちづくりに取り組めるのではないかと思う
- “住みにくい町”を何とかすべき。公助がすべきなのは自助・共助・互助のバックアップ。もっと経済的な支援を強化したらどうだろうか。
- 特産物のPRやイベントなど頑張っておられると思う
- 住民全体が一つの目標に向かって進んで行ければいいと思います。
- 中山間地の不便な町というデメリットを超える大きなメリットを提供できなければ、いずれ人は居なくなる
- 活気にかけると思う
- 住みやすい町、観光客を増やすこと
- もう少し町全体で考えていけたら一部の所だけで進んでいる気がする

- おおむね、満足しています。
- まちづくりって何でしょうか。誰が何の為にやるのでしょうか？山ノ内町の個々の認識から変えるべきではないでしょうか。例えば住民税がどこよりも高い。何故ですか？お金がないから、税金が入らないから、もっと企業を呼び込み、受け入れて頂きたい。外資系のファンドを軽く蹴らないで、一度良く考えて頂きたい。
- まちづくりで何をしているのかわからない。何が障害になってよくなっていかないかわからない。みんながどんな町にしたいのかわからない。自分的にはもっと金銭面で暮らしやすく、男女の出会いの場が多くなってほしい。
- 今のところ、山ノ内町に特に魅力を感じない。派手さはいらぬが、住んでよかったと思える町であってほしい。
- 町全体に魅力を感じない。町だけのことではないが、子どもいない夫婦や独身の人から高い税金を取られ、町の補助金関係も年齢制限で利用できず、自分たちの生活を守ることが精一杯です。町長・町議・町職員がもっと危機感をもって町のことを考えてほしい。
- 何をしているか、よくわからない。
- 10 数年住んでいますが、住みやすいと感じたことはありません。何も変わっていないように感じます。町政の刷新を考えた方がよいのでは？
- どんな町にしたいかが曖昧。何をやっても個別で連携がない。
- 私は県外からきているので、しきたりや考え方に戸惑うことも多いです。良い所は残し、今の世代には合わない部分は変えていくことも大切だと思います。観光も農業も本当に素晴らしい物も多いのに、今後人口減少や少子高齢化により全体が衰退するのはもったいない。
- 古いもの、しきたりを大切にするのは良いが、外もの扱いだからと相手にされないのでは、この先をよくしようとは思えないのが残念。
- やまびこ広場の噴水は良かったが、豪雪地である山ノ内に作って、冬場は子どもたちはどこで遊べるのか？
- 噴水などの物にお金を使わないように願いたい。志賀高原の水をなんとかして売ることにはできないのか。綺麗な水を使い、魚の養殖(ニジマス以外)はできないか。
- 公園の噴水は、一部の人たちしか喜んでおりません。観光地の駐車場や新たな開発等に私たちの血税を使っただけ、ぜひ地域の活性化に役立ててください。〔2件〕
- やる気があるか。アンケートを書いても、活かされずかおそらくやればよい、やったからいいで終わりそう。
- アンケートだけでなく、具体的な対策と実施(効果)を求めてください。これで終わるのでなく、これからを考えて、実施して、効果の確認、PDCAを実施してください。